

44
15

明治四十一年七月

愛知縣耕地整理事業報告

第壹輯

愛知縣

64-15

愛知縣耕地整理事業報告 第壹輯



例



一、本書ハ本縣及本縣農會ニ於テ耕地整理事業獎勵方法ヲ設ケタル以來ノ發達趨勢ヲ叙述シタルモノナリ

二、本書ハ起業者ノ參考ニ資スヘキ目的ヲ以テ編纂シタルカ故ニ務メテ整理既成地ノ實績ヲ就テ其經過手續ヲ記錄セリ

三、本書ニ採録シタル整理既成地ハ何レモ未タ事業完了ニ至ラス碧海郡六ツ美村大字下中島地區ハ目下借入金ノ償還中又幡豆郡一色村大字細川大岡新田地區ハ換地交付地價配當ノ手續尙未了ニ屬セリ斯ハ事業完了ノ期ヲ俟テ更ニ報告スルコトアルヘシ

一、本報告ハ爾後毎年號ヲ重テ既成地ノ成績ヲ記述スルモノトス

明治四十一年六月

凡 例

一

目 次

第一章 獎 勵

本縣農會ノ獎勵ノ豫算—本縣農會耕地整理測量設計業務補助規程—工事費ニ對スル本縣勸業獎勵費補助—本縣耕地整理獎勵費豫算—耕地整理及土地改良獎勵規程—耕地整理測量設計內規—耕地整理基本調查規程—耕地整理基本調查細則

第二章 成 績

整理反別累年比較—工事完了ノ箇所反別—工事中ノ箇所反別—工事着手準備中ノ箇所反別—認可申請手續中ノ箇所反別—測量設計中ノ箇所反別—基本調査済ノ箇所反別—基本調査中ノ箇所反別—都市別事業成績對照表

第三章 耕地整理委員協議會狀況

各都市出席員數—本縣知事訓示—協議事項—整理地管理作業組合規約—耕地整理貯蓄組合規約—耕地整理期成會規則

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績

一、整理地區ノ位置及面積

目 次

三、整理前土地ノ状態	六二頁
用水ノ狀況—惡水ノ狀況—交通運搬ノ狀況—區劃ノ狀況—耕作ノ狀況—生産ノ狀況	
三、發起ノ由來	六七頁
土地所有者ノ意向—整理ノ目的—發起ノ手續—認可—整理委員	
四、整理施行	七二頁
整理費用借入—工事ノ概要—不思議ノ瑞祥—精勤者	
五、工事完了	七七頁
竣工式	
六、整理ノ爲メニ得タル利益	八五頁
收穫ノ増加—灌溉排水ノ便—勞力ノ節減—耕種肥培ノ改良—共同苗代設置規約—増耕地—整理地時價ノ騰貴	
七、土地評價及換地交付	九三頁
八、地價配當方法	全頁
地價配賦申請書—地價配當案	
九、登記ノ方法	一〇六頁

登記申請書

十、資金返済ノ方法	一一一頁
掟米徵收ノ標準	
十一、整理費用精算	一一四頁
精算書	
十二、整理地ノ維持管理	一一七頁
組合申合規約	
十三、小作料ノ新設定	一二六頁
整理前後掟米對照	
十四、功勞者表彰	一二八頁
功勞賞—監綬褒章下賜	
十五、紀念碑設立	一三一頁
碑文	

第五章 幡豆郡一色村大字細川大岡新田耕地整理成績

一、整理地區ノ位置及其面積	全頁
二、整理前土地ノ状態	一三六頁

目次

新田開拓ノ沿革	水利ノ状態	生産ノ状態	耕作法	一三〇頁					
三、耕地整理ノ發起	發起ノ動機	整理ノ目的	發起ノ手續	認可	一四〇頁				
四、整理施行	整理費用ノ調達	整理費用豫算	工事ノ概要	整理委員	精勤功勞者	一四三頁			
五、工事完了	整理費用精算	竣工式	整理後ノ状態	收穫ノ増加	勞力ノ節減	灌溉排水ノ便	增耕地	整理地時價ノ騰貴	一五六頁
七、土地評價及換地交付	八、地價配當及登記申請	九、整理地ノ維持管理方法	十、整理ニ對スル關係者ノ意見	整理前後小作料ノ對照	全	頁			

附 錄
法 規

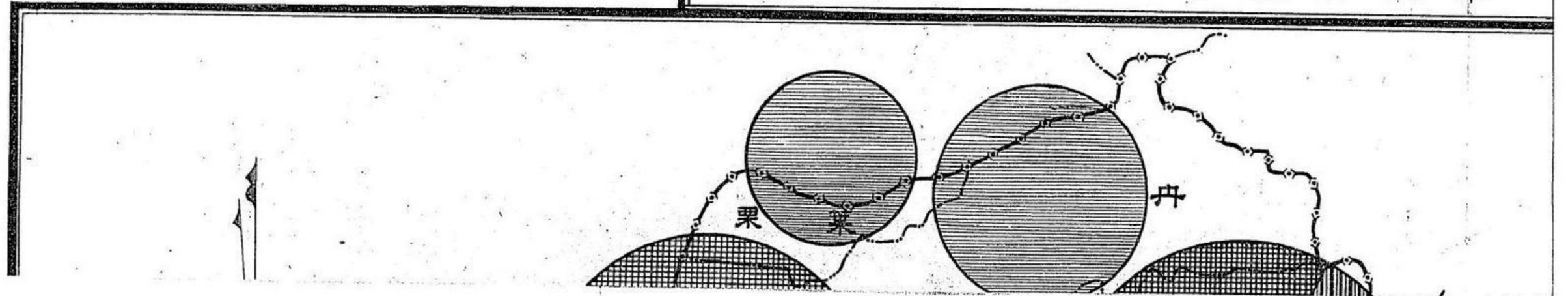
縣下耕作整理施行地

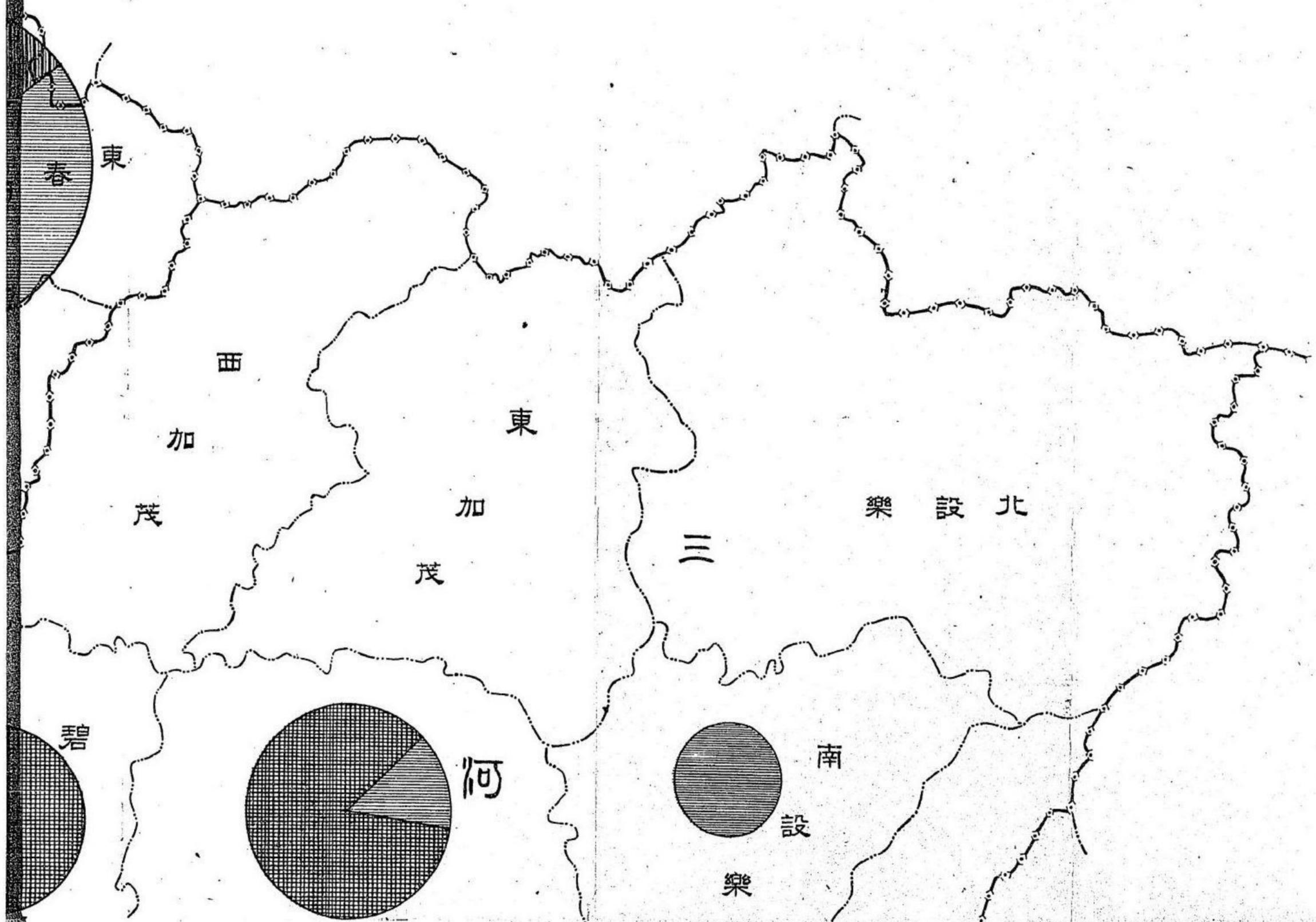
明治四十年六月



亦行地面积比较图

一九二六年六月





春東

西

加

茂

東

加

茂

樂設北

三

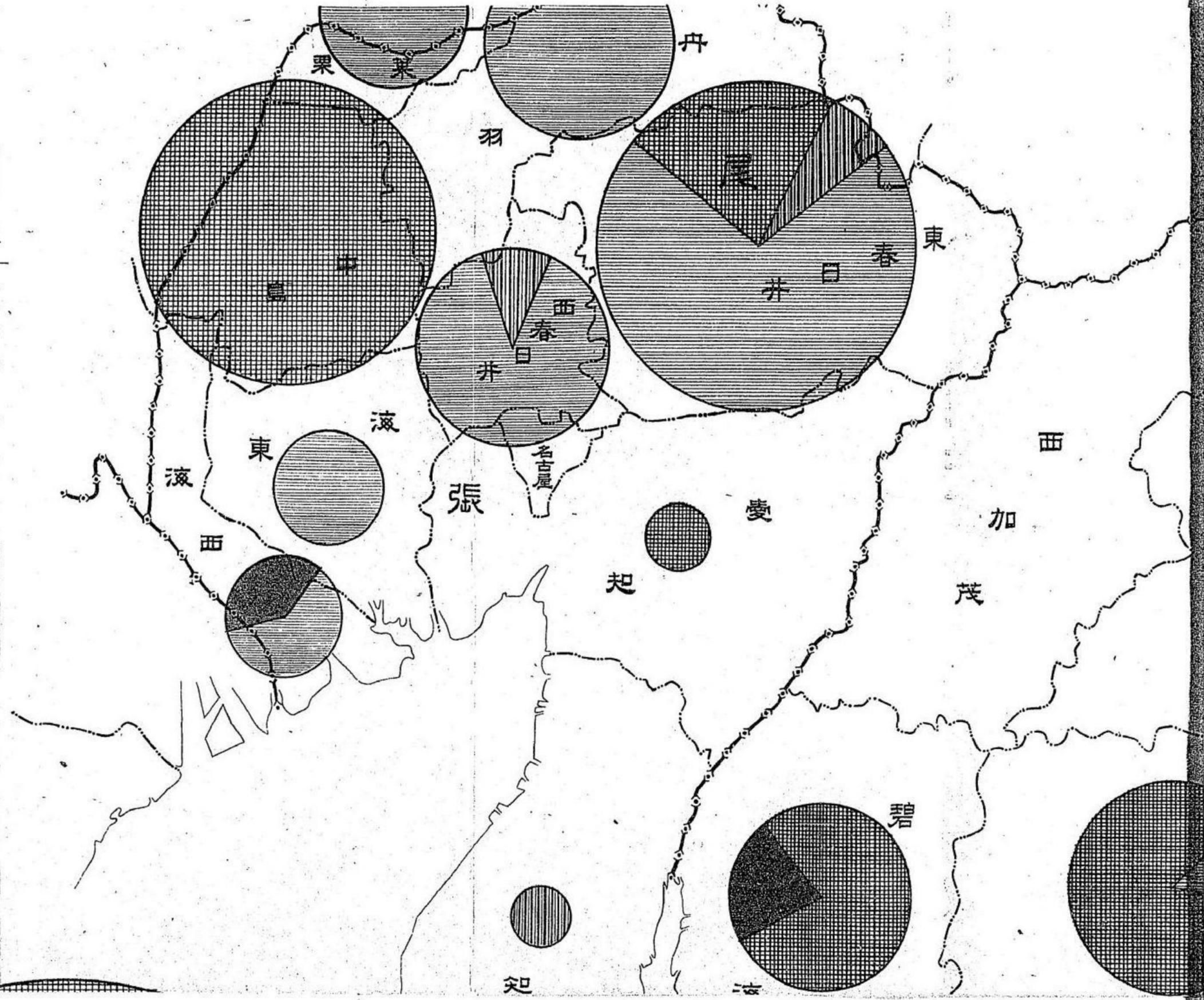
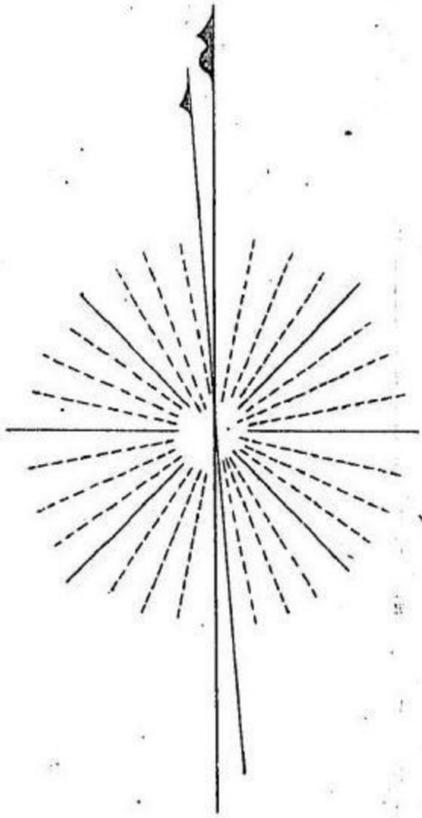
碧

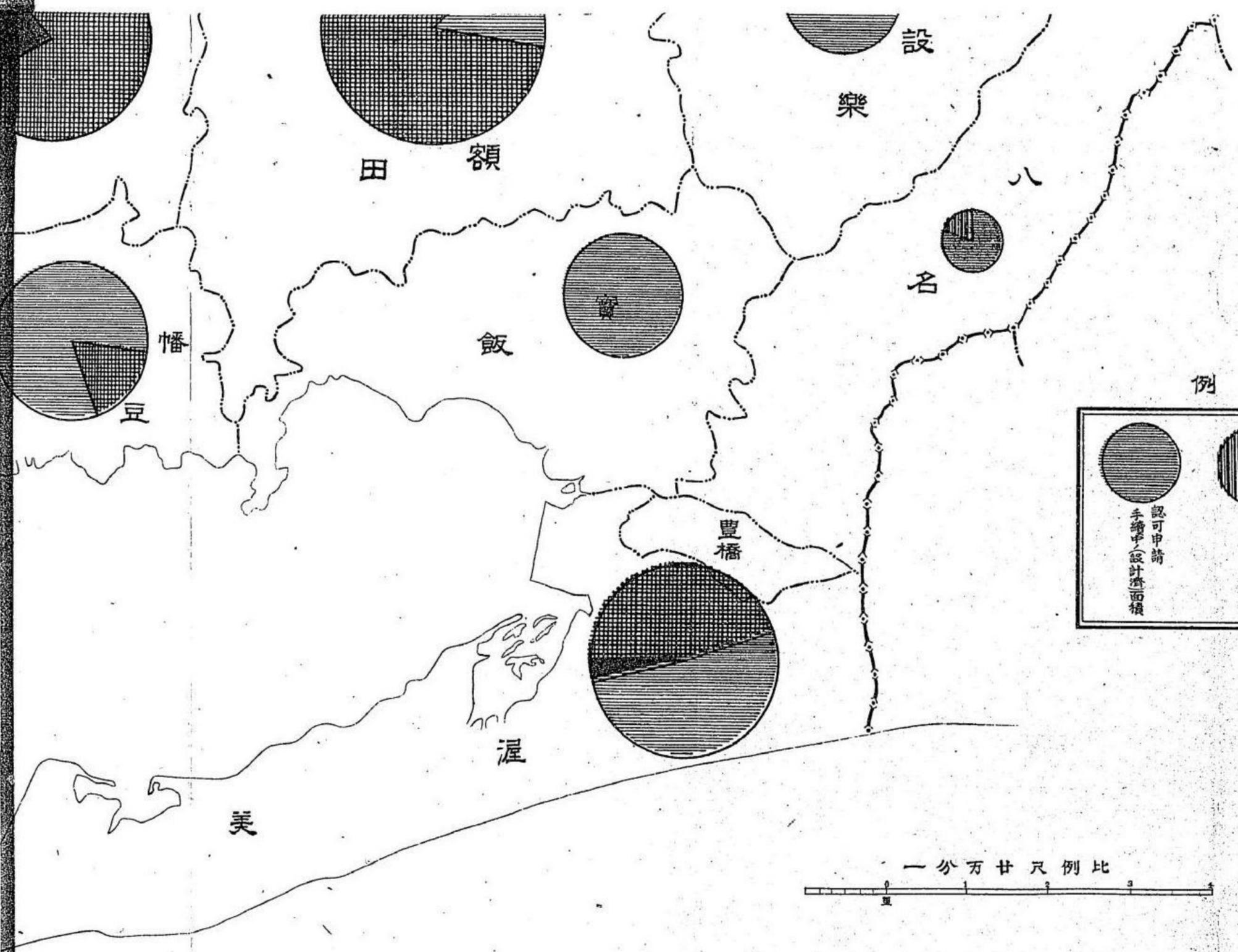
河

南

設

樂

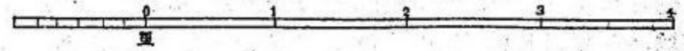


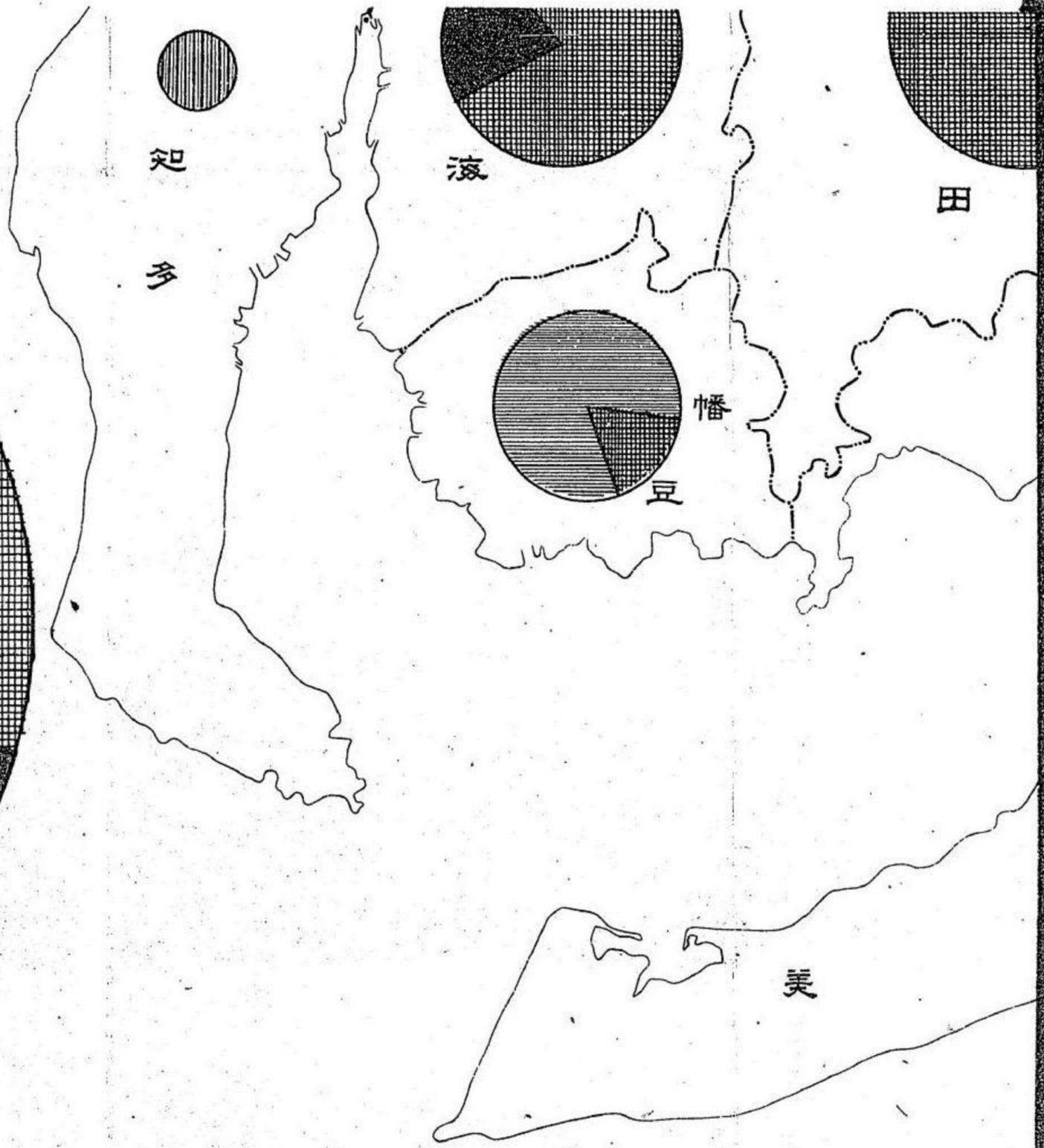
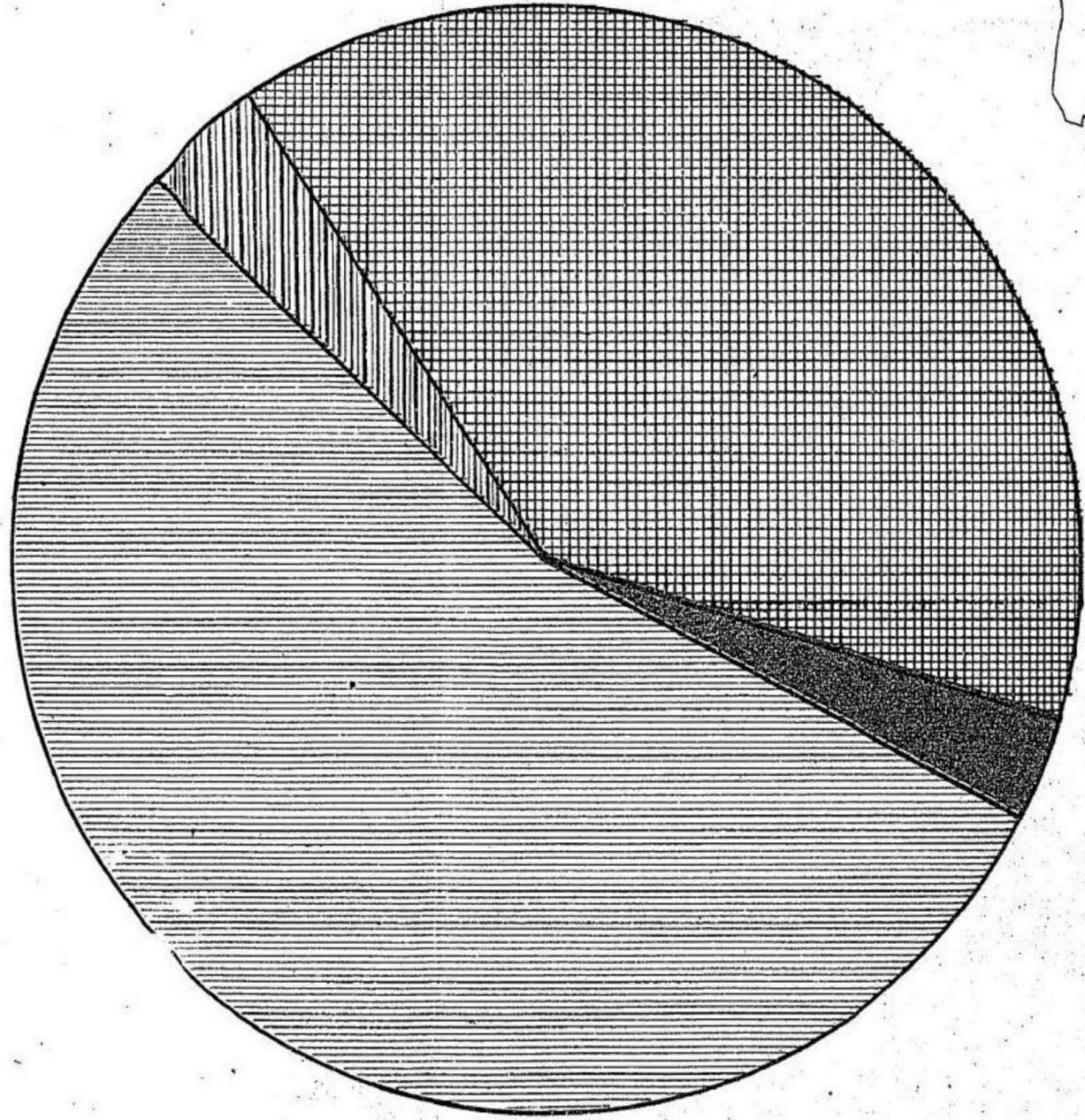


例 凡

			
認可申請 手續中(設計済)面積	着手準備中面積	工事施行中面積	工事完了面積

一分万廿尺例比





愛知縣耕地整理事業報告 第壹號

第一章 獎勵

本縣ニ於テ耕地整理事業ニ對シ特殊ノ獎勵方法ヲ設ケタルハ明治三十四年度以降ナリ本縣農會ニ於テ時勢ノ要求ニ伴ヒ根本的農事改良ノ手段トシテ耕地整理ヲ獎勵シ全年度豫算額參千餘圓ヲ議決シ耕地整理調査費ナル名稱ノ下ニ左ノ手續ニ依リ施行スルコト、セリ

明治三十四年度縣農會事業施行手續抜翠

第一條 耕地整理調査ハ發起獎勵ノ目的ヲ以テ其設計及測量製圖等ノ補助ヲ與フルモノニシテ先ツ一郡一ヶ所トス但會長ノ見込ニ依リ二ヶ所以上トナスコトアルヘシ

耕地整理發起補助ノ申請ハ法規上出願ノ要件ヲ具備シタル書面ヲ添へ所屬郡農會長ヲ經テ縣農會長ニ提出セシム縣農會長ハ調査ノ上事實ニ於テ成工有益ノ見込アリト認定シタルモノハ本縣農事試驗場ニ諮リ全体ノ設計ヲ考查シ本會技術員ヲシテ實地ノ測量ヲ爲サシメ且製圖ヲモ助ケシムルコトアルモノトス但技術

第一章 獎勵

員俸給旅費及測量器械製圖器具以外ニ屬スル渾テノ雜費ハ當該發起者ノ負担タ
リ
爾來年ヲ加フルニ從ヒ事業計畫者類々トシテ續出シ狹小ナル設備ヲ以テシテハ到底
起業者ノ出願ニ應スルコト能ハサルニヨリ漸次左ノ如ク豫算ヲ増額セリ

本縣農會耕地整理獎勵費豫算

三十四年度	三、〇七二、〇〇〇
三十五年度	二、八一八、六五〇
三十六年度	二、三〇六、〇〇〇
三十七年度	五、三四七、〇〇〇
三十八年度	五、八三五、六〇〇
三十九年度	二、七九〇、〇〇〇

以上ノ豫算ヲ以テ測量設計ニ要スル總テノ設備ヲ置キ次ノ如キ規程ニ依リ出願シタ
ル場所ニ對シ業務ヲ補助スルコト、セリ

愛知縣農會耕地整理測量設計業務補助規程

- 第一條 本縣内ニ於テ耕地整理法ニ依リテ耕地整理ヲ施行セントスルモノアルト
キハ發起人ノ希望ニ依リ本會ニ於テ其測量設計ノ業務ヲ補助スルモノトス
- 第二條 本規程ニ依リ測量設計ノ業務ノ補助ヲ受ケントスルモノハ發起人ヲ定メ
本會長ヘ整理豫定地ノ實地踏査ヲ請フヘシ
- 第三條 實地踏査ノ結果其整理豫定地適當ノ地區ト認メタルトキハ第一號書式ニ
依リ測量設計ノ業務補助願ニ第二號書式ニ因ル請書ヲ添付シ郡農會ヲ經由シテ
本會ニ差出スヘシ
- 第四條 測量設計業務ノ補助ヲ申請スルモノ多數ニシテ同時ニ業務ノ補助ヲナス
能ハサル場合ハ本會ニ於テ便宜其順序ヲ定ムルモノトス
- 第五條 前條測量設計業務ノ補助ヲ受クルトキハ其整理規約中ニ本規程ニ違背セ
サルコトヲ明記スヘシ
- 第六條 整理委員ヲ撰擧シタルトキハ第三號書式ノ請書ヲ郡農會ヲ經由シテ本會
ニ差出スヘシ
- 第七條 測量ニ要スル測量器械ヲ除クノ外人夫杭及其他ノ諸雜費ハ本會ノ指揮ニ
依リ發起人ニ於テ負擔スルモノトス
- 第八條 整理地ノ設計ハ發起人ノ意見ヲ參照シ本會ニ於テ之ヲ定ムルモノニシテ
確定後ハ本會ノ承認ヲ經ルニアラサレハ其設計ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條 本規程ニ違背シ又ハ測量設計ノ業務完了シ該設計書ヲ交付シタル後十二ヶ月ヲ經過スルモ尙發起認可ノ申請ヲ爲サス若クハ耕地整理法第三十一條ノ處分ヲ受ケタル場合又ハ事業ヲ廢止シタルトキハ其測量設計業務ノ補助ニ要シタル費用ノ全部又ハ一部ヲ還付セシムルコトアルヘシ

附 則

第十條 本規程ハ明治三十九年三月一日ヨリ施行ス

第一號書式

耕地整理豫定地測量設計業務補助願

- 一、整理豫定地區 何郡何町何村大字何々
- 一、整理豫定地區總反別 何町何反何畝歩
- 一、土地所有者總數 何 人
- 一、同意者總數 何 人

今般前記ノ地區整理致度ニ付測量設計業務御補助相成度最モ貴會ニ於テ御規程相成候補規程ハ堅ク可相守別紙請書相添へ此段相願候也

年 月 日 何町村大字何 發起人 何 某

同 何 某

第二號書式 愛知縣農會長宛

請 書

今般貴會耕地整理測量設計業務補助規程ニ依リ測量設計業務ノ御補助相成候上ハ該規程ヲ嚴守スルハ勿論同規程第九條所定ノ事項ニ該當スル場合ニハ如何ナル御處置ヲ受ケ候共決シテ違背致間敷仍テ此段御請仕候也

年 月 日 何郡何町村大字何 發起人 何 某 同 某

第三號書式 愛知縣農會長宛

請 書

今般貴會耕地整理測量設計業務補助規程ニ依リ測量設計ノ御補助相成候ニ就キテハ該規程ヲ嚴守スルハ勿論若シ同規程第八條第九條ノ規程ニ相觸レ候トキハ如何ナル御處置ヲ受ケ候共決シテ違背致間敷仍テ此段御請仕候也

第一章 獎 助 五

年 月 日

何郡何町村大字何

六

整理委員 何 何

同 何 某 某

愛知縣農會長宛

又三十五三十六兩年度ニ於テ本縣勸業費ヲ以テ特ニ工事費ニ對シ補助スルノ獎勵方
法ヲ設ケタリ其豫算ハ年々壹千圓ニシテ其已ニ交付シタル場所反別金額等左ノ如シ

整理地區ノ所在	補助金ヲ交付シタル反別	一町步ニ對スル補助金	補助金額
碧海郡六ツ美村大字下中島	一五〇,〇〇〇	二,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇
額田郡廣田村大字坂崎	二〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇
海西郡市江村大字東條	六〇,〇〇〇	二,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
海西郡市江村大字西條	六〇,〇〇〇	二,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
計	三〇〇,〇〇〇	一	六〇〇,〇〇〇

爾後整理事業益々勃興ノ盛運ニ向ヒ其當時縣農會ノ設備ヲ以テシテハ到底申請ニ應
スルコト能ハサルニ依リ縣農會ノ申請ニ依リ工費補助金ヲ轉シテ設備費ニ充ツルコ
トトシ農會ニ對シテ指定交付ヲ爲シ以後ハ獎勵機關ヲ擴張スルニ止メ工事費ニ對ス

ル補助ハ全廢スルコト、セリ

三十九年八月以後ハ總テノ獎勵機關ヲ縣經營ニ移シ爾來大ニ設備及豫算ヲ擴大シテ
設計調査、基本調査及工事監督ノ三部ニ分テ設備費ニ對シテハ幾分國庫ノ補助ヲ受ケ
盛ニ發達普及ヲ督勵シ居レリ其豫算次ノ如シ

耕地整理獎勵費豫算

△印ハ追加豫算

	三十九年度	四十年 度	四十一年 度
總 額	三三三〇,〇〇〇	二九,五〇〇,〇〇〇	二九,五〇〇,〇〇〇
職 員 給	五,六三六,六六六	△一,五三六,〇〇〇	△七,一〇四,〇〇〇
諸 雇 給	三,四九九,八〇〇	△一〇,〇〇〇,〇〇〇	△一,一三〇,〇〇〇
旅 費	六,〇五六,〇五〇	△六,三六三,七〇〇	△六,五三六,五〇〇
消 耗 品 費	四九二,〇五〇	△七,九三三,三〇〇	△七,七六八,〇〇〇
通 信 運 搬 費	一八〇,〇〇〇	△八,八八〇,〇〇〇	△六,三三三,〇〇〇
圖 書 印 刷 費	一五〇,〇〇〇	△四,〇三三,〇〇〇	△四,〇三三,〇〇〇
備 品 費	四六二,八九〇	△六,四一六,〇〇〇	△三,七九一,〇〇〇

雜	費	與	惠
	一七五、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	△ 二九八、七〇〇		一、〇〇〇
	△ 二七五、〇〇〇		一、〇〇〇
			△ 一八〇、〇〇〇
			△ 一六、〇〇〇

八

備考 三十九年度ハ三十九年八月ヨリ四十年三月ニ至ル八ヶ月間ノ豫算ナリ
而シテ起業者ハ左記ノ規程ニ依リ測量設計ノ業務ノ補助ヲ申請スルトキハ實地踏查
ノ上適當ノ地域ト認メタル場所ニ限リ補助ヲ與ヘ居レリ
告示號外

耕地整理及土地改良獎勵規程左ノ通り相定ム

明治三十九年七月三十一日

愛知縣知事 深野 一三

耕地整理及土地改良獎勵規程

- 第一條 耕地整理法ニ基キ本縣内ニ於テ耕地ノ整理ヲ施行セントスルモノ及灌溉
排水其他土地改良ノ目的ヲ以テ其設備ヲ爲サントスルモノアルトキハ當事者ノ
申請ニ依リ其地區ノ測量並ニ設計ヲ爲スモノトス
- 第二條 本規程ニ依リ測量設計ヲ申請セントスル者ハ其以前發起人ヨリ第一號書
式ノ願書ニ零圖ヲ添付シ其豫定地ノ實地踏查ヲ申請スヘシ
- 第三條 整理豫定地ニシテ實地踏查ノ結果適當ノ地區ト認ラレタルモノハ第二

號書式ニ依リ測量設計ヲ申請スヘシ

第四條 土地改良地ニシテ實地踏查ノ結果適當ノ地區ト認ラレタルモノハ關係土
地所有者三分ノ二以上ノ連署ヲ以テ第三號書式ニ依リ測量設計ヲ申請スヘシ但
町村又ハ組合等ノ事業ニ屬スルモノハ申請書ニ關係議事機關ノ決議議事録ヲ添
付スヘシ

第五條 實地踏查並ニ測量設計ニ要スル總テノ費用ハ縣費ヲ以テ之ヲ支辨スルモ
ノトス

第六條 測量設計ヲ了リタルキハ設計書ヲ調製シ之ヲ申請者ニ交付スルモノトス
第七條 前條ノ設計書ハ法律命令若クハ法令ノ規程ニ基ク主務官廳ノ命令ニ依ル
ノ外承認ヲ經ルニアラサレハ之ヲ追加變更スルコトヲ得ス

第八條 第六條ニ依リ設計書ノ交付ヲ受ケタル者ハ其設計書ニ定メタル豫定期
ニ於テ工事ヲ完了スヘシ

第九條 工事施行中ハ隨意本縣技術員ヲシテ其施行方法ヲ監督指導セシム

前項ニ依リ監督指導スヘキ事項ノ要領左ノ如シ

一、所定ノ設計ニ對スル施行ノ適否

二、工事施行ノ方法

三、材料ノ検査

四、工程

五、施行事務整理ノ状況

六、其他主要ナル事項

前項ノ監督指導ニ對シテハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 工事ノ種類復雜困難ニシテ特ニ場所附監督ノ必要アルトキハ起業者ニ於テ其必要ナル事由ヲ詳具シ監督員ノ派遣ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ニ對シ其必要ヲ認メタルモノハ特ニ監督員ヲ派遣スルコトアルベシ此場合ニ於テハ監督員ノ出張ニ要スル費用ハ起業者ニ於テ負担セシムルコトアルベシ但シ体給ハ此限リニアラズ

第十一條 測量設計中申請書ニ不都合ノ行爲アリト認メタルトキハ其測量設計ヲ中止若クハ廢止シ其既ニ要シタル費用ハ申請者ヲシテ之ヲ辨償セシム

第十二條 申請者ニ於テ設計書ヲ受ケタル後正當ノ理由ナク本規程ノ條項ニ違背シ又ハ工事ヲ廢止シタルトキハ測量設計ニ要シタル費用ノ全部又ハ其幾部ヲ申請者ヨリ辨償セシムルコトアルベシ

第十三條 本規程ニ基キ提出スヘキ書類ハ所轄郡市役所ヲ經山スヘシ

附 則

第十四條 本規程ハ明治三十九年八月一日ヨリ施行ス

第一號書式

耕地整理(土地改良地)質地踏査願

一、整理地區所在地 (土地改良地所在地)

二、整理豫定地面積 (土地改良目的及關係地區面積)

今般前記ノ土地整理改良致度候間實地御踏査相成度地形畧圖相添此段及申請候也

年 月 日 住 所 發起人 連 署

(町村又ハ組合等ノ事業ナルトキハ其管理者名)

知 事 宛

第二號書式

耕地整理地區測量設計願

一、整理地區所在地

第一章 獎 勵

- 一、整理地區總面積
 - 一、整理地區地價總額
 - 一、土地所有者總數
 - 一、同意證 (町村長ノ證明アル曆本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得)
- 前記ノ土地彙ニ實地御踏查相受候處今般測量設計相成度御許可ノ上ハ明治三十九年本縣告示號外耕地整理及土地改良獎勵規程ノ條項堅ク遵守可致全意證相添此段及申請候也

年 月 日

知 事 宛

住 所

發 起 人 連

署

第三號書式

土地改良事業設計願

- 一、改良地所在
 - 一、關係總面積
 - 一、土地所有者總數
 - 一、改良ノ目的
- 排水灌溉

一、起業者ノ種別 水利組合共全又ハ個人

一、工事着手豫定時期 何年何月何日以內ニ着手

一、工事竣成豫定時期 着手ヨリ何日竣成

右ハ彙ニ實地御踏查相受候處今般測量設計相成度御許可ノ上ハ明治三十九年本縣告示號外耕地整理及土地改良獎勵規程ノ條項堅ク遵守可致議事録相添此段及申請候也

住 所

發 起 人 連

署

(町村又ハ組合等ノ事
粟ナレハ其管理者名)

年 月 日

知 事 宛

設計調査ハ起業者ノ出願アリタル場合ノミ行フモノニシテ前記ノ規程ニ依リ補助ヲ申請シタルモノアルトキハ次ノ測量設計内規ニ依リテ精細ノ調査ヲ遂ケ設計書並ニ現形圖及豫定圖ヲ作製シ出願者ニ交付シ居レリ

耕地整理測量設計内規

平 面 地 形

第一章 獎 勵

- 一、平面地形ノ調査ハ三角測量及廣狹測量ニ依ルモノトス
- 二、三角ハ各狹角ニ於ケル度数ハ百二十度以下三十度以上トス
- 三、測角ハ倍角法ニ依リ三回以上測ルモノトス
但遊尺ハ兩方ヲ讀ミ之レヲ平均スヘシ
- 四、三角形内角ノ和ハ百八十度ニ比シ其差三十秒以内ヲ許シ各角度ニ適宜分配更正スルモノトス
- 五、基線ハ適當ノ場所ヲ撰ミ地盤ニ抗ヲ打チ其上ヲ農商務省ノ檢定ヲ經タル鋼鉄卷尺ヲ以テ精密ニ三回以上測定シ三回ノ結果ヲ彼是何レニ對比スルモ其差六千分一以内ナルモノヲ採用シ其平均ヲ以テ長トス
- 六、照查基線ハ其差三千分の一以内タルヘシ
- 七、方位ハ磁針方位ニ依ルモノトス
- 八、廣狹測量ハ技距測量ニ依ルモノトシ測点ハ三点ヲ起終点トシ其終結ニ生スル誤差ハ角度ニ於テ五分以内ヲ許シ距離測量ニ於テハ二点間貳回測定ノ結果誤差ノ千分ノ一以内ナルヲ要ス
- 九、技距測量ハ技距十間以内タルベシ

道路

十、道路ニ關シテハ次ノ各項ノ調査又ハ測定スルモノトス

- 一、國縣郡道幅六尺以上ノ町村道及農道ノ位置但幅六尺以内ノモノト雖モ必要ナルモノハ之ヲ測定ス
- 二、各種道路ノ幅、句配、曲線及路面等ノ性質
- 三、農産物集散ノ方向數量及運搬器ノ種類其通過ノ繁度
但通過ノ繁度ハ主トシテ最繁時ニ就キテ調査シ耕地ノ單位面積ニ對照算出スルモノトス

水路

十一、用水路ニ關シテハ次ノ各項ヲ調査又ハ測定スルモノトス

- 一、現在ノ用水取入口ノ位置
- 二、取入ノ方法及取入ノ水量
- 三、用水組織ノ區分
- 四、幅三尺以上ノ用水路ノ位置
但三尺以内ト雖モ必要ト認ムルモノハ之ヲ測定ス
- 五、主要用水路ノ縱橫断面
但縱断面ハ水路ニ沿ヒ三十間毎ニ測定シ橫断面ハ縱断面測点ヨリ水路ニ直角

- ニ左右十間以上測定ス
- 六、灌溉ノ方法ハ主トシテ其期間及水ノ使用方法ヲ調査ス
- 七、用水過不足ノ狀況及其原因
- 八、必要ノ水量
- 但土質ノ異ナル毎ニ其所要水量ヲ査定ス惡水路ニ關シテハ次ノ各項ヲ調査又ハ測定スルモノトス
- 一、現在ノ排水ノ方法及排出口ノ位置
- 二、惡水組織ノ區分
- 三、幅三尺以上ノ惡水路ノ位置
- 但三尺以内ト雖モ必要ト認ムルトキハ之ヲ測定ス
- 四、主要ナル惡水路ノ縱橫断面
- 但縱斷ハ惡水路ニ沿ヒ三十間毎ニ測定シ橫斷ハ縱斷測点ヨリ惡水路ニ直角ニ左右十間以上測定ス
- 五、排水ノ方法
- 但排水ノ方法ハ主トシテ其期間及惡水排出ノ方法ヲ調査ス
- 六、惡水停滯ノ狀況及其原因

七、必要ノ排水量

但雨量ヲ基礎トシ現在ノ惡水組織ニ於ケル單位面積ニ對スル單位時間ノ惡水量ヲ算定ス

水位ノ調査

十二、河流ニ對シテ次ノ各項ヲ調査又ハ測定スルモノトス

一、旬配水深幅流速等ノ性質

但シ主トシテ用水源又ハ惡水排出場トシテ觀察シ其必要ヲ認メサルモノニアリテハ此調査ヲ省クコトヲ得

二、流量

但主トシテ灌溉期間ニ於ケル平水位及最低水位ニ於ケル流量ニ付テ調査ス

三、耕地面對水位ノ變化

但灌溉期及排水期ニ於ケル耕地面對水位ヲ調査ス而シテ灌溉ニ對シテハ最低水位排水ニ對シテハ高水位及其繼續期間ヲ調査シ耕地ノ惡水ヲ海ニ排出スル所ノ瀕海地區ニ於テハ耕地對海水面ノ高サヲ調査ス

實測スヘキ地点

十三、以上ノ外實測スヘキ地点左ノ如シ

- 一、各郡市町村及大字ノ境界
- 二、各地類地目別ノ位置

鉛直地形

- 十四、鉛直地形ノ調査ハ縱横断面測量ニ依ル
- 十五、縱斷ハ河川及各水路ノ縱斷抗(三十間毎)ニ依リ測定ス
- 十六、其他ノ橫斷ハ重要ト認ムル地点ヲ測定ス
- 十七、區域大ニシテ地形錯雜セル場所ハ其必要ニ依リ一尺乃至三尺ノ同高線ヲ劃スルモノトス
- 十八、縱斷測量ハ實測二回以上施行シ各回ノ距離ヲ里ニテ表ハシタル數ノ平方根ニ〇・〇七ヲ乘シタル數千間ニ付凡四分内外以下タルヘシ
- 其他ノ調査
- 十九、以上ノ調査ノ外將來ノ計劃ヲ立ツルノ參考トシテ土質、水、農業狀態ニ關スル調査ヲ行フ
- 二十、土質ニ關シテハ次ノ各項ニ付テ調査スルモノトス
 - 一、耕土ノ性質及深
 - 二、心土ノ性質

廿一、水ニ關シテハ次ノ各項ニ付テ調査スルモノトス

一、雨量

二、蒸發量

廿二、農業狀態ニ關シテハ次ノ各項ニ付テ調査スルモノトス

一、農具ノ種類

二、收量

- 三、毎戸平均耕作反別
- 四、同上最大反別
- 五、同上最小反別
- 六、地主ノ平均所有反別
- 七、最大最小地主ノ所有反別
- 八、一區劃ノ最大最小平均面積
- 九、一地主ノ所有地又ハ一小作人耕作地散在ノ概況
- 十、一毛作地ニ毛作地ノ反別
- 十一、土地ノ價格
- 十二、濱地積ノ割合

製 圖

廿三、製圖ノ縮尺ヲ定ムルコト次ノ如シ

- 一、平面圖 六百分ノ一又ハ千二百分ノ一
- 二、縱断面 横六百分ノ一又ハ千二百分ノ一 高百分ノ一
- 三、横断面 百分ノ一

但前三項ハ土地ノ狀況ニ依リ便宜適當ノ縮尺ヲ定ムルコトアルベシ

四、工作物 工作物ノ縮尺ハ之ヲ現ハシ得ル程度ニ於テ便宜之ヲ定ム

廿四、平面圖ハ主トシテ薄色ヲ以テ着色シ實測シタル道路、水路、地目ノ位置ヲ記入シ

實測セサル小道路、小水路區劃等ハ町村圖ヨリ便宜縮寫スルモノトス

廿五、平面現形圖ニハ高低ヲ記入シ必要ニ應シテ同高線ヲ畫スルモノトス

廿六、縱断面圖ニハ必ず平面圖ノ番號其位置等ヲ記入ス

廿七、工作物圖面ニハ其位置及其種類等ヲ記入ス

廿八、記號ヲ定ムルコト次ノ如シ

- 一、三角点 紅一邊ノ長サ一分二厘ノ正三角
- 二、水準標 青半徑外圓ニ於テ五厘ノ二重圓
- 三、丁 杭 青直徑五厘ノ圓

四、梯 尺

五、方 位

廿九、各圖余白ニ於テ必ず起終年月日測量者製圖者等之ニ署名捺印スベシ

計 劃

三十、設計書中記載スヘキ事項左ノ如シ

- 一、整理地區ノ現況
- 二、整理ノ必要ナル理由
- 三、整理ニ依リテ得ヘキ利益
- 四、整理施行ノ方法及順序
- 五、工事仕様書及工費豫算
- 六、整理地區及之ニ隣接スル土地ノ現形圖
- 七、整理豫定圖
- 八、工事ノ着手及竣成ノ時期
- 九、整理費用豫算

卅一、設計書中必要ナル道路、水路ニ付テハ其断面圖ヲ調製シ切取盛立ト共ニ其土坪ヲ計算スルモノトス

卅二圖面ノ凡例ハ三十三年四月農商務省告示第二十八號ニ依ルモノトス但シ同告示ニ規定ナキモノハ主任者適宜之ヲ定ムルモノトス

何郡何村耕地整理功程報告

官 氏 名 ㊦

年 月 日	摘 要	使用杭木數	使役人夫數
何年何月何日	名古屋發何村へ着測量準備ヲナス	何	何
全	三角点何点撰定	全	全
全	三角点何点撰定及全何点杭木生込	全	全
全	三角距何点杭木生込及支距何点撰定	全	全
全	支距何点撰定	全	全
全	三角点何点撰定	全	全
全	三角点何点及支距何点測角	全	全
全	支距何点測角及支距何百何間	全	全
全	内 業	何	何
全	支距何百何間	何	何
計		何	何

基本調査ヲ施行スヘキ場所ハ水利ノ關係頗ル紛糾シ道路ノ聯絡亦極メテ錯綜セル所

ニシテ大地域ニ涉リテ調査測定ヲ爲サ、レハ適當ナル耕地整理計畫ヲ立ツルコト能ハサル土地ニ施スモノニシテ敢テ起業者ノ出願ヲ俟タス必要ト認ムル場合ニ着手スルモノナリ而シテ其調査規程及調査細則ハ左ノ如シ

耕地整理基本調査規程

- 第一條 本調査ハ縣内耕地ノ内灌溉及排水ノ組織並ニ道路ノ關係等複雜錯綜シ比較的大區域ノ調査ヲ爲スニアラサレバ適當ナル整理ノ基本計畫ヲ立ツルコト能ハサル部分ニ對シテ施行スルモノトス
- 第二條 本調査ハ重ニ左ノ區域ニ對シテ之ヲ行フモノトス
 - 庄内川以西尾張國一圓
 - 豊川沿岸
 - 寶飯郡高地部
 - 縫妻川沿岸
 - 鹿乘川沿岸
- 第三條 本調査ニ於テハ専ラ現在ノ耕地状態ニ關シ左ノ事項ニ付測量設計ヲ行フモノトス

- 一、 平面地形
- 二、 國縣郡道及重要ナル町村道ノ位置性質及農業上ヨリ見タル其適否
- 三、 用水源及用水組織ノ適否並ニ主要ナル水路ノ位置及其適否
- 四、 惡水排除法及惡水組織ノ適否並ニ主要ナル惡水路ノ位置性質及其適否
- 五、 河川ノ位置性質及流量ノ變化並ニ耕地對水位ノ變化
- 六、 各町村大字ノ境界
- 七、 土地種目別ノ位置
- 八、 鉛直地形
- 九、 製圖

第四條 前條ノ測量調査ヲ終リタルトキハ將來耕地整理ニ對スル基本計畫ヲ定メ之ヲ現形平面圖ニ設定スルモノトス

圖面ニ設定スヘキ基本計畫線ハ左ノ如シ

- 一、 國縣郡道及重要ナル町村道ノ改良線又ハ新計畫線
- 二、 用水源及用水組織及用水路ノ改良線又ハ新計畫線
- 三、 惡水排除法惡水組織及惡水路ノ改良線又ハ新計畫線
- 四、 河流ノ改良線

第五條 本調査ハ最モ急要ト認ムル部分ヨリ着手スルモノトス

第六條 本調査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

第七條 本調査ハ明治三十九年十二月一日ヨリ施行ス

耕地整理基本調査細則

第一章 平面地形

第一條 平面地形ノ調査ハ三角測量及廣狹測量ニ依ルモノトス

第二條 三角測量ヲ分ツテ大小三角ノ二種トス

第三條 大三角ニ於テハ三角形各狹角ノ度數ハ百度以下四十度以上ナルヲ要ス止ヲ得ザルトキハ四邊構形式ニ依リ整理シ小三角ニ在リテハ各狹角ノ度數ハ百二十度以下三十度以上トス

第四條 測角ハ倍角法ニ依リ三回以上測ルモノトス但シ遊尺兩方ヲ讀ミ之レヲ平均スベシ

第五條 三角形內角ノ和ハ百八十度ニ比シ其差大三角形ニ在リテハ十五秒以內小三角形ニ在リテハ三十秒以內ヲ許シ其差ハ各角度ニ適宜分配更正スルモノトス

第六條 基線ハ區域内適宜好位置ヲ撰ヒ一區域内兩端ニケ所トシ地盤ニ杭ヲ打チ板ヲ敷キ其上ヲ農商務省ノ檢定ヲ經タルロツド若クハ銅鉄卷尺ヲ以テ精密ニ三回以上測定シ三回ノ結果ヲ彼是何レニ對比スルモ其差六千分一以内ナルモノヲ採用シ其平均ヲ以テ長トス

但シ一區域基線間五里以上ニ涉ルトキハ更ニ一線ヲ設ク

第七條 各基線實測長ト計算長トノ差ハ三千分一以内タルベシ

第八條 方位ハ磁針方位ニ據ルモノトス

但シ區域全部ヲ通シテ一定タルベシ

第九條 廣狹測量ハ技距測量スタヂヤ測量ノ二種トス

第十條 測點ハ三角點ヲ起終點トシ其終結ニ生スル誤差ハ角度ニ於テ五分以内ヲ許シ距離測量ニ於テハ二點間二回測定ノ結果誤差千分一以内ナルヲ要ス

但シ經緯距計算ノ結果左式ニ依リ誤差千分一以内トス

$$\frac{1}{1000} \sqrt{(\text{經距ノ差})^2 + (\text{緯距ノ差})^2}$$

周邊ノ和

第十一條 「スタヂヤ」ハ三角點及三角點ヲ起終點トシテ連結シタル測點ニ於テ測ル

第十二條 枝距測量ハ枝距十間以内トス

但シ「スタヂヤ」測量ハ池川其他往復不便ノ所又ハ緻密ヲ要セザル場所ニ於テ使用シ且ツ機械ノ種類ニ依リ距離ヲ斟酌ス

第二章 道 路

第十三條 道路ニ關シテハ次ノ各項ヲ調査又ハ測定スルモノトス

一、國縣郡道市六尺以上ノ町村道及農道ノ位置

但シ幅六尺以内ノモノモ必要ナルモノハ之ヲ測定ス

二、各種道路ノ幅、句配、曲線及路面等ノ性質

三、農產物集散ノ方向、數量、耕地對農舍間ノ交通運搬ノ方向、數量及運搬器ノ種類其通過ノ繁度

但シ耕地對農舍間ノ交通運搬ト耕地ノ單位面積ニツキテ算出シ運搬器通過ノ繁度ト耕地ノ單位面積ニ對シ主トシテ最繁時ニツキテ調査スルモノトス

第三章 用 水

第十四條 用水ニ關シテハ次ノ各項ヲ調査或ハ測定スルモノトス

一、現在ノ用水取入口ノ位置

二、取入ノ方法及取入ノ水量

- 三、用水組織ノ區分
 - 四、巾三尺以上ノ用水路ノ位置
但シ三尺以内ト雖モ必要ト認ムルトキハ之ヲ測定ス
 - 五、主要用水路ノ縱橫断面
但シ縱断面ハ水路ニ沿ヒ二丁毎トシ或ハ必要ノ場合ニ丁杭ヲ設ケ測定シ横断面ハ縱断丁杭ノ個所ニ於テ水路ニ直角ニ水路敷左右十間以上測定スルモノトス
 - 六、灌溉ノ方法
但シ灌溉ノ方法ハ主トシテ其期間及水ノ使用方法ヲ調査ス
 - 七、現在ノ用水量
但單ニ引入水量ト灌溉反別ヨリ算定ス
 - 八、用水過不及ノ狀況及其原因
 - 九、必要ノ水量
但土質ノ異ナル所ニ依リ之ヲ查定ス
- 第四章 惡水
- 第十五條 惡水ニ關シテハ次ノ各項ヲ調査或ハ測定スルモノトス
- 一、現在ノ排水ノ方法及排出口ノ位置

- 二、惡水組織ノ區分
- 三、幅三尺以上ノ惡水路ノ位置
但三尺以内ト雖モ必要ト認ムルトキハ之ヲ測定ス
- 四、主要ナル惡水路ノ縱橫断面
但シ縱断面ハ水路ニ沿ヒ二丁毎トシ必要ノ場合ニ丁杭ヲ設ケ測定シ横断面ハ縱断丁杭ノ個所ニ於テ水路ニ直角ニ水路敷左右十間以上測定スルモノトス
- 五、排水ノ方法
但シ排水ノ方法ハ主トシテ其期間及惡水排出ノ方法ヲ調査ス
- 六、現在ノ排水量
但シ現在ノ排水量ハ排水水量ト排水反別トヨリ算定ス
- 七、惡水停滯ノ狀況及其原因
- 八、必要ノ排水量
但シ雨量ヲ基礎トシテ現在ノ惡水組織ニ於ケル單位面積ニ對スル單位時間ノ惡水量ヲ算定ス

第五章 河流

第十六條

河流ニ關シテハ左ノ事項ヲ調査又ハ測定スルモノトス

一、幅六尺以上ノ河流ノ位置

但シ幅六尺以内ト雖モ必要ト認ムルトキハ之ヲ測定ス

二、匂配水深流速等ノ性質

但シ主トシテ用水源又ハ惡水排出場トシテ觀察シ其必要ヲ認メサルモノニ
アツテハ此調査ヲ省クコトヲ得

三、流量

但シ主トシテ灌溉期間ニ於ケル平水位及最高最低水位ニ於ケル流量ニツキ
テ調査ス

四、耕地面對水位ノ變化

但シ灌溉期及排水期ニ於ケル耕地面對水位ヲ調査ス而シテ灌溉ニ對シテハ
最低水位排水ニ對シテハ高水位及其繼續期間ヲ調査シ耕地ノ惡水ヲ海ニ排
出スル所ノ瀕海地區ニ於テハ耕地對海水面ノ高ヲ調査ス

第六章 實測スヘキ地点

第十七條 以上ノ外廣狹測量ニ於テ實測スベキ地點左ノ如シ
一、各都市町村及大字境界

二、各地類地目別ノ位置

第十八條 郡市町村及大字ノ境界測定ノ際ハ關係吏員ヲ立會セシムルモノトス

第十九條 各地類地目別ノ位置ハ山林原野宅地畑田家屋社寺墓地等ノ境界ヲ實測
スルモノトス

但シ主任者ニ於テ其必要ヲ認メサルモノハ之ヲ省ク

第七章 鉛直地形

第二十條 鉛直地形ノ調査ハ縱橫断面測量ニ依ル

但シ重要ナル地点ハ前項ニ關セス測定ス

第二十一條 縱斷測量ニ於テ其許スヘキ誤差ハ實測二回ノ結果各回ノ距離ヲ里ニ
テ表ハシタル數ノ平方根ニ〇〇七ヲ乘シタル數ノ以下タルベシ

第二十二條 縱橫断面測量ニ於ケル零位ハ熱田灣量水標ニ依ルモノトス

第二十三條 水準標ハ十八丁毎ニ一本ヲ設ク

但シ水準位ハ便宜岩石或ハ固定物体ニ移シ置クモノトス

第二十四條 橫斷測量ハ其高低ヲ表ハシ得ル程度ニ於テ適宜測定ス

第八章 參考調査

第二十五條 以上ノ調査ノ外現在ノ耕地狀態ノ適否ヲ察シ將來ノ計畫ヲ立ツルノ

参考トシテ土質水農業状態ニ關スル調査ヲ行フ

第二十六條 土質ニ關スル調査事項次ノ如シ

但シ一大字一ヶ所以上適宜ノ位置ヲ撰ヒテ之ヲ調査スルモノトス

一、耕土ノ性質及深

二、心土ノ性質

第二十七條 水ニ關スル調査事項次ノ如シ

一、雨量

(一) 最大最小平均年雨量

(二) 最大最小平均月雨量

(三) 最大日雨量

(四) 一回ノ最大雨量

(五) 雨水ノ滲透流去蒸發ノ歩合

二、蒸發量

(一) 最大最小平均年蒸發量

(二) 最大最小平均月蒸發量

(三) 最大日蒸發量

但雨量及蒸發量ノ調査ハ少クトモ五ヶ年以上ノ平均トシ各都市別ニ之ヲ行フモノトス

第二十八條 農業状態ニ關スル調査事項次ノ如シ

一、栽培

(一) 稻栽培法(主トシテ水ノ關係ニ於テ)

(二) 農具ノ種類

(三) 各種作業ノ工程

(四) 收量

二、農業ノ規模

(一) 毎戸平均耕作反別

(二) 同上最大反別

(三) 同上最小反別

三、土地ノ價格及利用ノ程度

(一) 土地ノ價格

(二) 一毛地二毛地ノ反別

(三) 置地積ノ割合

第一章 奨助

四、耕地分割ノ狀況

- (一) 地主ノ平均所有反別
 - (二) 最大最小地主ノ所有反別
 - (三) 一區劃ノ最大最小平均面積
 - (四) 一地主ノ所有地又ハ小作人耕作地散在ノ概況
- 但シ各郡市別ニ之ヲ調査スルモノトス

第九章 製圖

第二十九條 製圖ノ縮尺ヲ定ムルコト次ノ如シ

- 一、平面圖 三千分ノ一或ハ千二分ノ一
- 二、縱斷面 横三千分ノ一高二百分ノ一
- 三、横斷面 二百分ノ一

但シ前三項ハ土地ノ狀況ニ依リ便宜適當ノ縮尺ヲ定ムルコトヲ得ヘシ

四、工作物 工作物ニ於ケル縮尺ハ之ヲ表ハシ得ル程度ニ於テ便宜之ヲ定ム

第三十條 平面圖製圖ハ經緯距ニ依リ大小三角点及測点ノ組成ヲ成シ實測シタル地目及水路、道路ノ位置用惡水路ノ丁抗位置番號ヲ記入シ實測セサル小水路、小道路等ハ町村圖ヨリ便宜縮寫シ着色ハ薄色ヲ要ス

但凡例ヲ別ニ示ス

第三十一條 平面圖ニハ高低ヲ記入シ同高線ヲ畫ス同高線ハ高サ三尺毎ニ青点線ヲ用ヒ十五尺毎ニ青實線ヲ用フ

但シ必要ニ依リ三尺以下ノ高低線ヲ畫スルコトアルヘシ

第三十二條 縱橫斷面圖ニハ必ズ平面圖ニアル位置ノ番號ヲ記入スルモノトス

第三十三條 工作物圖面ニハ其位置及ヒ其種類等ヲ記入ス

第三十四條 三角線ハ紅線ヲ用ヒ基線ハ紅線二重トス

第三十五條 記號ヲ定ムルコト次ノ如シ

- 一、大三角點 紅 一邊ノ長一分五厘ノ正三角
 - 二、小三角點 紅 一邊ノ長サ一分二厘ノ正三角
 - 三、水準標 青 半徑外圓ニ於テ五厘ノ二重圓
 - 四、丁杭 青 直徑五厘ノ圓
 - 五、測点 黑 直徑五厘ノ圓
- 但シ縮尺ノ大小ニ依リ記號ノ大小ヲ斟酌スルモノトス

六、方位

七、梯尺

第三十六條 各圖面毎葉ノ餘白ニ於テ必ス起終年月日測量者製圖者等之ニ署名捺印スベシ

三六

第十章 計 劃

第三十七條 道路ニツキテ新ニ計畫スベキモノ左ノ如シ

一、國縣郡道ノ改良又ハ新計畫案

二、耕作幹道及耕地畧ボ百町ヲ支配スヘキ耕作支道ノ改良又ハ新計畫案(位置及断面)

三、工費豫算

第三十八條 用水ニツキテ新ニ計畫スヘキモノ左ノ如シ

一、用水源(用水組織ノ改良又ハ新計畫案(頭首工其他ノ水源ニ關スル設備計畫ヲ含ム))

二、用水本溝及耕地畧ボ百町ヲ支配スヘキ用水支溝ノ改良又ハ新計畫案(位置及断面)

三、工費豫算

第三十九條 惡水ニツキテ計畫スヘキモノ左ノ如シ

一、惡水排除法ノ改良及新計畫案(機械排水ヲ採ル場合ニハ揚水機ニ關スル計畫、

自然排水ヲ採ル場合ニハ排出口ノ位置及構造)

二、惡水本渠及耕地畧ボ百町ヲ支配スル惡水支渠ノ改良又ハ新計畫案(位置及断面)

三、工費豫算

第四十條 河流ニ付テ計畫スヘキモノ左ノ如シ

一、河川法施行ノ河川以外ノ河川改良又ハ新計畫案

第四十一條 道路水路ノ計畫案ハ原形圖ニ朱線ヲ以テ記入ス

第四十二條 用惡水幹線ノ改良又ハ新計畫案ニ付テハ縱横断面圖ヲ作り工費ノ豫算ヲ算定ス

第四十三條 道路用惡水路支線ノ改良及新計畫案ニ付テハ主トシテ位置ヲ決定スルヲ目的トシ現形圖上工費ノ算定ヲナスニ止ム

第十一章 附 則

第四十四條 杭木ヲ定ムルコト次ノ如シ

一、大三角點 六寸角長四尺

石材

二、水準標 七寸角長四尺

石材

三、小三角點 三寸角長三尺(五面削リ赤ペンキ塗) 檜材

- 四、水準標 三寸角長三尺(五面削リ赤ペンキ塗) 檜材
- (別紙雛形ニ依ル)
- 五、丁杭 二寸角長二尺五寸白ペンキ塗 杉材
- 六、測点杭 一寸角長二尺ペンガラ塗 杉材
- 七、境界杭 末口二寸長二尺五寸 丸木材

第四十五條 本則ニ規定ナキモノハ主任者適宜ニ之ヲ定ムルコトヲ得

凡 例

- 一、道路 薄袋楮
- 一、池沼河川及用水路 薄藍
- 一、惡水路 濃藍
- 一、宅地 薄褐
- 一、畑 薄黃
- 一、山林 薄綠
- 一、原野 薄黑
- 一、水流ノ方向 支流 本流

- 一、用水組織界 藍色
- 一、惡水組織界 全
- 一、大字界 墨
- 一、町村界 全
- 一、郡市界 全
- 一、縣界 全

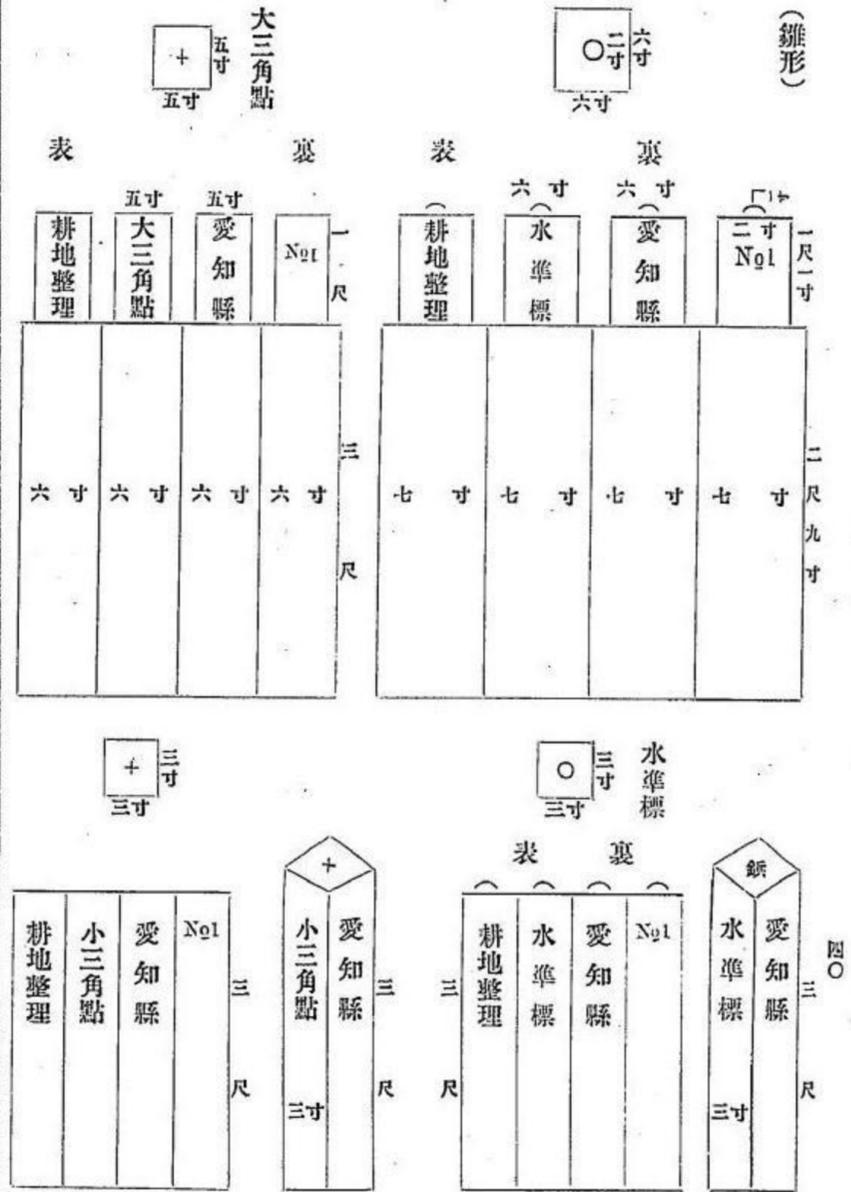
第二章 成績

耕地整理法發布以來本縣ニ於ケル斯業發達ノ徑路ハ極メテ順調ニシテ今ヤ五千餘町歩ノ整理地ヲ算スルニ至レリ今四十二年六月ニ至ル迄ノ整理反別ヲ年度別ニ依リ列舉スレハ左表ノ如シ

年次	個所	反	別
三十三年度	三	三二四、九九〇	一
三十四年度	一	六八、二三一〇	一
三十五年度	一	一五〇、二二一七	一
三十六年度	一	一五一、〇三〇三	一
三十七年度	二	二二二、三九〇五	一
三十八年度	九	一、六四六、二二〇〇	一
三十九年度	四	三三七、七三一五	一
四十年 度	三	二、四二、二五二二	一

第二章 成績

四一



四十一年度	八五、七二四
計	五、一三八、七二〇七

備考 本表ハ四十一年六月末現在ノ調査ナリ

本表中三十三年度三十四年度ノ分ハ獎勵機關設置前ノ計畫ニ係ルモ

之ヲ事業進行ノ程度ニ依リ細別表示スレハ
ノニシテ別ニ測量設計ノ補助ヲ與ヘス

整理地區所在	地區總面積	地區内田畑面積	整理費用豫算	全上反當豫算	施行認可年月日	工事着手期日	工期
碧海郡六ツ美村大字下中	一、三三、六〇七	八、〇三三	三、三、六〇〇	一、五、四〇〇	三三年二月四日	三、年一月	三ヶ年
海西郡市江村大字東條	六、九八八	一、九〇五	一、五、五八〇	二、五〇六	三三年五月〇日	三、年三月	三ヶ年
全郡全 村大字四條	六、八三〇	一、八九七	一、七、九一〇	二、三三七	三三年五月〇日	三、年三月	三ヶ年
浦美郡高師村大字植田	三、〇四九	六、九四四	七、七、〇〇〇	七、九八八	三三年六月三	三、年三月	一
計	三、三、三〇四	一、〇一、六〇四	三、三、三〇三	一、一、五〇四			

工事中ノ箇所 (施行認可済) 四十一年六月末調

整理地區所在	地區總面積	地區内田畑面積	整理費用豫算	全上反當豫算	施行認可年月日	工事着手期日	工期
東春日井郡守山町大字湖古幸心	一、五、〇〇七	六、七、七〇〇	二、〇、七、三六六	二、三、三三〇	三三年三月三	三、年三月	三ヶ年
碧海郡高岡村大字駒場	三、六〇三	二、六、三二一	一、五、五〇〇	四、九六五	三三年三月三	三、年三月	一ヶ月
額田郡廣田村大字大草	三、八、七〇三	六、七、六二八	三、〇、〇〇〇	二、七、七二八	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
全郡全 村大字萩	一、〇、一、二〇〇	三、七、七〇〇	三、〇、八〇〇	二、八、〇〇〇	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
全郡全 村大字芦谷	七、七、〇〇〇	一、〇、一、〇〇〇	三、三、三三三	一、八、〇〇〇	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
全郡全 村大字蘆池	五、五、五五五	一、〇、一、〇〇〇	一、〇、一、〇〇〇	一、〇、一、〇〇〇	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
全郡全 村大字横落	二、〇、二、〇〇〇	七、〇、〇〇〇	二、〇、二、〇〇〇	一、七、〇〇〇	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
碧海郡新川町外三ヶ町村	三、八、三三三	三、八、三三三	一、〇、九、九九九	二、七、七二二	三三年三月三	三、年三月	二ヶ年
愛知郡下ノ一色村	六、〇、〇〇〇	一、八、二二二	一、〇、九、九九九	一、五、一六六	三三年三月三	三、年三月	二ヶ年
湖美郡野田村	三、七、〇〇〇	一、八、〇〇〇	一、八、〇〇〇	三、三、三三三	三三年三月三	三、年三月	六ヶ年
額豆郡平原村	三、七、三三七	一、一、一一一	一、一、一〇〇	三、三、三三三	三三年三月三	三、年三月	三ヶ年
全郡一色村大字細川	七、七、七〇〇	一、九、三三三	一、一、一〇〇	三、三、三三三	三三年三月三	三、年三月	三ヶ年
碧海郡六ツ美村大字合歡	三、三、三三三	三、三、三三三	三、三、三三三	一、四、四四四	三三年三月三	三、年三月	二ヶ年
中島郡蘇東耕地整理	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	三、三、三三三	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
額田郡岩津村大字西蔵前	三、〇、五〇八	一、一、一〇〇	六、九、九二七	三、三、三三三	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
東春日井郡小牧町外一ヶ村	三、七、六三三	一、一、一〇〇	三、七、六三三	八、六、六六六	三三年三月三	三、年三月	五ヶ年
計	四、四、四三三	一、一、一〇〇	四、四、四三三	九、八、八八八			

工事中ノ箇所 (施行認可済) 四十一年六月末調

整理地區所在	地區總面積	地區內田面積	整理費用概算	全上反當概算	施行認可年月日	工事着手期日	工期
西春日井郡六師村	九,四〇〇	七,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	三〇,九二六		
東春日井郡小牧町其々	二九,六六〇	一九,八五三	一六,五〇〇,〇〇〇	九,七五〇	四〇,九二六		五ヶ年
八名郡八名村大字宮岡	一五,八八八	一〇,四三三	四,三〇〇,〇〇〇	三,七五〇	四〇,九二六		二ヶ年
知多郡大高町	五,七三〇	三,八二二	一八,九五五,〇〇〇	三,一四〇	四〇,九二六		二ヶ年
計	五九,九六八	三九,〇〇八	四〇,〇〇〇,〇〇〇	二,〇六六			
合計	五,三六七七	三,六四三	九,九三三,〇〇〇	八,四〇六			

尙調査設計已ニ了リ認可申請手續中ノモノ、調査設計中ノモノ、基本調査済ノモノ及基本調査中ノモノ等ヲ掲クレハ次ノ如シ

發起認可申請手續中ノ箇所 (測量設計済) 四十一年六月末調

整理地所在	區地總面積	整理地區所在	地區總面積
寶飯郡牛久保町	三〇〇,〇〇〇	渥美郡牟呂吉田村	一七一,四三〇
海西郡飛鳥村	一六五,三五七	渥美郡泉村	一四六,八九一
全郡八開村大字藤ヶ瀬	六五,〇〇〇	東春日井郡小牧町中外十二大字	八五〇,〇〇〇
東春日井郡味岡村	四〇九,八四〇	額田郡山中村	七五,〇〇〇

幡豆郡一色村大字小藪	一四,九一九	額田郡廣田村大字高力	七二,〇〇〇
全郡三和村	三〇〇,〇〇〇	南設樂郡千郷村	八六,七二四
全郡横須賀村大字駿馬	三〇,〇〇〇	全郡作手村	二〇〇,〇〇〇
東春日井郡小牧町大字南外山	二〇〇,〇〇〇	葉栗郡黒田村	五三一,七六二
西春日井郡北里村	八〇〇,〇〇〇	八名郡八名村八名井	四六,三六〇
東春日井郡味岡村大字岩崎	一八六,五八三	丹羽郡岩倉町外二ヶ村	八〇〇,〇〇〇
海東郡南陽村大字福田	二二三,二〇一	計	五,七二八,五九〇
同郡富田村 江松津	六三,五〇一		

測量設計中箇所 四十一年六月末調

東春日井郡勝川町外五ヶ村	四,二〇〇,〇〇〇	丹羽郡樂田村	六三一,八〇〇
愛知郡呼織町	八八,〇〇〇	全郡羽黒村	八一三,〇〇〇
知多郡八幡村	四〇,〇〇〇	計	五,八七二,八〇〇
寶飯郡御津村	一〇〇,〇〇〇		

基本調査済ノ箇所 四十一年六月末調

碧海郡鹿乘川沿岸	二、〇〇〇、〇〇〇	海東郡宮田用水灌漑區域ノ一部	一、〇〇〇、〇〇〇
海東郡日光川西	三、〇〇〇、〇〇〇	計	六、〇〇〇、〇〇〇

基本調査中ノ箇所 四十一年六月末調

海東郡宮田用水灌漑區域	八、〇〇〇、〇〇〇	海東郡戸田川沿岸	二、〇〇〇、〇〇〇
碧海郡油ヶ淵	一、八〇〇、〇〇〇	渥美郡柳生川沿岸	四〇〇、〇〇〇
丹羽郡青木川沿岸	一、〇〇〇、〇〇〇	計	六
西春日井郡新川沿岸	一、〇〇〇、〇〇〇		一四、二〇〇、〇〇〇

前各表中整理施行中ニ係ル分二十五ヶ所五千余町歩並ニ測量設計済ニシテ目下認可申請手續中ノ分二十二ヶ所五千七百余町歩ヲ郡市別ニ綜合對照スレハ左ノ如シ

耕地整理事業成績郡市別對照表

郡市名	面積		工事完了		工事施行中		工事着手準備中		認可申請手續中		計
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	
愛知	一	九六、〇四二									九六、〇四二
名古屋											

東春日井	二	五四八、七三九	一	一六九、六六〇	四	一、六四六、四二三	七	七、三六四、八〇一
西春日井				九九、三四〇	一	八〇〇、〇〇〇	二	八九九、三四六
丹羽					一	八〇〇、〇〇〇	一	八〇〇、〇〇〇
栗					一	五二、七六九	一	五二、七六九
中島		一、九五七、三〇四					一	一、九五七、三〇四
海東					二	二七、七〇五	二	二七、七〇五
海西	二	三〇一、三三六			二	三三〇、三五七	四	三六〇、五八五
知多					一	八五、七三四	一	八五、七三四
碧海	一	一、三三六、五〇七	三	五、四一、三三三			四	七、七七一〇
幡豆			二	一、五二、三三〇	三	三、四四九、二一九	五	四、五〇〇、三一九
額田			七	八三、六八〇	二	一、四七、〇〇〇	九	九、二六、八〇九
西加茂								
東加茂								
北設樂								

計	豊橋	八名	渥美	寶飯	南設樂
四	一	一	一	一	一
三四,三七四			二〇,四八九		
一七			一		
四,四四四,四二五			三,七四〇九		
四	一				
三,六九,九〇八		一五,八八			
三	一	二	一	二	
五,七八五,九〇〇	四,三〇〇	三,八三三	三〇〇,〇〇〇	二,六六七,二二四	
四七,一〇八,七三〇	二	四	一	二	
		六,二四八	三〇〇,〇〇〇	二,六六七,二二四	

第三章 耕地整理委員協議會狀況

明治四十年七月廿九日三十日ノ兩日間本縣會議事堂ニ於テ耕地整理委員及發起人等ヲ招集シ協議會ヲ開ク當日ノ出席人員百拾名ニシテ之ヲ各郡市ニ分カツトキハ左表ノ如シ

第一回整理委員協議會出席者

郡市名	員數	郡市名	員數
名古屋	一	丹羽	一
愛知	三	知多	三
東春日井	二八	碧海	一〇
葉栗	三	幡豆	二
西春日井	四	額田	二四
中島	六	東加茂	一
海東	五	西加茂	一
海西	三	南設樂	一

北	設	樂	八	名	二
寶	飯	三	豐	橋	一
源	美	二	計		一〇

五〇

開會ニ先チ深野本縣知事ハ左ノ趣旨ニヨリ本事業ニ關スル訓示的演說アリタリ

耕地整理ハ農業改良ノ根本事業ニシテ國富増進ノ唯一手段タリ今ヤ整理事業各地

ニ勃興シ漸次隆盛ノ域ニ進ムハ邦家ノ爲メ大ニ慶祝スヘキノコトニ屬ス

抑モ耕地整理ハ單ニ形態ノミノ改良ニアラスシテ大ニ其實質ノ改善ヲ期セサルベ

カラス整理ノ結果其成績ヲ永遠ニ維持收得スルノ方法ヲ講セサルニ於テハ決シテ

完全ナル整理ノ實ヲ擧ケタルモノト云フ可カラス本事業ハ其經營頗ル複雑多難ニ

シテ關係スル處甚タ廣シ之ヲ以テ當事者ハ常ニ細心注意ヲ以テ事ヲ處シ本日ノ如

キ集會ハ年々之ヲ開キ適切重要ナル事項ニ付テ熟議ヲ遂ケ以テ完全ナル實績ヲ擧

クルコトニ務メンコトヲ望ム云々

次テ鈴木内務部長議長席ニ就キ左記問題ニ付キ打合協議ヲナセリ

耕地整理協議會打合事項

一、整理施行ニ關シ最モ困難ヲ感スル事項

二、整理事業進行ノ狀況

三、工事施行ノ方法

四、事務取扱ノ方法

五、土地評定ノ方法

六、換地交付ノ方法

七、整理地ノ維持管理ノ方法

第一第二ハ各整理地區ノ實況ヲ述ベシメ第三項以下ハ各地區ノ實況ヲ述ヘシムルト
共ニ相互ノ意見ヲ徵シ最モ簡便ニシテ利益アル方法ヲ協定シ各地區トモ成ル可ク歩
調ヲ整一ニシテ遺憾ナク進行スルコト、セリ

何々耕地整理地管理作業組合規約

第一章 總 則

第一條 本組合ハ整理地ノ維持管理方法ヲ周密ニシ農事ノ改良發達ヲ圖リ整理ノ

利益ヲ永久ニ保持セムカ爲メニ之ヲ設置ス

第二條 本組合ハ何々耕地整理作業組合ト稱ス

第三條 本組合ハ事務所ヲニ置ク

第四條 本組合ハ耕地整理地區内ニ於テ土地ヲ所有スルモノ及農事ヲ營ムモノヲ以テ之ヲ組織ス

第二章 組合ノ機關

第五條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長一名、副組合長一名、評議員若干名、幹事若干名

第六條 組合長、副組合長及評議員ハ組合員中ヨリ互選ヲ以テ之ヲ定メ、幹事ハ組合長之ヲ任免ス

第七條 組合長、副組合長、評議員ノ任期ハ三ケ年トス、但シ再選ヲ妨ケス

第八條 組合長ハ組合一切ノ事務ヲ總理シ、組合ヲ代表ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ、組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス、評議員ハ組合長ヲ補佐シ、組合事務執行ノ議ニ與ル、幹事ハ組合長ノ旨ヲ承ケ、庶務會計ニ従事ス

第九條 本組合ノ會合ハ通常總會、臨時總會、評議員會ノ三種トス

通常總會ハ毎年 月一回之ヲ開ク

臨時總會ハ組合長ニ於テ必要ト認メタルトキ、若クハ組合員五分ノ一以上ヨリ請求アリタルトキ之ヲ開ク

評議員會ハ組合長ニ於テ必要ト認メタルトキ、隨時之ヲ開ク

第十條 總會ハ左ノ事項ヲ議決スルモノトス

一、組合事業ノ經營

二、組合事業執行ニ關スル方法

三、組合經費ノ豫算及經費徵收ニ關スル方法

評議員會ハ總會ノ委任シタル事項及組合長ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ議決スルモノトス

第十一條 組合長、副組合長、評議員ハ無報酬トス、但シ幹事ニハ報酬ヲ與フルコトアルヘシ

第三章 整理地ノ維持管理

第十二條 整理地區ノ土地ハ之ヲ分割シテ賣買讓與ヲ爲サ、ルモノトス、若シ止ムヲ得サルモノアルトキハ、其事由ヲ具シ、組合長ノ承認ヲ經ヘシ

第十三條 道路ノ修繕、溝渠ノ浚深ハ、毎年二回以上、上期日ヲ定メテ、同時施行スルモノトス、其期日ハ、組合長ヨリ通知スヘシ

第十四條 樋管及大小水閘ハ組合長ノ承認ヲ受クルニアラサレハ伏替ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第十五條 道路溝渠樋管水閘等ニ異變ヲ生シタルトキハ其發見シタルモノハ直チニ組合長ニ報告スルモノトス

第十六條 各用悪水路ニハ水流疏通ノ障碍トナルヘキ物質ヲ濫リニ投棄ス可ラサルモノトス

第十七條 地區内水路ニ於テハ俗ニ「カヒドリ」法ト稱スル捕魚法ヲ爲サ、ルモノトス

第十八條 灌溉排水ノ方法ハ各其設備ニ據ルノ外濫リニ隣地ノ道路畦畔等ヲ掘鑿スルヲ禁ス

第十九條 各溝渠内ニ稻其他ノ作物ヲ植付サルモノトス

第二十條 地區内各地先ノ道路堤塘及畦畔等ノ幅員ヲ削リ一定ノ境界ヲ變更スルコトヲ禁ス

第四章 作 業

第二十一條 本組合ハ農事改良ノ實ヲ擧ケンカ爲メ左ノ各項ヲ履行ス

一、米麥種類ノ選擇並ニ種子ノ精選ヲ共同實行スルコト

二、短冊形共同苗代ヲ實行スルコト

三、害虫驅除ヲ勵行スルコト

四、正條植ヲ實行スルコト

五、拔キ取リタル稗雜草ハ濫リニ拋棄セス必燒却又ハ無害地ヘ埋ムルコト

六、牛馬ヲ飼育シ盛ニ牛馬耕ヲ實施スルコト

第二十二條 前條ノ各事項ヲ履行スル爲メ必要ナル細則及方法ハ總會又ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第五章 雜 則

第二十三條 組合ハ組合員ノ陋習弊風ヲ改善シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成シ法律ニ因ル産業組合ヲ設置スル目的ヲ以テ左ノ事項ヲ履行ス

一、貯金ヲ爲スコト

二、農家ニ必要ナル物品ヲ共同購入使用スルコト

三、必要ナル資金ヲ供給スルコト

四、農産物ノ共同販賣ヲ爲スコト

第二十四條 前條ノ各事項ヲ履行センカ爲メ必要ナル細則及方法ハ總會又ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第廿五條 組合ノ經費ハ組合員ノ負担トス

第六章 違約處分

第廿六條 組合員ニシテ本組合ノ主義規約ニ反シタル行爲アルトキハ事ノ輕重ニ依リ過怠金ヲ徵收スルモノトス其額ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下トシ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第廿七條 過怠金ハ組合ノ積立トス其管理及支出ノ方法ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第廿八條 本組合ニ加盟シタルモノニシテ異動ヲ生シタルトキハ其繼襲者ニ於テ本組合同規約ヲ履行スル義務アルモノトス

第七章 附則

第廿九條 本規約ハ明治 年 月 日ヨリ實施ス

整理費用ノ大部分ハ全ク工費ニシテ事務費雜費ハ僅ニ其一部分ニ過キス故ニ整理工事中ハ多額ノ金錢其地方ニ運轉流通スルコト、ナルヲ以テ若シ其勞銀ノ散逸ヲ取締ラス徒ラニ勞働者ノ濫費ニ委スルニ於テハ奢侈費澤ノ惡風深ク人心ニ感染シ遂ニ救フ可ラサルモノアルニ至ルナキヲ保セス故ニ各整理地區ハ着手ノ當初ヨリ必此方面ニ向テ大ニ注意ヲ拂ハシムルノ必要ヲ認メ左記ノ如キ規約ヲ議定シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成スルコト、セリ

耕地整理貯蓄組合同規約

第一條 本組合ハ耕地整理事業ト相俟ツテ組合員ノ經濟ノ發達ヲ圖ル爲メ勤儉貯蓄ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 參加土地所有者並ニ地區内ニ居住スル者ニシテ事業ニ關係スル者ハ總テ本組合員タルノ義務アルモノトス

第三條 組合員ハ左ノ各號ニ依リ本組合ニ貯金スヘシ

- 一、耕地整理役員トシテ受クヘキ報酬及旅費ノ十分ノ一以上
- 二、耕地整理工賃ノ十分ノ一以上

第四條 貯金ノ利率ハ年八分以下ニ於テ評議員會ノ決議ヲ經テ組合長之ヲ定ム

第五條 本組合ニ收集シタル貯金及其利息ハ耕地整理資金ニ貸付シ又ハ評議員會ノ決議ヲ經タル銀行若ハ一箇人ニ預入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第六條 本組合ハ組合長一名評議員若干名ヲ置ク但シ組合長必要ト認ムルトキハ書記ヲ任命スルコトヲ得

組合長ハ耕地整理委員長評議員ハ耕地整理委員之ニ任ス總テ名譽職トス

第七條 組合長ハ組合ヲ統轄シ評議員ハ組合長ヲ補佐シ又ハ組合長ノ諮問ニ應ス

第八條 組合長事故アルトキハ年長評議員之ニ代ル

第九條 貯金ハ左ノ場合ノ外一切拂戻サ、ルモノトス但シ耕地整理竣工シ清算結了ノ場合ハ此限ニ在ラス

一、耕地整理費トシテ支出スヘキトキ

二、耕地整理地ノ増歩地ヲ購入シタルトキ

三、産業組合ニ加盟シ出資金ニ充ツルトキ

四、天災地變ニ際シ組合長ニ於テ止ムヲ得サル事由ト認めタルトキ

第十條 本組合事業施行ニ關シ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本規約ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ改正スルコトヲ得ス

本組合ハ耕地整理竣工シ清算終了ノ曉ニハ之ヲ信用組合ニ變更スルモノトス

又斯ル協議會ノ如キハ各地區ノ狀況ヲ知悉スルコトヲ得相互ノ利益少カラサルモノアルヲ認め又深野知事ノ訓示ノ趣旨ニ基キ爾后毎年一回本會ヲ開クコト、シ左ノ如キ規則ヲ議定實行スルコト、セリ

耕地整理期成會規則

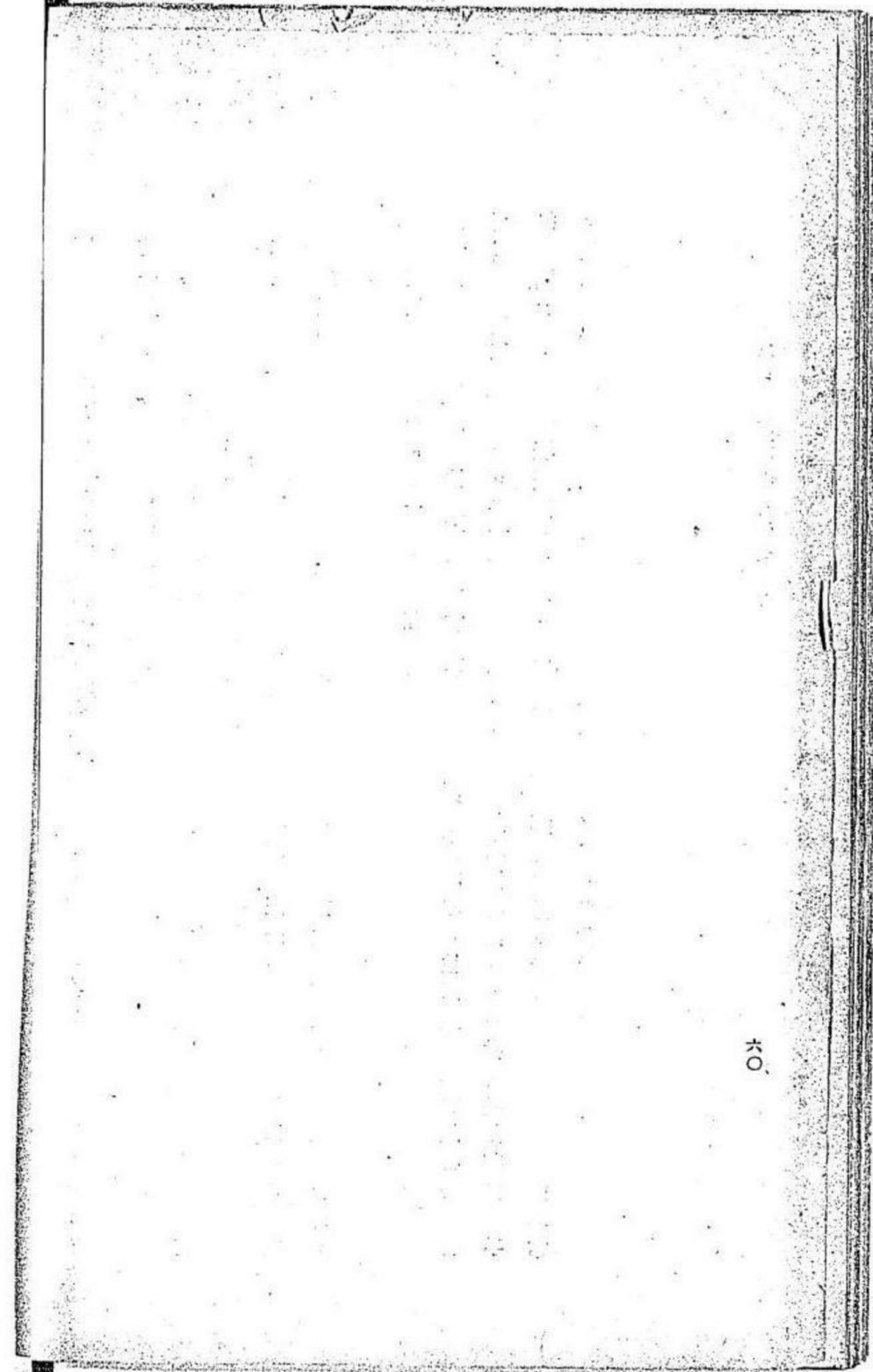
第一條 本會ハ耕地整理期成會ト稱ス

第二條 本會ハ縣内各耕地整理地區ノ整理委員ヲ以テ之ヲ組織ス但シ一人ノ所有地ヲ整理スル場合ト雖トモ本會ニ加入スルコトヲ得

第三條 本會ハ農事改良ノ根本タル耕地整理事業ヲ完全ニ施行シ各地區相互ノ連絡親密ヲ計リ以テ其成績ヲ永遠ニ維持收得スルノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ毎年一回之ヲ開クモノトス

尙當日ハ月田農商務技師寒川名古屋區裁判所判事、山崎本縣技師、遠藤名古屋稅務監督局屬ノ諸氏臨場セラレ各有益ナル講演アリタリ加之出席員ヨリハ稅務登記其他ノ手續ニ關シ種々ノ質疑續出シタルニ對シ一々説明解釋ノ勞ヲ執ラレシヲ以テ一同非常ノ便利ヲ得事業施行上利スル所實ニ多大ナルモノアルヲ認めタリ

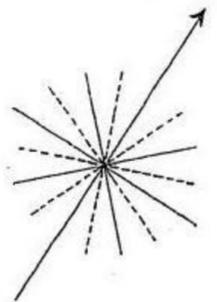


60

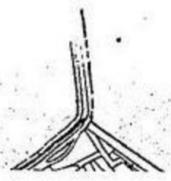
慶起縣碧濱郡六ツ美村大字中島耕整地舊形



尺六千分之一



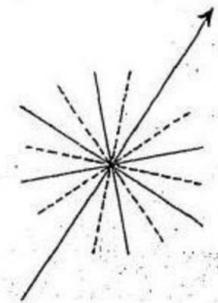
美村和三部互



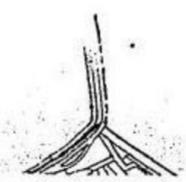
島

慶起縣碧藻郡六ツ美村大字中島耕墾整理舊形圖

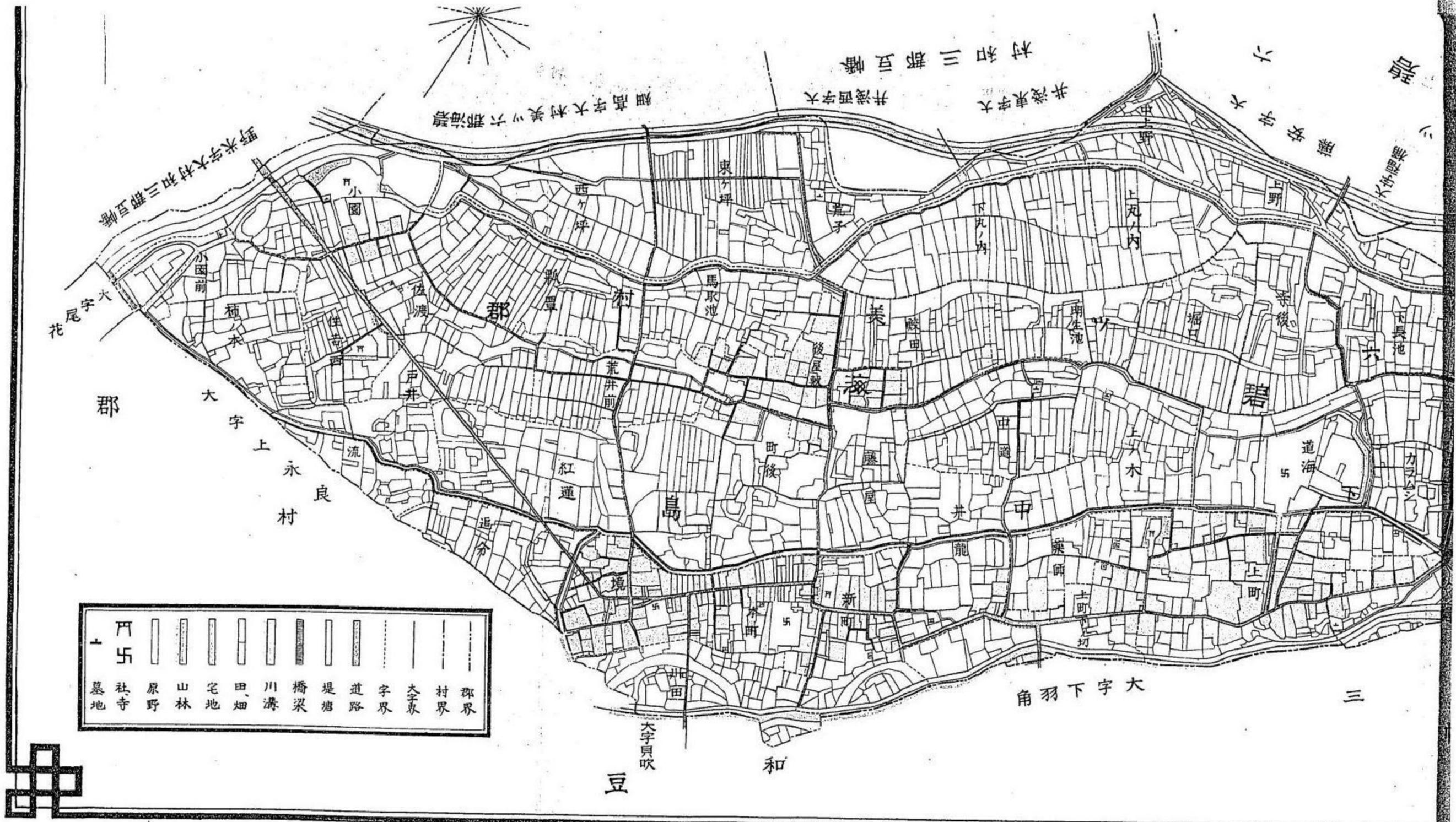
尺度六千分之一



井邊不
村和三郡互

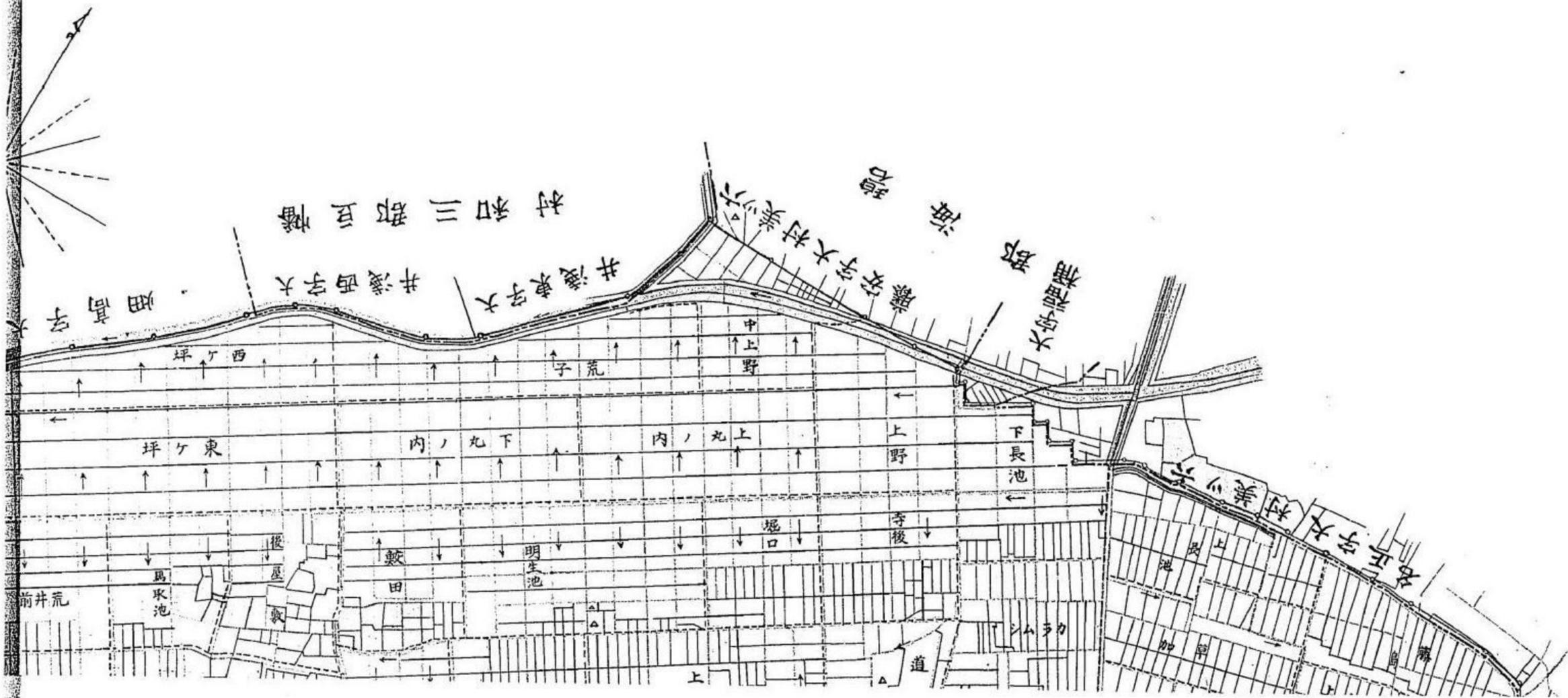


島



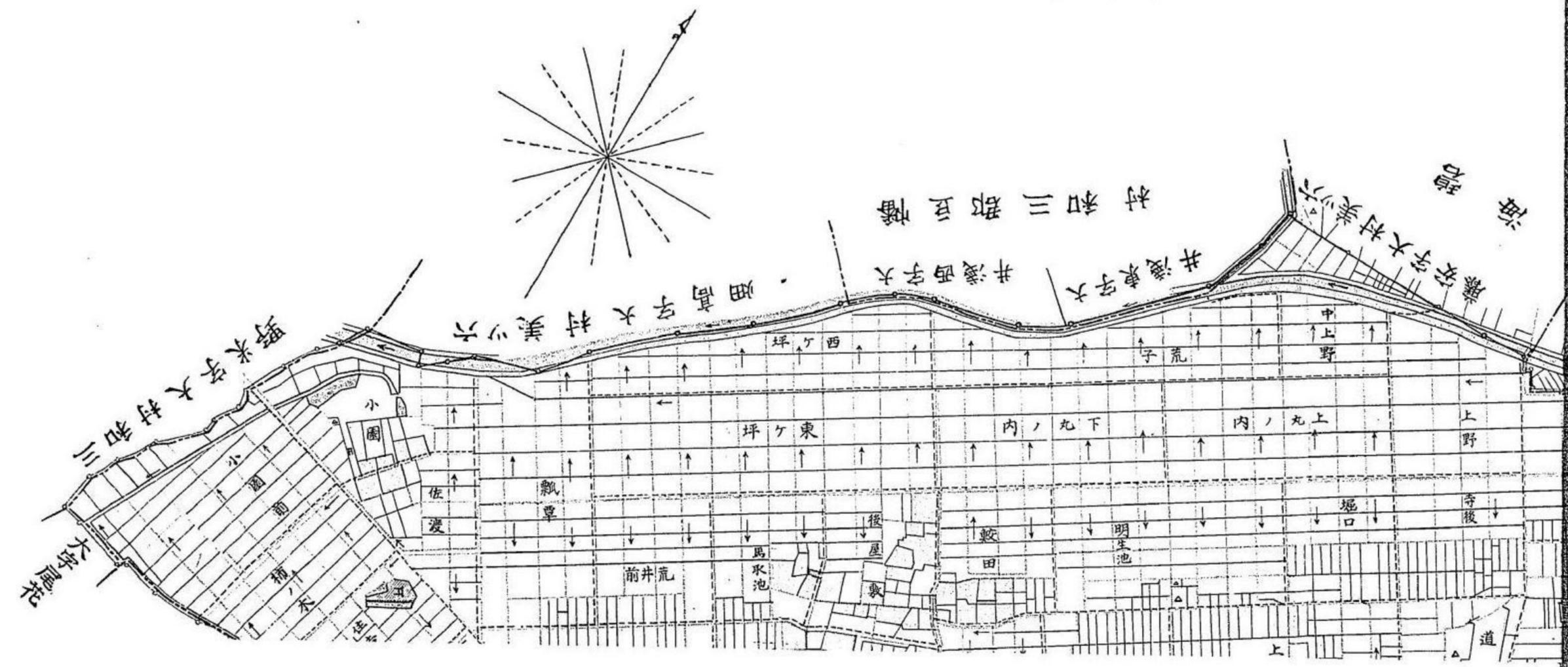
慶知縣碧海郡六ツ美村大字中島耕整

六千分一



圖定確理整地耕島中下字大村美ツ六郡海碧縣

一之六千六

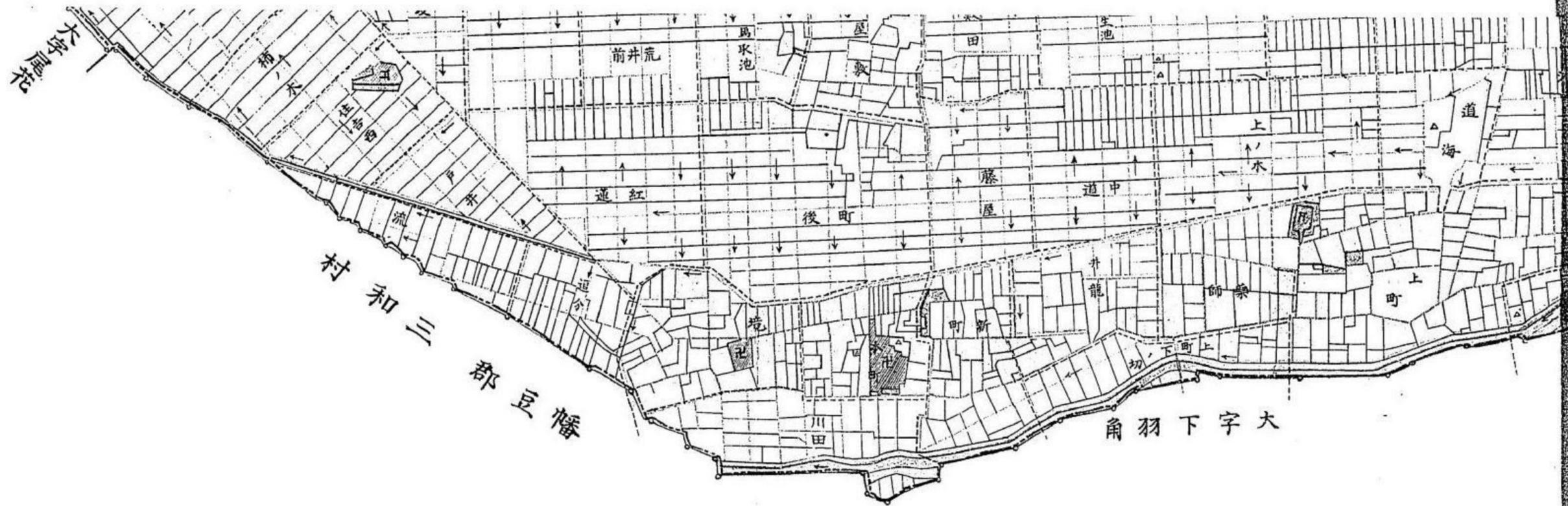




例 九

地區界	墓地	寺院	神社	山林	宅地	田畑	川溝	堤塘	道路	字界	大字界	村界	郡界





村和三郡豆幡

角羽下字大

例 九

地區界	墓地	寺院	神社	山林	宅地	畑田	川溝	堤塘	道路	大字界	村界	郡界

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績

一、整理地區ノ位置及面積

本耕地整理地區ハ碧海郡六美村大字下中島全部ノ耕地ニシテ碧海郡ノ東南隅ニ位シ
 幡豆郡ト其境域ヲ接セリ東ハ全村大字正名大字福桶ニ界シ北ハ大字安藤ニ接續シ西
 ハ安藤川ヲ隔テ、幡豆郡三和村及本村大字高畑ニ隣リ南ハ廣田川ヲ隔テ、幡豆郡三
 和村ト境界ヲ交ヘ東北ヨリ西南ニ渉ル延長壹千參百間餘幅員四百間餘ノ長方形ノ地
 區ニシテ其面積左ノ如シ

地目	面積	地價	筆數	一筆平均面積
田	八五、三〇九	四、八八九、九九〇	一、五六三	五〇、六三
畑	五〇、八三五	一、六八〇、〇八〇	一、〇五七	四四、二
宅地	一、三、三七	六、二七三、四四〇	三〇八	四一、七
小計	一四七、一〇一	六、二七九、五二〇	二、九四八	
雑地	六、九二六	二、四〇五、九	二五	二、三、四

合計	官有地	道路	溝渠	堤塘	畦畦	小計	總計
一四七、七九七	四、三三三	三、〇一〇	四、二六八	五、九四五	一、四七〇	一、六五五	一、六五五
六、八二五、五六九	二、九七三	九	七	二	三	三	三、一〇四

六一

一、整理前土地ノ状態

本村ハ從來非常ノ水害地ニシテ生産力甚タ少ク一反歩四俵(四斗入)ノ收穫ハ最モ上作ニシテ優等ノ地味ト稱セリ故ニ四俵ノ收穫ヲ得ルハ甚タ稀ニシテ十年間ヲ通シテ僅ニ一年位ニ過キス村民一般當ニ其不幸ヲ嘆キ地主小作人ノ間柄角圓滑ナラス小作米ノ納期ニ至レハ殆ント毎年ノ如ク葛藤ヲ生シ互ニ相反目スルノ有様ナルヲ以テ治蹟舉ラス物議百出殆ント收拾ス可ラサルノ状態ニ在リシヲ以テ村内有志ノ者ハ大ニ苦心シ百方斡旋盡力ノ結果明治十六年ニ至リテ隣接ノ町村ト協定シ廣田川安藤川及

高橋用水ノ大改鑿ヲ行ヒ從來被リ來レル水害ヲ除キ疏通ノ途ヲ講シタリシヲ以テ其結果土地ノ生産力大ニ増加シ田地ノ收穫ニ於テ殆ント五割ノ增收ヲ見ルニ至レリ然レトモ以上ノ改鑿工事ハ單ニ其幹線ノミニシテ未タ耕地内ノ水路ハ何等改設變更ヲ加ヘザル爲メ水ノ灌排共ニ自由ナラス區割ハ却テ不規則不整トナリタルヲ以テ耕作上ノ不便實ニ甚ダシキモノアルニ至レリ以下項ヲ分テ其狀況ヲ述ブベシ

用水ノ狀況

明治十六年高橋用水改修ノ結果大ニ水利ノ便ヲ得從來ニ比シ其利益少カラスト雖モ尙ホ本用水ハ地區以外下流ノ町村ニ於テ多クノ灌漑面積ヲ有シ相當ノ形狀ヲ保テル中地區内ノ用水路トシテハ僅ニ一條ノ屈曲迂回セル分流アリテ耕地ノ稍々中央部ヲ貫流スルニ過キス之ヨリ分岐スル所ノ小渠ハ殆ント全ク欠如スルカ故ニ配水ノ都合甚タ惡シク何レモ畦越シニ掛ケ流シ居ル狀況ナルヲ以テ水路ニ近キ部分ハ潤澤ナル用水ノ供給ヲ受クルコトヲ得ルモ少シク遠キ部分ハ往々灌水ノ欠乏ヲ告グルコトアリシ土地ナリ

惡水ノ狀況

安藤川廣田川改修以來此二川ハ全然惡水路ニ改メタルヲ以テ大ニ排水ノ便ヲ得タリト雖モ耕地内ノ惡水路ニ至リテハ僅カニ西部ニ安藤川ニ沿フテ曲流スル一條ノ水路

ヲ有スルニ過キザルト安藤川舊堤ノ爲メニ疏水ヲ阻止セラル、トヲ以テ充分ノ排除ヲ爲スコト能ハス殊ニ東部宅地ニ接シタル低地ハ全然排水ノ道ナキカ故ニ常ニ水濕ノ害ヲ被ムリ又下流三和村ニ送水スヘキ高橋用水本線ノ兩側ハ多少浸潤ノ害ヲ受クルヲ以テ耕地ノ大部分ハ常ニ水濕ノ停滯ニ苦ミ收穫尙ホ未タ充分且ツ安全ナラサルノ状態ニ在リキ

六四

交通運搬ノ狀況

從來耕作道トシテ農車ヲ通スルニ足ルヘキモノハ僅カニ宅地ヨリ安藤川ノ堤防ニ向テ四線ノ道路ヲ有スルニ過キス縣道ハ地區ノ西北ニ貫通スルアリト雖モ一方ニ偏在スルヲ以テ未タ以テ充分ノ便利ヲ與フルヲ得ス而シテ前記四線ノ耕作道ト雖モ幅員不定屈曲甚ク辛クシテ安藤川堤防トノ連絡ヲ保テルニ過キズシテ延長千三百間余ニ涉レル長距離ニ對シテハ一線ノ縱斷道路ダモナク僅カニ安藤川ノ狭少ナル堤防ヲ利用シテ車輛ノ接續進行ヲ執ルニ過キス斯ノ如ク不便ノ有様ナルヲ以テ其他ノ耕作支道ニ至リテハ一モ完全ナルモノナク或ハ中途ニシテ絶ヘ或ハ狹隘ナル畦畔ヲ利用スル等實ニ錯雜不便ヲ極メタル状態ニ在リシ所ナリ

區劃ノ狀況

區劃モ亦錯雜不整ニシテ或ハ圓形ナルアリ或ハ三角形五角形ナルアリ或ハ大ナルアリ小ナルアリ種々雜多ノ形狀ヲ有セシヲ以テ耕作上管理上非常ノ不便ヲ感シタルノミナラス明治廿三年ニ於テ地區ノ西部字坂井ヨリ字小園ニ至ル間ノ縣道ヲ改修シタルヲ以テ土地著シク分裂シ形狀區劃ヲ變更シタルモノ少カラス爲メニ區劃ノ錯雜ナリシモノハ更ニ一層ノ複雜ヲ加ヘ村民實ニ其不便ニ苦ミ居レリ一筆平均面積田五畝六歩余畑四畝廿四歩余ナルモ其實際ニ至リテハ一筆ノ田ハ小畦畔ニ依リテ更ニ數枚ノ區劃ニ分割セラレ居ルヲ以テ一區劃ノ面積ハ僅カニ二畝歩内外ニ過キザル有様ナリ

耕作ノ狀況

安藤廣田兩川ノ改修以前迄ハ惡水排除ノ方法充分ナラザリシ爲メ年々受クル所ノ被害少カラス耕作上常ニ非常ノ困難ヲ感セシカ右二川改修後ハ大体ノ水濕除却セラレ疏水稍々良好ノ状態トナリシモ尙未タ充分ノ便利ヲ收ムルノ域ニ達セス之ヲ以テ稻田ノ如キハ四時餘水ノ滯留ヲ見秋收後ト雖モ土地ノ乾燥シタルコトナク春彼岸後ニ至リテ漸ク掘返シニ着手シ夏作ノ準備ヲ爲スカ如キ有様ナルヲ以テ冬期ノ灌水ハ寧ろ稻田ニ有効ナルモノト過信スルニ至リシ程ナリ其當時ノ俗諺ニ曰ク

人に情けと冬田に水を

掛けて置くのも後の爲め

其後農事改良ノ方法漸次行ハレ冬田ニ水ヲ湛ユルノ極メテ不利益ナルヲ覺ルニ至リ務メテ排水ノ方法ヲ講シ去ル二十六年頃ヨリ初メテ二毛作ヲ一部ニ行フモノアルニ至レリ

本大字ハ半農半商ノ部落ナルヲ以テ農用勞力ニ幾分不足ヲ感スル傾向アルモ未ダ以テ畜力ノ利用盛ナラス偶々他郡ヨリ耕牛ヲ雇入レ耕作ニ使用シタル事アルモ區劃ノ狀態不良ナル爲メ其用完カラス主トシテ人力ニ依リテ耕作ニ從事シ居レリ故ニ本地方ハ農家一戸當耕作反別平均約五反五畝歩ニ相當シ決シテ過大ニアラスト雖モ實際ノ從業者割合ニ少キト土地ノ狀態不良ナリシトニ依リ從テ篤農熱心ノモノ少ク施肥量ノ最モ多キモノト雖モ尙僅ニ一反歩ニ付鰯_ニ粕_ニ斗ヲ施スニ過キザル有様ナリキ

生産ノ狀況

廣田川安藤川ノ改修行ハレシ以來田地ノ生産著シク増進シ殆ント五割ノ增收ヲ見ルニ至リ村民大ニ其利益ヲ享ケツ、アリシモ元來本村ニハ五十町歩余ノ畑地アリ往時棉作ノ盛大ナリシ頃ハ所謂三河棉ノ産地トシテ産額品質共ニ上位ニ居リ畑地ノ價格ハ田地ノ約三倍内外ニ達スル有様ニテ非常ニ貴重視セラレタリシカ世ノ變遷ニ伴ヒ木棉ノ價格又以前ノ如クナラス紡績ノ爲メニ壓セラレ全ク其聲價ヲ失ヒタルト作柄モ亦漸次劣リタルトニ依リ漸次藍作ニ改メ一時該作物ニシテ栽培甚タ盛ナリシカ是

又印度藍輸入ノ爲メ收支相償フ能ハサルニ至リ止ムヲ得ス他ノ菽麥ヲ栽培セサル可ラサルノ場合ニ立至リ爲メニ畑地ノ價格ハ又舊ノ如ク其高貴ヲ保ツ_ト能ハス地主ハ勿論小作者ト雖モ亦畑地ヲ喜ハス漸次荒廢ニ陥ルノ傾向ヲ示スニ至レリ時恰モ安藤廣田二川ノ改修工事施サレ續テ高橋用水ノ改鑿ヲモ共ニ行ハレシヲ以テ田地ハ收益頗ニ五割ノ大増加ヲ來シ以前ノ水害地ハ忽チ變シテ穰々タル美田ト化シタルヲ以テ田地ノ價格大ニ增高シ畑地ノ價值益々低下スルノ勢トナリ地主ニシテ畑地ヲ小作ニ委スル場合ニハ田地二反歩ニ必畑地一反歩ヲ附隨セシメ義務的強制的ニ辛フシテ耕作ニ從事セシメタルノ有様ナリ整理前田畑一反歩ノ收穫ハ田ニ於テ米二石二斗畑ニ於テ麥二石陸稻一石二斗ノ收穫ニシテ二毛作ハ不完全ナカラ田面積ノ約五割ニ行ヒ居リシモ其收穫ハ僅ニ大麥三俵ニ過キサルヲ以テ土地ノ利用未タ充分タルヲ得ザリシナリ

三、發起ノ由來

土地所有者ノ意向

従前土地ノ狀態ハ既ニ前述ノ如ク耕作上管理上非常ノ不便ヲ感シ從テ生産力微弱ナリシヲ以テ有志ノ間ニハ常ニ其改善ヲ望ミ以前安藤川廣田川ノ改修ニ於テ水害排除

ノ効果偉大ナリシ實例ニ鑑ミ早晚何等カノ改良法ヲ講セラル可カラサルモノト思惟セリ加フルニ農事改良ノ氣運比年其勢ヲ増シ其筋ノ獎勵益々精細ヲ極ムルノ域ニ達シタルヲ以テ栽培耕作上ノ改善ヲ實行セント欲セバ先ツ其土地ヲ改良更新シ水利ノ便交通ノ利ヲ收メ得タル後ニ於テ爲サ、ル可ラス之ヲ以テ地主ノ主ナルモノ、間ニ於テハ土地改良ヲ以テ最モ急務ト認ムルモノアルニ至レリ時恰カモ耕地整理法發布ノ好機ニ際セシカハ地主ハ大旱ニ雲霓ヲ望ムカ如キ勢ヲ以テ茲ニ勃然トシテ整理事業着手ノ決意ヲ爲スニ至レリ

時ノ村農會長鶴田勝藏氏發起トナリ村農會ニ附議シ其意向ヲ確ムルノ目的ヲ以テ明治三十三年十一月十一日ヲ以テ村農會評議員ヲ招集シタリ會スルモノ評議員鍋田恒雄始メ廿六名ニシテ整理施行ノ可否ニ付キ協議ヲ遂ケシニ元來斯ノ如キ事業ハ全ク新奇ノ事業ニシテ縣下ニ於テハ未ダ其實例ナク從テ着手ノ方法順序等甚タ不明ナルモノアリ之ヲ以テ石川縣靜岡縣等ノ本事業先進地ニ就キ能ク調査視察ヲ遂ケタル後ニ非ラサレバ容易ニ其可否ヲ決スルコト能ハストノ意見ニ決セシヲ以テ茲ニ視察員ヲ撰定スルコト、ナリ鶴田會長ノ指名ニ依リ左ノ五名ヲ撰定派遣スルコト、セリ

- 鍋田 恒雄
- 鶴田 勝藏
- 早川 治三郎
- 大竹 文左衛門
- 杉浦 惣左衛門

右五名ハ本縣及碧海郡農會ノ囑托ヲ受ケ全年全月十六日出發石川靜岡ノ二縣ニ於ケル耕地整理ノ實況ヲ詳細ニ視察調査セリ
 全年十二月八日更ニ村農會評議員ヲ招集シ視察員ヨリ其狀況ヲ細密ニ報告シ各議員ノ意見ヲ諮リシニ一名ノ異議者ナク滿場一致ヲ以テ耕地整理施行ノコトニ決定シ發起人撰定ノ運ニ至レリ

整理ノ目的

畑地面積ハ割合ニ多ク且ツ其生産力極メテ薄弱ナルヲ以テ其一部ヲ變シテ田地トシテ尙安藤廣田兩惡水本線ニ連絡スヘキ幹支線惡水ヲ適宜ニ排列シテ過剩ノ水濕ヲ除去シ高橋用水本線ヨリ分岐スヘキ各用水幹支線ヲ最モ適良ニ築設シテ灌溉排水共ニ充分ノ便利ヲ得耕作本支道ヲ適所ニ設ケテ交通運般ノ便ヲ圖リ錯雜セル區劃ヲ擴大整正シテ耕作上ノ便益ヲ收ムル等種々ノ目的ヲ以テ本事業ヲ施行スルコト、ナレリ

發起ノ手續

評議員會決議ノ結果數日ヲ經テ全月十二日ニ至リ發起人成立シ左ノ十五名自ラ立テ其衝ニ當レリ

- 早川 龍介
- 鶴田 勝藏
- 鍋田 恒雄
- 早川 治三郎
- 早川 定之助
- 早川 大助
- 太田 卯吉
- 本田 九郎治

鶴田勝助 杉田文六 柳原勘助 市川文兵衛
石川種吉 杉浦藤助 松浦喜助

發起人已ニ成立シ主ナル地主ノ意志確定シタルヲ以テ此機ヲ逸セス着々準備ヲ運ブ
ノ必要アルヲ認メ村農會ハ其間ニ立チテ大ニ斡旋盡力シ發起人各自其事務ヲ分担施
行シ同意證ノ如キ僅カニ二日間ヲ以テ其取纏メヲ了シタリ
測量及設計ハ發起人ニ於テ之ヲ行ヒタルモ其一部分ニ就テハ本縣土木課ヨリ技術員
ノ派遣ヲ求メ之ニ依リテ計畫スルコト、セリ

認可

發起認可申請書ハ耕地整理法ニ規定シタル各種ノ書類ヲ添付シ明治三十三年十二月
十四日付ヲ以テ之ヲ提出シ全年全月廿二日付ヲ以テ認可指令ヲ受ケタリ本地區工事
ハ安藤川悪水組合高橋用水組合ノ管理ニ屬スル水路ニ對シテ一部ノ工事ヲ施スコト
ナルヲ以テ前二組合ニ對シテハ夫々承諾ヲ求メ認可申請書ニ添付シタリ
右指令ヲ受ケタル後發起人ハ直ニ規定ノ如ク參加土地所有者ニ公告及通知ヲナシ四
十一年一月七日第一回創業總會ヲ開キ發起認可ヲ受ケタル設計書規約ノ議定ヲナシ
全年二月八日付ヲ以テ施行認可ヲ申請シ三月廿九日認可ノ指令ヲ得タリ茲ニ於テ發
起人ハ五月一日第二回創業總會ヲ開キ整理委員ノ撰擧ヲ行ヒシニ左ノ如ク當撰シ其

旨届出ト共ニ事務ノ分担ヲ定メ發起時代ノ總テノ事務ヲ整理委員ニ引繼キタリ

- 委員長 早川龍介
- 副委員長 鍋田恒雄
- 全 鶴田勝藏
- 事務長 早川治三郎
- 會計係 柳原勘助
- 全 太田卯吉
- 庶務係 早川大助
- 全 早川定之助
- 全 石川種吉
- 全 太田治郎兵衛
- 土地評定係 大竹文左衛門
- 全 杉浦喜助
- 全 杉浦藤助
- 全 鋤柄治右衛門
- 全 太田瀧三郎

四、整理施行

整理費用借入

整理費用豫算左ノ如シ

一金貳萬五千貳百六拾壹圓八拾五錢

内 譯

金壹萬七千八百參拾圓參拾七錢五厘

金壹千九百七拾四圓參拾七錢五厘

金五百八拾四圓六拾錢

全 鋤柄與右衛門
 全 土木係 市川文兵衛
 全 杉田文六
 全 早川林吉
 全 赤松德之助
 全 本田利右衛門
 全 高橋徳次郎
 全 鶉飼音助

七二

道路、溝渠、畦畔等廢設工事ニ係ル費用
 橋梁、樋管、堰等新設工事ニ係ル費用
 測量及製圖費

金壹千貳百五拾圓

整理委員手當報酬

及旅費

金參千六百貳拾貳圓

五拾錢

雜費 器機、器具其
他消耗品等

右豫算ノ内金貳萬

五千圓ハ年利八朱

ノ率ヲ以テ二十ヶ

年賦償還法ニ依リ

尾三農工銀行ヨリ

借入レ使用シタリ

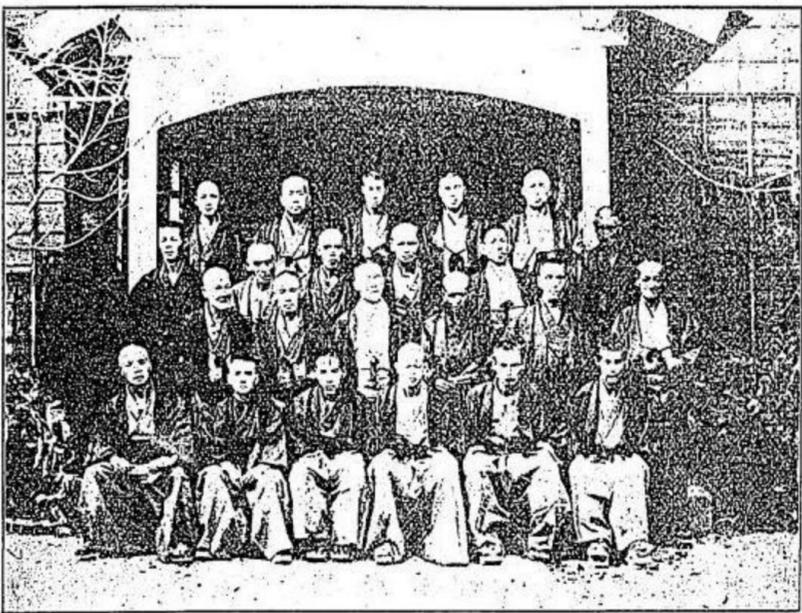
工事ノ概要

本整理ノ目的ハ水

路道路ノ改善ヲ圖

ルト共ニ畑地ヲ成

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績



員委理整地耕村島中下

ル可ク田地ニ變換
 スルノ見込ナルヲ
 以テ從テ勞力費用
 共ニ稍々嵩ムノ傾
 アリ故ニ到底一冬
 期間ヲ以テ竣工ス
 ルヲ能ハサルニ依
 リ豫メ工事期間ヲ
 三ヶ年ト定メ三十
 四年五月ヨリ工事
 ニ着手シタリ然レ
 卅三十四年春期ハ
 插秧期切迫シ居ル
 ヲ以テ僅ニ一部分
 ノ工事ヲ施シタル
 ノミニテ一先ツ中

七三

止シ更ニ同年秋收後繼續施工シタルヲ以テ合計四期ニ跨レリ今工事期間別成功反別ヲ掲クレハ次ノ如シ

七四

三十四年五月	用水本線及四反步余
自三十四年春	四十七町二反步余
至三十五年冬	
自三十五年春	七十一町八反步余
至三十六年冬	
自三十六年春	四十三町一反步余
至三十七年冬	

工事ハ工事係委員日々器械ヲ以テ實測シ土積ヲ計算シ其年度ニ於ケル工事ノ區域ヲ定メ其部分ツ、之ヲ受ケ負ハシムルノ方法ヲ執レリ然レモ受負者ハ敢テ他村ヨリ備入シタルニアラス皆自村民ヲ以テ之ニ充テタルカ故ニ工事モ甚タ懇切丁寧ニ行ハレ從テ功程モ多ク非常ノ好成绩ヲ以テ全部ノ竣功ヲ見ルニ至レリ

不思議ノ瑞祥

耕地整理ノ事業ハ主トシテ地盤ノ切取盛立地均等ヲ行ハサル可ラサルモノナルカ若シ其工事ノ方法ニシテ粗雑ニ流レンカ耕土ハ爲メニ地味ヲ損シ地力ヲ失ヒ生産却テ以前ニ劣レルカ如キ惡結果ヲ貽スヲ敢テ之ナキヲ保セス整理委員諸氏深ク茲ニ鑑ミル所アリ參加土地ニ關係ナキ他町村ノ勞働者ハ全然工事ニ與カラシメザル方針ヲ執リ專ラ自村民ノ義務心愛土心ヲ鼓舞獎勵スルノ方法ヲ以テ或ハ賞金ヲ與ヘ或ハ功勞

ヲ表彰シ常ニ喜ンテ勞役ニ服スルノ習慣ヲ作ルヲニ務メ又左ノ如キ俗語ヲ作り一般勞働者ニ歌ハシメタリ

金が欲しくは整理をおせり

土の中から金が出る

整理ハ地味ヲ増シ地力ヲ進メ生産ヲ高ムルノ事業ナルヲ以テ一度是等熱誠ナル村民ノ鋤鉞ニ依リ改良ノ鎖鑰ヲ開カンカ深ク土中ニ藏セラレタル無盡ノ寶物ハ悉ク村民ノ得ル所トナリ其幸福亦偉大ナルヘキヤ必セリ之ヲ以テ土の中から金が出る「テフ希望ニ充テタル歌曲ハ日々節面白ク繰返サレ異口同音ニ合唱シツ、工事ヲ進行シタリシカ或日畑地切取ノ際地下數尺ノ底ニ古キ土壺ノ在ルヲ發見セリ人々相怪ミ直チニ掘出シテ内部ヲ檢スルニ青黛ノ色一面ニ漲リ蒼然タル塊片堆ク器中ニ滿テリシカハ各々手ニ取り上ケ見ルニ往昔和漢兩國ニ於テ鑄造流通シタル多クノ古錢ナリシヲ以テ一同大ニ喜ヒ且ツ怪シミ如何ナル人ノ所爲ニシテ何人ノ所有ナルヘキヤ全然不明ナルヲ以テ參加土地所有者全般ノ所得ト爲シ之ヲ秤量スルニ目方六拾四貫三百匁時價凡ソ參百貳拾圓ニ相當セリ斯ル不思議ノ出來事ハ誰シモ思ヒ設ケヌコト、テ今ノ今迄謡ヒ連レシ歌ノ意ニ的中シタル偶然ノ瑞祥ハ村民ノ深ク驚嘆措ク能ハサル所ナリ爾來關係者ノ意志益々堅實發奮ヲ加ヘ一段ノ好成绩ヲ以テ見事ニ工事ヲ完了スル

ヲ得タリ

精 勤 者

多數ノ整理委員ハ何レモ熱誠ニシテ能ク其職責ヲ盡シ敢テ勤務ノ上ニ於テ甲乙ナキカ如キモ就中

- 副委員長 鶴田勝藏
- 整理委員 早川治三郎
- 全 本田利右衛門
- 全 大竹文左衛門
- 全 高橋徳次郎
- 全 柳原勤助

ノ六名ハ最モ此事業ニ盡瘁シ鶴田氏ハ委員長代理トシテ萬般ノ事務ヲ管掌シ早川氏ハ主トシテ庶務ニ本田氏ハ専ラ測量製圖ニ各々其得意ノ技倆ヲ發揮シ整理中殆ント席暖カナルニ暇アラサル程ナリキ

工事着手ノ當時ニ於テ參加土地所有者中各整理委員ニ對シ疑惑ヲ抱クモノアリシカ或日左ノ如キ落首ヲ整理事務所ノ門前ニ貼付ケアルヲ發見セリ
身を修む鏡ともなる土地整理

曲がり心のはづかしきかな

此和歌ノ意ハ耕地整理ナルモノハ最モ有益ニシテ且ツ非常ノ大事業ナレバ其衝ニ當ルモノハ最モ公平無私ノ處置ヲ爲サ、ル可ラス我地區ノ整理委員中ニハ決シテ偏頗ノ行爲ヲナスモノナシ若シ曲リタル心ノモノアラバ恥シサノ餘リヨモヤ整理委員ニハ成ラレマジ又撰出シサレマジ故ニ何レモ正直公平ナル人々ナリト云フ意味ニテ參加土地所有者一般ノ安心ヲ求メ又一面ニ於テハ整理委員ニ警告ヲ與ヘタル者ト思ハル、ナリ

五、工事完了

本耕地整理ハ前後四ヶ年ニ跨リ工事ヲ營ミツ、アリシカ三十七年五月ニ至リ非常ノ好成績ヲ以テ全ク竣成シタルヲ以テ全月八日ヲ以テ耕地整理竣工式ヲ舉行セリ其式場ハ整理ノ結果乾田トナリタル字明生池ノ耕地八畝歩ヲ劃シ周圍ニ青竹ノ矢來ヲ繞ラシ慢幕ヲ張り入口ニ大アーチヲ作り正面ニ祭壇ヲ設ケ神饌ヲ供シ數十發ノ花火ヲ打揚ケ午前十一時ヲ以テ壯嚴ナル儀式ハ開カレタリ當日ハ來賓トシテ農商務大臣代理和田農商務次官酒匂農務局長、古在西ヶ原農事試験場長、深野愛知縣知事、大久保第七課長、上田世間瀬兩技師、脇屋碧海郡長、井深額田、寺田幡豆ノ各郡長衆議院議員縣會議員

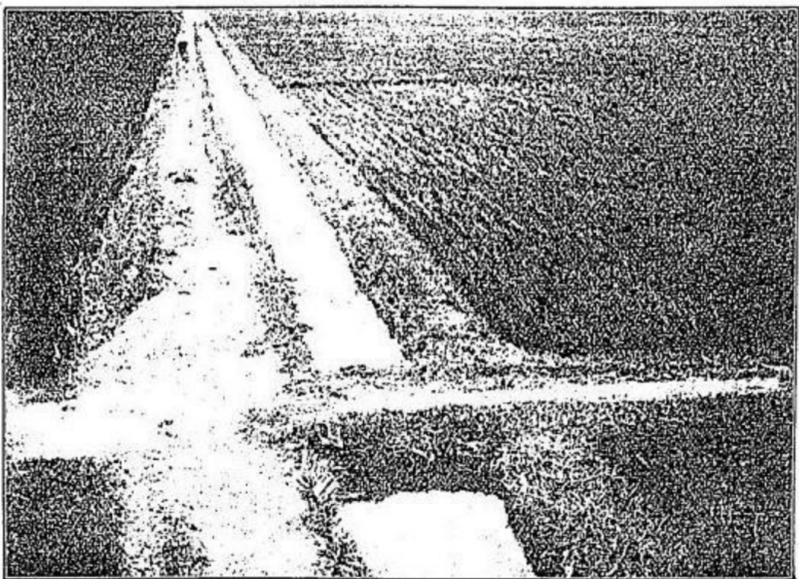
附近町村長、農工銀行支配人等ノ臨場アリテ頗フル盛大ナリキ當日式場ニ於テ朗讀又ハ報告シタル祝辭其他ヲ掲クレハ次ノ如シ

和田農商務次官ノ祝詞

諸君今ヤ陸海ノ皇軍ハ外ニ在リ死ヲ以テ奉公ノ誠ヲ竭スノ時ニ際ス内ニ在ル國民ハ宜シク軍隊ノ心ヲ心トシテ各其分ニ應シ以テ國家ノ目的ヲ達スルニ努力スヘキナリ予ハ此時ニ於テ本耕地整理竣工式ニ臨ミ親シク一言ヲ呈スルノ機會ヲ得タルニ付テ感深ク喜多キコトヲ諸君ニ告クルヲ光榮ト爲ス惟フニ耕地整理ハ地産ノ力ヲ増進シ資本及勞力ノ効果ヲ大ナラシム洵ニ農事改良ノ根本ニシテ百利アリテ一害ナキノ事業タリ各地官民一般之カ進捗ニ力ヲ致スニ至レル豈偶然ナランヤ然ルト雖モ耕地整理ノ事業ハ關係スル所廣ク從テ障礙多キヲ常トスルカ故ニ十分ノ決心ヲ以テ之ニ當ラスンハ容易ニ其目的ヲ達スルコト能ハス本耕地整理ノ如キ三箇年ノ日子ヲ費ヤシ百五拾餘町ノ工事ヲ完了スル迄ニハ蓋シ幾多ノ困難アリシナラシモノ能ク此困難ヲ排シテ本日此ノ快心ナル竣工式ヲ舉クルニ至レルニト發起人委員諸氏ノ苦辛ハ固ヨリ一般參加土地所有者諸氏ノ致ス所ニシテ其事情實ニ察スルニ堪ヘタリ而カモ今此ノ秩序整然タル田園ニ日々ノ課業ヲ執ラル、諸君ノ喜ハ幾何計ナルヘキヤ予又同慶ニ堪エス且予ハ本耕地整理百五拾町歩大ナラスト雖モ

國富ノ増進ニ貢獻スル所少カラサルヲ思ヒ感謝ノ情禁スル能ハサルナリ然レトモ耕地整理ハ素ト是レ根本ノ事業タルニ過キス基礎已ニ定マルモ之カ上ニ行フノ經營ニシテ進マスンバ未タ以テ全タシト云フヘカラズ軍隊ニシテ優勢ノ陣地ヲ占ムルモ砲火ヲ交ヘスンハ未タ以テ其効果ヲ論スル能ハザルナリ方今農事改良ノ事項固ヨリ一ニシテ足ラス昨年農商務大臣ヨリ農會ニ對シ論達セラレタル事項例ヘハ種子ノ選水選麥黑穗ノ豫防短冊形共同苗代稻苗ノ正條植堆肥ノ改良良種農具ノ利用牛馬耕等ノ普及實行産業組合ノ經營ノ如キ實ニ農事上ノ急務ト爲ス而シテ之等ノ事耕地

景實地理整地耕村島中下

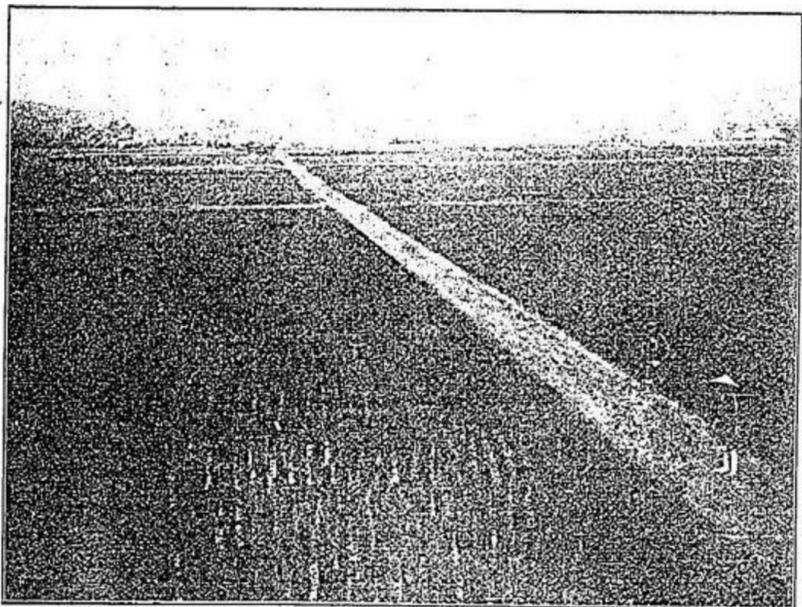


整理ノ成效ヲ機トシ或ハ規約ヲ結ビ或ハ組合ヲ設ケテ遂行ヲ期スルニ於テハ其効
果ヲ收ムル蓋シ容易ナルモノナラン斯ノ如クシテ耕地整理カ農事改良ノ根本タル
所以ノ實ヲ舉クルヲ得ヘク耕地整理有終ノ美ヲ濟スニ庶幾カラシカ今ヤ帝國ハ列
國環視ノ間ニ於テ大事ヲ決スルノ秋ニ際ス此時ニ於テ農業者ノ採ルヘキ方針ノ如
何ハ固ヨリ言ヲ俟タサル所ニシテ各地方吾レ後レシト競フノ現狀實ニ偶然ニアラ
サルナリ此ノ各地方環視ノ間ニ於テ天晴ノ功名ヲ舉ケンニハ固ヨリ大ナル決心ナ
カルヘカラス予ハ茲ニ切ニ望ム諸君宜シク軍隊ノ心ヲ心トシ國家ノ目的ニ協ヒ耕
地整理有終ノ美ヲ濟シ以テ全國農事ノ模範タルニ恥チサルノ域ニ歩テ進メラレン
コトヲ

農商務次官 和田彦次郎

深野愛知縣知事ノ祝詞

碧海郡中島村耕地整理完成ヲ告ケ茲ニ本日ヲトシ竣工ノ式典ヲ舉行セラル、ニ方
リ農商務次官閣下親シク臨場セラル獨リ本村ノ光榮タルニ止ラス本官又此盛典ニ
列スルヲ得タルハ欣喜措ク能ハサル所ナリ惟フニ耕地整理ノ事業タルヤ農事改良
ノ本源ニシテ効果ノ最モ顯著タルモノタリ然レトモ之カ起業ニ際シテハ幾多ノ事
情ノ纏綿シ許多ノ紛議ノ湧出スルハ往々見ル所ノ弊ニシテ中途挫折ノ不幸ニ陥ル
モノ多クハ之レニ因由ス今本村當業者諸氏ハ忍耐以テ克ク之等ノ艱難ヲ排除シ電



下中島村耕地整理實地風景

勉以テ本日ノ成功ヲ致シ灌漑排水ノ
利運搬耕勸ノ便共ニ之ヲ享受スルノ
幸福ヲ擔フコトヲ得タルハ尚ニ縣下
斯業界ノ好模範ニシテ大ニ慶賀スヘ
キコトナリトス今ヤ軍國多事ノ秋ニ
當リ國家カ農産ノ改良ニ待ツ一層切
ナルモノアルト共ニ耕地整理ノ如キ
ハ正ニ企劃スヘキ絶好ノ事業ナリト
謂ハサルヘカラス望ムラクハ農業家
諸氏能ク本村ノ成績ニ鑑ミ銳意奮勵
以テ陸續此種ノ事業ヲ經營シ國富ノ
充實ヲ謀ルアラシコトヲ一言以テ祝
詞ト爲ス

明治三十七年五月八日

愛知縣知事 深野 一三

時維振古未曾有ノ事變ニ際シ舉國一致敵愾ノ氣宇内ニ溢シ我將懲ノ軍ハ海ニ陸ニ連戰連捷 皇師ノ向フ所前ナク敵國爲ニ震駭シツ、アル千載一遇ノ好期ニ於テ本村耕地整理完了ヲ告ケ茲ニ竣工ノ式ヲ舉行セラルル豈特ニ之ヲ祝セサルヲ得ンヤ惟フニ國家ノ富源ハ實業ノ發達ニ期待シ實業ノ發達ハ農産物ノ供給ニ倚賴セサルヲ得ス嗚呼農業ノ盛衰ハ國力ノ消長ニ關スル重且大ナリト謂フベシ我國古來瑞穂ノ國ト稱シ斯業ノ著シク發展シタルニ係ラス明治ノ盛世ニ遭遇シ百事刷新改善ノ期運ニ際會セルモ獨リ農業ハ依然舊態ニ安シ其進歩ノ遲々トシテ時勢ノ趨向ニ伴ハサルハ豈文明ノ一大恨事ニアラスヤ我政府ハ深ク此ニ憂慮セラレ諸種ノ獎勵法ヲ設ケ常業ノ改良進歩ヲ企圖セラルル乃チ耕地整理法ハ其一ナリ本村有志諸氏夙ニ觀ルアリ本法ノ發布セラレタルヲ期トシ慎重審議畫策以來四星霜忍耐經營遂ニ竣工ヲ告ケタルハ洵ニ多大ノ成功ニシテ是レ全ク委員諸氏ノ熱心懇到ナル誘導ト村民共同一致ニ富メル美風トニ職由セメンバアラス爾今以後灌溉排水ノ利便ニ頼リ愈々奮勵努力ヒラル、ニ於テハ益々收穫ヲ増殖シ以テ上ハ國家ニ貢獻シ下ハ慶ヲ子孫ニ遺スヲ得ン聊カ蕪詞ヲ述ヘテ祝辭トス

明治三十七年五月八日

愛知縣碧海郡長正七位勳六等

脇屋 義 純

耕地整理竣工式之告辭

維時明治三十七年五月八日此日農商務次官閣下及本縣知事閣下各官廳貴賓ノ臨場ヲ仰キ本村耕地整理工事竣工ノ式典ヲ舉行ス我等村民ノ光榮欣喜ニ堪ヘサルナリ回顧スレハ明治三十二年十二月耕地整理法施行規則ノ發布アルヤ本村耕地ノ整理企圖セリ然ル所以ノモノハ他ニ非ラス抑從來中島村ノ地形タルヤ西ニ安藤川アリ東ニ廣田川アリ東西二川ノ惡水本村ヲ狹ミ例年多少ノ水害ヲ蒙ラサル殆ント稀ナリ縣道村ノ中央及ヒ耕地ヲ貫通シ東方ヨリ南西ニ向ヘリ此二川一道已ニ改修ナリシ結果耕地ノ分裂甚シク更ニ小畝歩ノ筆數ヲ増加シタリ作道狹隘ニシテ迂回シ用惡二水ノ屈曲ハ排水ト灌溉兩ツナカラ便ナラス作道ノ迂回狹隘ナルハ單ニ來往ノ不便ナルノミナラス牛馬ノ使役農事ノ利便ニ憑ル能ハサルナリ惡水疏通宜シカラサルハ作毛ノ水害ナリ易シ配水ノ自由ナラサルハ栽培耕耘ニ沮害アルノミナラス干害ノ虞ヲ免カレ難シ今茲ノ三害ヲ除去セント欲スレハ耕地整理法ニヨラサレバ他ニ方法ノ途アルナシ茲ニ於テカ一村ノ氣焰漸ク耕地ノ整理ヲ企圖スルニ至レリ是ヲ村農會ニ諮詢ス次テ農會ノ事業トナスヘキヲ決セリ更ニ決議ノ意旨ニ基キ村農會ハ他縣下ニ於ケル既成田區整理ノ個所ヲ視察センコトヲ議決セリ所謂百聞一見ニ如カサルノ意ニ出テタリ此時恰カモ縣知事ノ命アリ石川靜岡ノ二縣下既成

田區整理ノ實況ヲ觀察スヘシト則チ行テ二縣ノ實況ヲ視ル思ヒ半ニ過キタリ且爾來郡長ノ命ニヨリ或ハ村農會ノ決議ニヨリ更ニ他縣ヲ觀察スルモノ數名ナリ復リ報シテ曰ク農事ノ改良ハ耕地ノ整理ヲ基礎トナス是レ謂ユル根本的ノ改良ナリ蓋シ選種耕耘培養ハ之ニ次クモノトス爾來倍々耕地整理ノ必要ヲ喚起スルニ至レリ終ニ明治三十三年十一月十二日ヲ以テ發起總會ヲ開會シ今年十二月二十二日發起認可ヲ受理シ三十四年三月二十九日施工認可ヲ受ケ全年五月一日ヨリ起工ス爾來着々工事ヲ進捗シ豫定ノ期間ヲ誤ラス本年四月土木ノ事業全ク功ヲ竣ムルニ至レリ整理面積百五十町三反一畝七步土地參加所有者二百三十九人工費概計金貳萬圓自今既成整理ニ關スル整理ノ事務多クナリト雖茲ニ現工事竣工ノ段落ヲ告クルヲ以テ茲ニ成功ノ式ヲ舉行ス時下軍國多事ノ民百事謹慎ノ趣旨ヲ嚴守シ聊竣工ノ祝意ヲ表明シ併セテ當時村民ノ情況既往事業ノ經過概況ヲ告辭スルコト如斯爾

愛知縣碧海郡中島村耕地整理委員長早川龍介代理

全副委員長 鍋田恒雄

答 辭

本日農商務次官閣下及明府閣下親臨シ賜ヒ茲ニ竣功ノ式ヲ舉行セラレ我等村民一同ノ光榮何ヲ以テカ之ニ加ヘン且屬スルニ農業上將來企圖スヘキ裨益遠大ノ教訓

ヲ以テセラル我等一同豈永ク心膽ニ印銘セサランヤ國運隆盛百業日進ノ時期ニ際シ特ニ農業ノ改良進歩之ニ伴隨セサランヤ農業ノ進退良否ハ我農會ノ責務ナリ今ヤ改良ノ端緒トシテ耕地區畫ノ整理完了セリ爾來倍々閣下ノ教訓ヲ服膺シ誓テ斯業改良ノ事實ヲ舉ケンコトヲ期ス聊蕪辭ヲ述テ謹答ス

明治三十七年五月八日

碧海郡中島村耕地整理副委員長 鶴田勝藏

當日ハ曇天ニシテ滿天雲霧ヲ掩ヘルモ時々微光ヲ洩ラシ無風靜穩ノ天氣ナリシヲ以テ附近村落ヨリノ參觀人夥シク非常ノ雜沓ヲ極メタル時恰モ我忠勇ナル征露軍士ハ破竹ノ勢ヲ以テ連戰速勝鳳凰城占領ノ當日ニ際セシカハ茲ニ永ク戰勝ノ紀念トシテ其利便ヲ後世ニ貽スコトヲ得直接事業ニ執掌シタル委員各自ニ執リテハ一層其快感ヲ深カラシメタリ

六、整理ノ爲メニ得タル利益

收穫ノ増加

整理后ハ停滯水ノ排除良好トナリ交通運搬上至大ノ便利ヲ得二毛作限ナク行ハレ耕地積モ亦増加シタルヲ以テ收穫著シク增高シ其利益實ニ多大ナルモノアリ今實際ノ

調査ニ係ル整理前後ノ利益ヲ對照スレバ左ノ如シ
收益對照表

作物ノ種類	整理前			整理後			差引 收益
	反別 收量	反別 價格	反別 反當收量	反別 反當收量	反別 單價	反別 價格	
米	八〇,〇〇石	一,二七〇,〇〇	一〇,〇〇反	二,〇〇石	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一萬貳千二百六拾 參圓七拾錢増
田 麥	三三,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇	八,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	七,〇〇〇	七千六百參圓増
菜 種	一〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	九,〇〇〇	一,〇〇〇	九,〇〇〇	一〇,〇〇〇	參百參拾圓減
畑 陸 稻	三三,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇	一〇,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	四千參百五圓減
桑	三,〇〇〇	五〇,〇〇〇	六,〇〇〇	二,〇〇〇	一三〇,〇〇〇	三,〇〇〇	六千七百七十六圓 減
計	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇	壹萬參千七百五圓 七拾錢増

即年々ノ生産増加ハ實ニ整理費用豫算ノ五割四歩強ニ當レリ豈驚ク可キノ利益ニ
アラスヤ

灌溉排水ノ便

水利ノ状態ハ從來最モ不便ヲ感シツ、アリシ所ナルモ整理ト共ニ全然其趣ヲ改メ各
區劃共ニ直接用悪水路ヲ有スルヲ以テ從前ノ如キ畦越シニ灌溉スル如キ不自由ナク
何レノ部分ト雖モ容易ニ養水ヲ引入レ又容易ニ餘水ヲ排除セシムルコトヲ得ルニ至
リ管理上多大ノ便益ヲ得整理前動々モスレハ處々ニ起リシ水掛論ハ全ク其跡ヲ絶チ
村民一同大ニ其利益ヲ享クルトナレリ

勞力ノ節減

整理後ハ區劃整然トナリ耕作道縱横ニ貫通シタルヲ以テ交通運搬ノ便利ヲ増シタル
コト少カラス實況ニ依レハ從前壹反歩ヲ耕作セシモノ整理後ノ今日壹反參畝歩ヲ耕
作スルコトヲ得ルニ至レリ故ニ從來一反歩ニ要シタル勞力ハ平均三割ヲ省略スルコ
トヲ得ヘシ又夕近時牛耕ヲ行フモノ漸次多キヲ加ヘ牛耕人夫一日雇入賃錢ノ如キ整
理後ニ於テハ附近未整理地ニ比シ約二割以上ノ安價ヲ見ルニ至レリ故ニ整理地ハ殆
ント全部半耕ヲ行フ盛況ニ達シ目下大字下中島ノミニ於テ耕作ノ牛畜拾頭以上ヲ
飼育スル有様ナリ

耕種肥培ノ改良

農事改良ノ一着手トシテ共同苗代ヲ行ヒ其成績頗フル良好ニシテ害虫驅除ノ如キ遺
憾ナク行ハレ粉種ノ一定肥料ノ共同購入半耕ノ應用正條植等地區内全部ニ行ハル、

ニ至レリ尙ホ收穫米ニ對シテハ俵裝ノ際悉ク之ヲ検査シ合格シタルモノニ對シテハ其検査證ヲ俵裝中ニ挿入シタル後販賣スルヲ以テ右検査證ヲ有スルモノハ中島村整理米ト稱シ普通ノモノヨリ常ニ高價ニ販賣スルヲ得ルノ實況ナリ

整理地ニ對スル共同苗代設置ノ申合規約左ノ如シ

共同苗代設置規約

本縣令達ノ趣旨ニ基キ及戰時紀念ノ一事業トシテ稻作改良ト最モ捷徑ナル短冊形共同苗代ヲ設置センカ爲メ左記事項ヲ協議ス

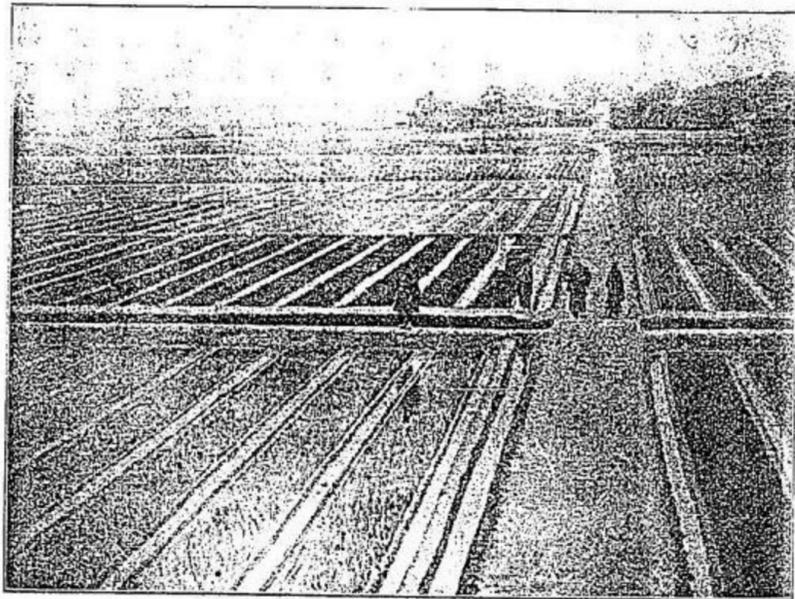
- 一、本村内ノ地主并ニ作人ハ此規約ニ依リ短冊形共同苗代ヲ設置スルコト
- 二、共同苗代ノ面積ハ一ヶ所壹反歩以上トシ凡ソ本田三町五反歩ニ對シ一ヶ所ツ、ノ割合タルヘキコト
- 三、苗代ノ幅ハ四尺以内(長サ)トシ相互ノ間隔ハ凡ソ一尺以上ノ空地ヲ設クルコト
- 四、共同苗代ニハ灌溉排水路ヲ別々ニ設ケ灌溉排水ニ便利ナラシムルト共ニ二毛作畑作ニ損害ナカラシムルノ設備ヲ爲スコト
- 五、共同苗代ニ播種スヘキ種子ハ稗糶合セテ七種以内トシ村農會ニ於テ之ヲ決定スルコト
- 六、共同苗代ノ種子ハ其村内ニ於テ最モ作柄ノ良好ニシテ交リ穂ナク米質優等ナルモノニ付管理人ニ於テ之レヲ採擇シ二割増以内ヲ以テ現品ノ交換ヲ爲シ又ハ相當代價ヲ以テ買上ラスルコトモアルベシ

但他ヨリ買入レヲ要スルトキハ本文ニ依ラザルハ勿論トス

- 七、村農會ニ於テ苗代用地撰定人六人ヲ撰拔シ苗代地ノ撰定ヲ爲サシムル事
- 八、前項ノ撰定地ニ對シテハ地主并ニ作人ハ異議ヲ申立テサル事
- 九、共同苗代ニハ一ヶ所毎ニ組合ヲ設ケ管理人何名ヲ置キ採種撰種地拵施肥害蟲驅除豫防除草灌溉排水其他一切ノ事ヲ一任スルコト

但管理人ノ任期ハ二ケ年トシ

中島村耕地整理地共同苗代實景



組合人ニ於テ選任シ滿期再選スルモ妨ナシ
 十、組合員ハ總テ管理人ノ指揮ヲ受ケ交替執行スルコト
 十一、組合員ハ村農會ニ於テ決定シタル稻ノ種類中ニ付キ翌年作付スヘキ稻ノ種類及作付反別ヲ前年七月三十一日迄ニ村農會ヘ申出ツルコト
 十二、苗代ニ關スル諸費及夫役ハ其時代面積ニ依リ組合員ニ於テ負擔スル事
 十三、苗ノ分配ハ前年申出ノ種類ニ依リ抽籤ヲ以テ附與スルコト
 十四、苗代跡ハ管理人ノ指揮ノ下ニ稻作ヲ爲シ其生産物ヲ競賣ニ附シ其代金ヲ以テ借地料ヲ仕拂ヒ殘額ハ費用ニ充ツル
 十五、種子ノ撰擇ニ當リタルモノニハ賞品ヲ授與スルモノトス
 十六、本規約實行上差支ヲ生シタルトキハ加除訂正スルコトヲ得
 右規約ヲ遵守スヘキ爲メ各自調印候也

明治三十八年十月

記名調印

右ノ規約ニ依リ本村住民ハ悉ク共同苗代ニ加入セザル可ラサルトナリ先ヅ初年ニ於ケル組合加入人員並ニ其苗代反別次ノ如シ

碧海郡六ツ美村大字下中島共同苗代區域面積及人員調
 一面積四町壹反壹畝廿七步
 組合人員 百六十七人

内 譯

區 域	面 積	組 合 人 員	摘 要
第一區	壹町三反步	六十人	作地反別壹反步ニ付拾壹步當リ苗代一反步ニ要スル人夫三十八
第二區	壹反六畝步	六人	壹坪當リ播種級三合五勺肥料一反步ニ付
第三區	壹町二反步	三十四人	人糞尿水肥二十石一斗六升糶和十五貫目
第四區	貳反八畝步	九人	推肥六十貫目費用
第五區	貳反二步	十人	壹反步ニ付掬米ヲ除キ金拾壹圓
第六區	壹反五畝十七步	六人	作地壹反步苗代金壹圓拾五錢
第七區	二反二畝十七步	十一人	
第八區	二反九畝十五步	十四人	
第九區	三反六步	十七人	

增 耕 地

整理ノ結果耕地ノ増加シタル面積貳町三反八畝七步ヲ得タリ是レ全ク山林原野畑地等ノ開墾變換及畦畔ノ施設等ニ依リテ生シタルモノニシテ之レヲ時價一反步參百圓

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績

ニ見積レハ其金約七千四百拾七圓ニ相當シ整理費用豫算ノ約貳割八分余ニ當ル今新
舊反別ノ比較表ヲ掲クレハ次ノ如シ

面積筆數新舊對照表

地目	從前ノ土地		整理後ノ土地		差引	增減
	面積	筆數	面積	筆數		
田	八三〇.〇六	一三〇	一〇五.〇〇	一三	廿三町二畝廿一步增	貳百六拾四筆減
畑	五三.〇〇	一〇	二九.七〇	五	廿町六反四畝十四步減	四百六十九筆減
宅地	一七.七三	三	一六.三七	二	八反九畝步增	五十五筆減
山林	三九.七	一七	二八.七	〇	壹反壹畝步減	七筆減
原野	一一.三	一	一	一	一町一反七畝廿一步減	十七筆減
池沼	二七.三	二	一	一	二反七畝十三步減	二筆減
火葬場	〇.〇〇	一	六.八	一	四畝十八步增	〇筆
墓地	一四.九	一	一八.三	七	三畝二十二步增	八筆減
隔離病舎敷地	一〇.八	三	一〇.八	一	〇	二筆減
計	一四七.八三	三〇五	二五九.八〇	三三	壹町七反九畝十三步增	八百二十四筆減

整理地時價ノ騰貴

整理后ニ於テハ土地ノ價格非常ニ騰貴ヲ來セリ之レ一般物價ノ騰貴モ多少ノ關係ヲ
有スヘシト雖モ主トシテ整理ノ結果ニ依ルモノニシテ價格殆ント從前ニ比シ倍加ス
ルニ至レリ

七、土地評價及換地交付

土地ノ評定ハ整理事業中最モ面倒ナル仕事ナルカ本村ニ於テハ明治九年地租改正以
來諸種ノ改修工事行ハレ土地ノ狀態著シク異動ヲ來シタルヲ以テ土地臺帳面ノ地價
ニ重キヲ措クコト能ハス故ニ各字ニ各等標準地ヲ選ミ之ト對照比較シテ其等級ヲ定
メ評定ヲ行ヘリ
換地ハ出來得ル限リ從前ノ所有地ヲ交付スルノ目的ヲ以テ初メ原形圖上ニ豫定線ヲ
畫シ豫定區劃内中舊區劃ノ大部分ヲ占ムルモノニ對シ其所有者ニ仮交付ヲ爲シ整理
工事完了後更ニ土地各筆ニ付キ評價ヲ行ヒ整理前ノ評定價格ト對照シ換地交付ヲ行
ヘリ

八、地價配當方法

地價ハ地區内民有地價總額ヲ整理後ノ民有地全部ニ夫々配當スレハ可ナルモ整理後
ハ從前ノ狀態ト違ヒ著シク地味地力ヲ異ニシ交通運搬ノ便灌溉排水ノ利共ニ大ナル

變動ヲ來スカ故ニ全然新規ノ配當ヲ爲サ、ル可ラス然レル本地區ニ於テハ從來ヨリ等級ノ高キ部分ハ整理后ト雖モ同シク上位ニアリ又樹木ノ陰地等ノ如キハ整理後ト雖モ同シク末等ニ位スルカ故ニ等級數ハ矢張從前ト大ナル相違ナシ

以上ノ狀態ニ對シ地價ヲ配當シタル方法ハ先ツ整理后ノ土地ニ對シ各等ノ標準地ヲ造リ其標準地ニ適合シタル反別ヲ計算シ而シテ各等級ニ配當スヘキ地價反金ヲ豫定シテ其乘積ヲ求ムレハ從前ノ地價總額ニ對シ幾分ノ差異ヲ生スヘシ其差異ハ歩合ヲ以テ各等級ニ加減シ數回計算ヲ繰返シタル後近似數ヲ求メテ決定シタリ而シテ端數ハ大字共有地ノ地價ニテ精算スルコト、セリ各等級ノ差ハ從前ノ等級ノ差ヲ平均シタルモノヲ大休採用スル事トシ一階級毎ニ壹圓五拾錢宛ノ差トセリ今地價ノ配賦ヲ爲シタル手續ヲ掲クレハ次ノ如シ

地價配賦申請書

愛知縣碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理確定地地價配當案別紙ノ通り總會ノ決議ヲ經候ニ付右地價御配賦相成度整理確定圖相添此段申請候也

愛知縣碧海郡六ツ美村大字下中島

明治四十年四月十三日

耕地整理委員長 早川 龍介

知立稅務署長 佐尾 銚太郎殿

(別紙)

耕地整理地價配當案

碧海郡六ツ美村大字下中島

從前ノ土地字分計地目別反別地價筆數

字	地名	地目	反別	地價	筆數	摘要
後	畑	田	五、一一〇	二七二、二五〇	一六	
		畑	六、〇二三	一四四、〇八〇	一四	
計			一一、二〇三	四一五、三三〇	三〇	
井	上	田	七、三一八	四一八、八三〇	四二	
		畑	一八、七〇一	四八七、三六〇	三七	
計			二六、〇一九	九〇六、一九〇	七九	
以下畧ス						
總	計	田	一四六五、七二六〇、八六五、六八〇	三六四八		
		畑	八〇三、一〇八四三、一九五、四二〇	二〇一六		

烟	五〇四、三二八、一、三六七、九五〇	一二五六
郡村宅地	一三七、一〇九	三二三
山林	三、八〇七	二二
原野	一一、七二〇	一九
池沼	二、七二三	二
火葬場	二〇〇	一
墓地	一、四二九	一六
隔離病舎敷地	一、〇一八	三

田ノ部 整理地地價反金表

壹等	六拾貳圓	貳等	六拾圓五拾錢	參等	五拾九圓
四等	五拾七圓五拾錢	五等	五拾六圓	六等	五拾四圓五拾錢
七等	五拾參圓	八等	五拾壹圓五拾錢	九等	五拾圓
十等	四拾八圓五拾錢	十一等	四拾七圓	十二等	四拾五圓五拾錢

十三等	四拾四圓	十四等	四拾貳圓五拾錢	十五等	四拾壹圓
十六等	參拾九圓五拾錢	十七等	參拾八圓	十八等	參拾六圓五拾錢
十九等	參拾五圓	二十等	參拾參圓五拾錢	二十一等	參拾貳圓
二十二等	參拾圓五拾錢	二十三等	貳拾九圓	二十四等	貳拾七圓五拾錢
二十五等	貳拾六圓	二十六等	貳拾四圓五拾錢	二十七等	貳拾參圓
二十八等	貳拾壹圓五拾錢	二十九等	貳拾圓	三十等	拾八圓五拾錢
三十一等	拾七圓	三十二等	拾五圓五拾錢	三十三等	拾四圓
三十四等	拾貳圓五拾錢	三十五等	拾壹圓	三十六等	〇

畑ノ部

壹等	貳拾五圓	貳等	貳拾參圓八拾錢	參等	貳拾貳圓六拾錢
四等	貳拾壹圓四拾錢	五等	貳拾圓貳拾錢	六等	拾九圓
七等	拾七圓八拾錢	八等	拾六圓六拾錢	九等	拾五圓四拾錢
十等	拾四圓貳拾錢	十一等	拾參圓	十二等	拾壹圓八拾錢
十三等	拾圓六拾錢				

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島新地整理成積

郡村宅地ノ部

壹等	八拾圓	貳等	七拾七圓八拾錢	參等	七拾五圓六拾錢
四等	七拾參圓四拾錢	五等	七拾壹圓貳拾錢	六等	六拾九圓
七等	六拾六圓八拾錢	八等	六拾四圓六拾錢	九等	六拾貳圓四拾錢
十等	六拾圓貳拾錢	十一等	五拾八圓	十二等	五拾五圓八拾錢
十三等	五拾參圓六拾錢	十四等	五拾壹圓四拾錢	十五等	四拾九圓貳拾錢
十六等	四拾七圓	十七等	四拾四圓八拾錢	十八等	四拾貳圓六拾錢
十九等	四拾圓四拾錢	二十等	參拾八圓貳拾錢	二十一等	參拾六圓
二十二等	參拾參圓八拾錢	二十三等	參拾壹圓六拾錢	二十四等	貳拾九圓四拾錢
二十五等	貳拾七圓貳拾錢	二十六等	貳拾五圓	乙二十三等	貳拾九圓八拾壹錢

山林ノ部

壹等	六圓	壹等	林五圓
火葬場ノ部	壹等	拾錢	

壹番字後畑

地番	地目	等位	面積	地價	摘要	所有者名
一	畑	一〇	三〇〇	四、二六〇		早川榮吉
二	畑	七	五二七	一〇、五〇〇		鍋田恒雄
三	畑	六	六二〇	一二、六七〇		何ノ誰
四	畑	五	七二六	一五、二二〇		全
五	畑	五	八一四	一七、一〇〇		全
六	畑	五	五〇六	一〇、五〇〇		全
七	畑	五	四一〇	八、七五〇		全
八	畑	五	四一五	九、〇九〇		全
九	畑	七	五二一	一〇、一五〇		全
一〇	田	一六	八二二	三四、五〇〇		全
一一	畑	六	四二二	八、九九〇	何某質權設定	全
計			一一、五二二	三三三、〇九〇		拾九筆

内譯	
畑	田
六	五
六、〇〇三	五、五一九
一一三、九八〇	二一九、一一〇
拾	八
壹筆	筆

100.

等位仕譯

畑	畑	畑	田	田
一〇	七	五	一七	一五
三〇〇	一、一一八	三、〇〇一	一、八〇一	一、三三三
	畑	畑		田
	八	六		一六
				二、三二五
	四〇二	一、一一二		

貳番字井ノ上

(前全様ノ雜形ニ付零ス)

總反別地價等位仕譯

畑	田
二九九、七二六	一〇五三、三〇七
六、二五〇、〇二〇	四八、七二四、五四〇
五百八拾貳筆	千參百六拾七筆

郡村宅地	山林	火葬場	墓地	隔離病舎敷地	計
一四六、二一七	二、八一七	六一八	一、八二二	一、〇一八	一五〇五、八〇四
五、八七四、八三〇	一五、九六〇	三三〇			六〇、八六五、六八〇
貳百四拾五筆	拾	壹	七	壹	貳千貳百拾參筆

官有地

寺社境内	山林	計
二〇、三二七	二、八二三	二三、二一〇
六	五	拾
筆	筆	筆

等位仕譯

田	地目等位	面積	田	地目等位	面積	田	地目等位	面積
一	一、四〇〇	六〇、一一一	二	二	六〇、一一一	三	一三六、一二四	

内譯	
畑	田
六	五
六、〇〇三	五、五一九
一一三、九八〇	二一九、一一〇
拾	八
壹筆	筆

等位仕譯

畑	畑	畑	田	田
一〇	七	五	一七	一五
三〇〇	一、一一八	三、〇〇一	一、八〇一	一、三三三
	畑	畑		田
	八	六		一六
				二、三三三
				四〇二

貳番字井ノ上

(前全様ノ雜形ニ付畧ス)

總反別地價等位仕譯

畑	田
二九九、七二六	一〇五三、三〇七
六、二五〇、〇二〇	四八、七二四、五四〇
五百八拾貳筆	千參百六拾七筆

郡村宅地	山林	火葬場	墓地	隔離病舎敷地
一四六、二一七	二、八一七	六一八	一、八二一	一、〇一八
五、八七四、八三〇	一五、九六〇	三三〇		六〇、八六五、六八〇
貳百四拾五筆	拾筆	壹筆	七筆	壹筆

官有地

寺社境内	山林	計
二〇、三二七	二、八二三	二、三、二一〇
六筆	五筆	拾筆
筆	筆	筆

等位仕譯

田	地目等位	面積	地目等位	面積	地目等位	面積
一	一、四〇〇	二	六〇、一二一	三	一三六、一二四	

田	四	一二一、〇一一	田	五	九八、四〇一	田	六	五五、五二九
田	七	六四、六〇六	田	八	五〇、八〇四	田	九	一五、五〇六
計	以下零ス	一〇五三、三〇七						

地目等位	面	積	地目等位	面	積	地目等位	面	積
畑	一	三、八二八	畑	二	一七、六一六	畑	三	八一、七二六
計	以下零ス	二九九、七二六						

地目等位	面	積	地目等位	面	積	地目等位	面	積
宅郡地村	一	六、四一〇	宅郡地村	二	三、六二五	宅郡地村	三	五、一二七
宅郡地村	四	八、〇〇〇	宅郡地村	五	一、〇〇六	宅郡地村	六	二、四〇九
計	以下零ス	一四六、二二七						

以下省畧
今各地目別等級地價反金ノ新舊對照表ヲ掲クレハ次ノ如シ
田ノ部

等級	舊地價	新地價	等級	舊地價	新地價
一	七、九六〇	六二、〇〇〇	三	五、四三〇	四九、五〇〇
二	七〇、三三〇	六〇、五〇〇	四	四九、五〇〇	四二、五〇〇
三	六六、七三〇	五九、〇〇〇	五	四九、五〇〇	四一、〇〇〇
四	六七、一六〇	五七、五〇〇	六	三九、五〇〇	三九、五〇〇
五	六五、五八〇	五五、〇〇〇	七	三六、五〇〇	三六、五〇〇
六	六三、九六〇	五四、五〇〇	八	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇
七	六二、三三〇	五三、〇〇〇	九	三〇、五〇〇	三〇、五〇〇
八	六〇、七〇〇	五一、五〇〇	計	三八、四三〇	三〇、五〇〇
九	五九、〇七〇	五〇、〇〇〇			
一〇	五七、四四〇	四八、五〇〇			
二		四七、〇〇〇			

三三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇
三六,七九〇			三二,九八〇		二八,七九〇		
二九,〇〇〇	二七,五〇〇	二六,〇〇〇	二四,五〇〇	二三,〇〇〇	二一,五〇〇	二〇,〇〇〇	一八,五〇〇
三三	三三	三三	三四	三五	三六	三七	
三三,九七〇						三三,八〇〇	
一七,〇〇〇	一五,五〇〇	一四,〇〇〇	一二,五〇〇	一一,〇〇〇	九五〇〇	八,〇〇〇	

一〇四

畑ノ部

等級	舊地	新地	等級	舊地	新地
一	二八,七三〇	二五,〇〇〇	五	三三,二九〇	二〇,一〇〇
二	二七,四〇〇	二三,八〇〇	六	二二,八九〇	一九,〇〇〇
三	二六,〇〇〇	二三,六〇〇	七	二〇,五四〇	一七,八〇〇
四	二四,六三〇	二二,四〇〇	八		一六,六〇〇

山林ノ部

等級	舊地	新地	等級	舊地	新地
九	一七,六〇〇	一五,四〇〇	二二	三三,六五〇	一八,八〇〇
一〇		一四,一〇〇	二三	一〇,六七〇	一〇,六七〇
一一	一五,〇三〇	一三,〇〇〇			

火葬場ノ部

等級	舊地	新地
一	五,五〇〇	五,〇〇〇

宅地ノ部

等級	舊地	新地	等級	舊地	新地
一	二二,五〇〇	八,〇〇〇	三	八七,五〇〇	七五,六〇〇
二	九,〇〇〇	七,七八〇	四	八五,〇〇〇	七三,四〇〇

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績

一〇五

五	八二,000	七二,100	一七	五二,500	四四,800
六	八〇,000	六九,000	一八	五〇,000	四二,600
七	七五,000	六八,000	一九	四七,500	四〇,400
八	七五,000	六四,000	二〇	四五,000	三八,100
九	七五,000	六二,000	二二	四二,500	三六,000
一〇	七〇,000	六〇,000	二三	四〇,000	三三,800
一一	六七,500	六八,000	二四	三七,500	三二,600
一二	六七,500	六八,000	二五	三五,000	二九,400
一三	六二,500	五二,600	二六	三三,500	二七,100
一四	六〇,000	五一,000	二六	二八,500	二五,000
一五	五七,500	四九,100	乙三		二九,八三〇
一六	五五,000	四七,000			

一〇六

九、登記ノ方法

整理地ノ登記ニ付テハ、地區ノ土地ハ一度ニ其全部申請ヲナスヲ以テ本來ノ性質ト

ナスカ如シト雖モ數千筆ノ土地ヲ一度ニ申請スルハ非常ノ手數ヲ要スルヲ以テ本地區ニ於テ之ヲ數回ニ分チテ申請ヲナセリ而シテ申請書ニ添付スヘキ圖面ハ確定圖一葉ヲ以テスレハ可ナルモ登記事項ノ多キ所ハ其表示明瞭ナラサル嫌アルヲ以テ本地區ノ如キハ更ニ縮尺ノ大ナル切圖ヲ製シ申請スルコト、セリ其申請書式ハ次ノ如シ

耕地整理ニ付登記申請 (用紙美濃罨紙)

- 一 従前ノ土地
 - 碧海郡六ツ美村大字下中島字馬取池 六十八番 六十九番 合筆
 - 一田 貳畝步 外壹步畦畔
 - 全所全字七十一番
 - 一畑五畝五步 外叁步畦畔
 - 一換地
 - 碧海郡六ツ美村大字下中島字馬取池十四番
 - 一田八畝步
 - 一 従前ノ土地ニ割當タル換地ノ部分及其部分ノ符號
 - 六十八番 合筆ニ貳畝步 其符號 (1)
 - 六十九番

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成續

七十一番ニ六畝歩 其符號 (2)

一 低當權ノ部分

七十一番ニ六畝歩 其符號 (2)

一 換地ノ交付ヲ受ケタルモノ住所氏名

碧海郡六ツ美村大字下中島貳百拾貳番戸

鶴田勝助

右耕地整理ニ依リ登記相成度農商務大臣ノ認可證及整理確定圖相添へ此段申請候也

明治 年 月 日

碧海郡六ツ美村大字下中島六十七番戸

碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理委員長早川龍介代理

碧海郡六ツ美村大字下中島二百四十二番戸

鶴田勝藏

岡崎區裁判所

福岡出張所御中

碧海郡六ツ美村大字下中島貳百貳拾番戸

鶴田勝助

碧海郡六ツ美村大字下中島

一 従前ノ土地

字馬取池 六十八番 六十九番 合筆

一 田 貳 畝 歩 外壹歩畦畔

全字七十一番

一 畑 五 畝 五 歩 外壹歩畦畔

一 換 地

字馬取池拾四番

一 田 八 畝 歩

一 従前ノ土地ニ割當シタル換地ノ部分及其部分ノ符號

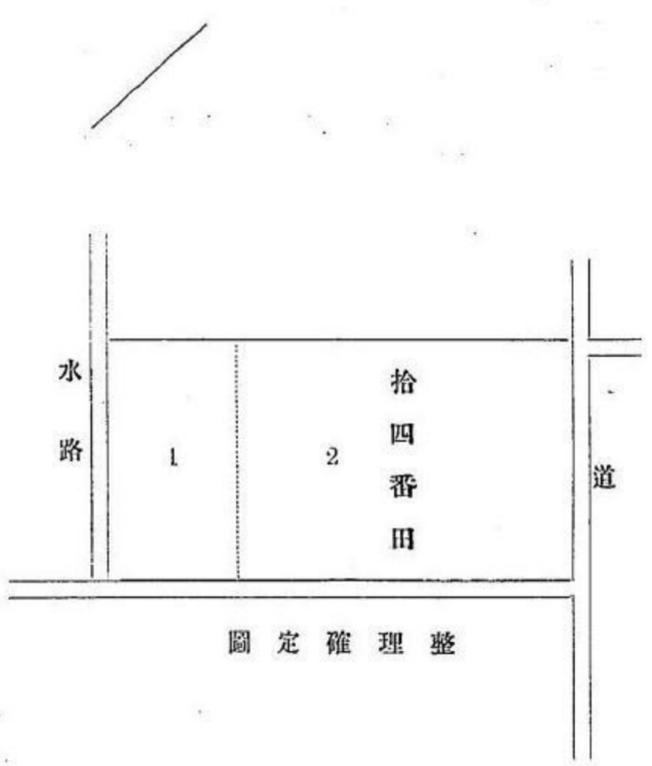
六十八番 六十九番 合筆ニ 貳 畝 歩 符 號 (1)

七十番ニ六畝歩 符 號 (2)

一 抵當權ノ部分

七十一番ニ六畝歩 符 號 (2)

第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績



十、資金返済ノ方法

工事着手迄ハ借入金中ヨリ之ヲ返済シ工事着手後ハ仮渡地ニ對シ左表ノ掬米ノ標準ヲ定メ新舊ノ差額ヲ整理事務所ニ徴收シ其賣却代金ヲ以テ借入金ノ年賦償還及利子償却ニ充テタリト雖モ工事完了シ換地交付ヲ行ヒタル後チニ於テハ掬米ノ徴收ヲ廢シ規約ニ依リ金錢ヲ徴收スルコト、ナセリ

掬米徴收ノ標準

田ノ部

等級	新	舊	等級	新	舊
一	一、五二五	一、四二〇	六	一、四二五	一、二五〇
二	一、五〇〇	一、四〇〇	七	一、三七五	
三	一、四七五	一、三五〇	八	一、三五〇	
四	一、四五〇	一、三二〇	九	一、三二五	
五	一、四二五	一、三〇〇	一〇	一、三〇〇	

宅地ノ部

等級	新	舊	等級	新	舊
一	一、二三〇	一、二〇〇	六	一、〇八〇	一、〇五〇
二	一、二〇〇	一、一七〇	七	一、〇五〇	一、〇二〇
三	一、一七〇	一、一四〇	八	一、〇二〇	九九〇
四	一、一四〇	一、一一〇	九	九九〇	九六〇
五	一、一一〇	一、〇八〇			

畑ノ部

等級	新	舊	等級	新	舊
一	一、〇四〇	一、〇〇〇	三	九八〇	九六〇
二	一、〇一〇	九八〇			

原野ノ部

等級	新	舊
一	二二〇	二〇〇

山林ノ部

等級	新	舊
一	二二〇	二〇〇

墓地ノ部

等級	新	舊
一	四五〇	四三〇

火葬場ノ部

等級	新	舊
一	四五〇	四三〇

明治三十五年ヨリ三十九年ニ至ル五ケ年間事務所ニ徴收シタル掟米賣却高ハ實ニ金壹萬貳千貳百九拾九圓參拾六錢ニシテ借入金ノ償還及利息トシテ支出セリ而シテ換地交付ノ結果ヨリ生スル收入ハ金壹萬參千百七拾七圓六拾八錢ニシテ尙ホ其不足分トシテ參加土地所有者ヨリ徴收スヘキ整理費用ハ四千百參拾貳圓拾參錢即チ田ハ壹反歩參圓貳拾錢畑及宅地ハ壹反歩壹圓七拾錢山林ハ壹反歩ニ付五拾錢ニシテ之ヲ一

時ニ徴收スルトキハ全部ノ償還ヲ終ル計算ナルモ年賦償還期限ハ尙ホ今後十七ヶ年間ヲ有スルヲ以テ一ヶ年一反歩ヨリ徴收スベキ費用ハ實ニ僅少ニシテ實際ニ於テハ何等ノ負擔ヲモ負ハサル結果トナルナリ何トナレハ田畑壹反歩ノ負擔一ヶ年分ハ地價減額ノ爲メニ免レタル公租額ヨリモ却テ僅少ナレハナリ

十一、整理費用精算

整理ニ要シタル費用ノ決算ハ借入金償却後ニアラサレハ決定スルヲ得スト雖モ官廳ニ對スル手續ハ殆ント全ク完了シタル今日ニ於テハ前途支出スヘキ費額ノ如キハ誠ニ些少ニテ足り又其方法モ零々決定シタルヲ以テ左ニ掲グル表ハ決算表ト見テ敢テ大差ナカルベシ

自明治三十三年十一月精算書
至全四十一年八月

收 入	一金六萬五拾六圓拾四錢	收 入 金 總 額
支 出	一金五萬九千九拾九圓六拾壹錢壹厘	支 出 金 總 額
收支差引		

金壹千參拾六圓五拾貳錢九厘

殘餘金殘務取扱費ニ充用

收入ノ部

科 目	金 額	附 記
一時借入金	一、七、七、二、七六	岩海銀行其他ヨリ借入
年賦償還借入金	一五、〇〇〇、〇〇〇	農工銀行ヨリ借入
預 金 利 子	三、三、五、三、三三	
補 助 金	六〇三、一六	金參百圓應認補助 金參百參圓拾九錢八厘岩海郡農會補助 自明治三十五年 至明治三十九年 五ヶ年間
米 賣 却 代 金	三、二、九、三、三六	
換地交付ニ由テ生シタル徴收金	一三、一、七、七、六八〇	
反 別 割	四、一、三〇、一、三〇〇	田畑反歩ニ付金參圓貳拾錢、宅地一反歩ニ付圓七拾錢、山林一反歩ニ付五拾錢
雜 收 入	二、八、二、二六	
計	六、〇、五、一、四〇	

支出ノ部

科	目	金額	附記
第一款	事務所費	四一七、五八五	
一、	委員 日常	二、三〇〇、三〇七	委員日常及測量圖費
二、	委員出張旅費	三六、九六六	
三、	雇 人 料	四〇七、六〇三	金九拾八圓參拾錢測量技師手當 金參百九圓貳拾六錢參厘臨時雇人料
四、	消耗品費	二九九、四九四	
五、	使 丁 給 料	二二、六七〇	
六、	備 付 品 費	一八九、四二二	金百圓測量機械買入代 金八拾九圓四拾貳錢參厘雜品買入代
七、	通信運搬費	三、五九九	
八、	償 與 費	二八、一七〇	
九、	夜 勤 賄 料	一七、九七四	委員夜勤仕度料
十、	雜 費	二七、四五四	金參圓故委員香奠 百四拾四圓四拾五錢四厘測量費及會議費并ニ收入印紙代
第二款	土木費	一五、〇〇、八八八	
一、	道 路 費	七五、二六六	

二、	水 路 費	一八、九七〇	
三、	堤 防 費	八二〇、八三四	
四、	土地切均費	一〇、五九六、二八八	
五、	夫役人夫賃	三〇四、六〇〇	
六、	樋 管 橋 梁 費	八四、二二〇	金百貳拾五圓五拾錢橋梁費 金六百七拾八圓六拾貳錢樋管費
第三款	雜 支 出	三九六、二九六	
一、	借入元利金及手數料	三六〇、二〇三	金壹萬參千六百圓貳拾錢參厘借入元利金償還 金貳萬五千圓年賦償還金高
二、	家屋及肥瓶等移轉料	一〇、九〇五	金五拾五圓建物五棟移轉料金四拾七圓九拾錢五厘 肥瓶五百五十八個移轉料及取費料
三、	竹木伐採及作毛貽償費	五〇三、五四五	金參拾五圓竹木伐採料 金四百六拾八圓五拾四錢五厘作柴料
四、	杭木及器具買入及損料	五七三、五四五	金貳百五拾五圓參拾錢境界杭買入 金百參拾五圓五拾錢軌道用スリッパ買入 百八拾貳圓七拾四錢五厘軌道用附屬器具買入及損料
計		五九〇、一九六一	

十一、整理地之維持管理

本村ニ於ケル耕地整理事業ハ其利益實ニ偉大ニシテ當業者一同ノ深ク悦喜スル處ナルモ若シ其結果ヲ永遠ニ維持保存スルノ途ヲ講セサルニ於テハ充分ナル成績ヲ收ム

ルモノト言フ可ラス當事者夙ニ茲ニ留意シ大字内申合規約ヲ作り各自連署ノ上實行スルコトシ今ヤ諸設備ニ對シテハ維持管理ノ方法遺憾ナク周到ニ行ハレ居レリ是全ク耕地整理ニ因リテ得タル共同心ノ發作ニ外ナラスシテ牽テ村治上萬般ノ施設ニ好影響ヲ與ヘ人心ノ一致勤儉ノ美風舉ケ來レハ各種ノ方面ニ顯ハレタル鴻益實ニ鮮カラス
現時實行シツ、アル規約ハ左ノ如シ

組合申合規約

第一章 總 則

碧海郡六ツ美村大字下中島ニ申合規約ヲ設置シ大字ノ團結ヲ強固ニシ教育ノ發達ヲ圖リ産業ヲ勵精シ苟モ不義不當ノ行爲アルモノヲ矯正シ地方自治ノ本分ヲ盡シ之ヲ永遠ニ維持シ以テ時勢ノ進運ニ添ハントス

第二章 組合ノ組織

第一條 大字下中島ヲ以テ區域トシ之レヲ區別シテ上組西組東組新町本町町境與境後屋敷小園ノ九分區トス
第二條 事務取扱及集會等ノ爲メ組内便宜ノ場所ニ事務所ヲ設ク

第三章 役員ノ選舉及職務權限

第三條 第一條ノ各分區ニ五人組ヲ設ケ各組壹名ノ組頭ヲ選舉シ其組ノ取締ヲナスモノトス

第四條 大字内ニ評議員拾七名ヲ設ケ大字ニ係ル一切ノ事ヲ評決ス其配置及選舉法左ノ如シ
上組參名西組壹名東組貳名新町貳名本町貳名町境貳名與境貳名後屋敷貳名小園壹名トス評議員ノ選舉ハ各分區ニ於テ之ヲナシ組合人中ヨリ組頭之ヲ選舉ス

但シ評議員當選者ハ漫リニ辭スルコトヲ得ス

第五條 本大字ノ爲メ特ニ功績アルモノハ評議會ノ推薦ニヨリ評議會及役員會ニ參加スルコトヲ得ルモノトス

第六條 本大字ニ左ノ役員ヲ置キ本大字ニ係ル事務ヲ依囑ス役員ノ選舉ハ評議員會之レヲ行フ其方法ハ町村制ヲ準用ス本村會ノ選舉ニ係ルモノハ推薦トシテ承認ヲ求ムルモノトス

- 一、區 長 貳 名
- 一、副區長 貳 名
- 一、農事員 若干名

第七條 區長副區長農事員及評議員ノ任期ハ二ケ年トシ滿期再選セラル、モ妨ナシ

但シ本村會ノ規定ニ依ルモノハ此ノ限リニアラス

第八條 本大字ノ事務ヲ處理スル役員ハ報酬又ハ手當ヲ給ス其支給規定ハ別ニ之ヲ定ム本村會ニ於テ支給スルモノモ其手當ニ不充分ト認ムルハ評議會ニ於テ決議ノ上組合費ヲ以テ補助スルコトヲ得

但シ出張ノ際旅費日當ヲ要スル場合モ亦之レニ準ス

第九條 集會ヲ別ツテ左ノ三種トシ區長之ヲ招集ス

一、總 會 定日 月 日(諸般ノ報告ヲナス)

一、組頭會 (評議員ノ選撰其他)

一、評議員會 (諸般ノ評決及決算報告ノ認定)

第十條 組合費ヲ徵收スル場合ハ通知ノ日必ス納付スル事不納怠納者アルハ五人組合ニ於テ之ヲ辨償スルモノトス

第四章 附 則

第十一條 本大字ニ水防組合ヲ設ケ各方面ニ担当ヲ定メ區長ノ命令アル(至急ノ場合ハ警鐘ヲ以テ報ス)片ハ直チニ現場ニ出張シテ任務ニ服スルモノトス

但シ區域担当ノ場所ハ區長之レヲ定ム

第十二條 道路水路ノ支線ハ天災地變ヲ除クノ外小破工事ハ地先關係者ノ負担トス但水路ニ在テハ其浚渫工事ニ限リ流域關係者ノ負担トス

第十三條 前二條ニ當ル工事ハ總テ義務トシテ支給セサルモノトス

第十四條 本大字地内廣田安藤ノ兩川通り水防組合ノ義務役ニ服スル部分ノ草刈取ヲ無償ニテ各分區ニ配當シ他所ヨリノ乱入ヲ制止スルモノトス

第十五條 畦畔ノ草刈及水路取締ノ爲メ左記二項ノ制裁ヲナス

一 耕地ノ畦畔ニ繁生シタル雜草ハ地主關係者ノ權利タルヘキハ勿論ナルモ他人之ヲ侵シテ刈取タルハ違犯料トシテ金壹圓ヲ徵收ス之レヲ通報シタル者

ニハ金五拾錢ヲ給シ之レヲ默許シタル者ハ同意者ト見做シ金五拾錢ヲ徵收ス
二 大字内ノ溝渠ニ於テ漁業カヘドリヲナサシメサルモノトス若シ之レヲ犯シ水行ヲ障碍シ除堤ノ切欠キ等ヲナシタルモノハ金壹圓ノ違犯料ヲ徵收ス之レヲ通報シタルモノハ金五拾錢ヲ給シ之レヲ默許シタルモノハ同意者ト見做シ金五拾錢ヲ徵收ス

但シ前二項ノ違犯料徵收金ハ區長ニ於テ積立置キ共同墓地火葬場ノ修繕費ニ充ツルモノトス

第十六條 桑樹及之レニ類スル植物ニシテ隣地ニ障害トナルベキモノノ境界杭ヨ
リ三尺以上ノ距離ヲ置クモノトス

第十七條 新規宅地ノ變換ヲナシ家屋ヲ建築シ植物ヲナサントスル場合ハ豫メ隣
地ノ承諾ヲ經ルモノトス若一雙互間ニ折合ハサルキハ評議員之ヲ決ス

但シ從來ノ宅地ト雖モ隣接耕地ノ障害トナルヘキ者ハ之レヲ伐採スル者トス
第十八條 本大字内ニ入寄留ヲナシ一戸ヲ構ヘ又ハ轉住セントスルモノハ本大字
ニ定籍アル身元確實ナルモノ二名以上ノ連署ヲ以テ届出ヲナシ區長ノ承認ヲ經
ルモノトス

第十九條 物貨押賣行商人ハ隣情ノ如何ニ拘ハラス一切之ヲ排斥スルモノトス

第二十條 身元不確實ノ者ヲ宿泊センメ傳染病其他事故ヲ發生シ之レカ爲メ組合
ノ損害ヲ釀成スル等ノ事アルトキハ其五人組ニ於テ之レヲ引受ケ尙支ヘ難キト

キハ其分區ニ於テ之レヲ負擔辨償スルモノトス

第二十一條 節句其他祝儀ト唱ヘ虚禮虚飾ニ涉ル物品ヲ共同團體ヲ以テ寄贈シ又
ハ之ヲ受クルコトヲ得ス

第二十二條 葬儀葬祭ニ打集リタルトキハ眞實ヲ旨トシ猥リニ酒食ヲ貪リ喧嘩暴
戻等ノ行爲ヲナスヘカラス

第二十三條 本大字内ニ於テ花集セ諸興行ヲナサシメサル事

第二十四條 前各條ノ如ク定ムルト雖トモ事實差闕ヲ生シタルトキハ修正加除ス
ルコトヲ得

廣田川通水防組合

上組 担当五百七拾間 三十三戸

内譯 字後畑羽角道上百十八間全五十八間字井上正名境ヨリ羽角道点百三十
七間羽角道以下字井下墓地前道マテ二百五十七間

東組 担当百七拾間 二十八戸

内譯 字井下墓地前道以下字上町下ノ切早川勝太郎東小道マテ百七拾間

新町 新町三十五戸

本町 担当貳百九拾間 本町三十五戸

内譯 字上町下ノ切早川勝太郎東小道以下勘藏橋マテ八十七間全以下役場東
道迄百十七間全以下川田的場道迄九十五間

町境 町境二十六戸

奥境 担当百四拾八間 奥境二十七戸

内譯 的場道以下字川田具吹道マテ百五間具吹道以下上永良境マテ四十三間

計 千百八十七間

百八十四戸平均一戸ニ付六間四分五勺強

二四

西組 担当四百九間

内譯 二軒屋前百三十八間大扨前以下安藤道マテ百六十七間安藤道以下崇福寺南道迄ヲ百四間

後屋敷 担当六百參拾六間五合

内譯 崇福寺南道以下紅蓮道迄六百三十六間五合

小園 担当百九拾間

内譯 紅蓮道以下堂場道迄ヲ九十間全以下米野境迄百間

計 千貳百參拾五間五合 五十四戸平均一戸ニ付二十二間九合弱
總計 延長貳千四百貳拾貳間五合 二百三十八戸平均ニ付十間一分七厘強

兩堤草蒔配當割

八幡社分

廣田四通リ
後畑始メ正名地境以下勘藏橋迄
安藤川通リ
安藤道以下八幡社道マテ

日長社分

廣田川通リ
勘藏橋以下淨光寺東小道マテ
安藤川通リ
八幡社道以下學校道マテ

住吉社分

廣田川通リ
淨光寺東小道以下永良地境迄
安藤川通リ
高畑道以下瓢箪小道迄

後屋敷分

安藤川通リ
學校道以下高畑道マテ

小園分

安藤川通リ
瓢箪小道以下米野地境マテ

右之通り申合規約ニ全意シ確守スルノ證トシテ記名捺印スルモノ也

組合員連署

十三、小作料ノ新設定

整理施行ノ結果ハ著シク收穫ヲ高メ便利ヲ増シタルヲ以テ小作料ノ増嵩ハ地主トシテ當然ノ要求ナルベシ本地區ニ於テハ地主小作相互間圓滿ナル協定ノ下ニ多少ノ米ノ増加ヲ爲スニ至レリ今其前後ノ額ヲ對照スレハ次ノ如シ

III ノ 部

等級	整理前	等級	整理後
一	壹石四斗二升	一	壹石五斗二升五合
二	壹石四斗	二	壹石五斗
三	壹石三斗五升	三	壹石四斗七升五合
四	壹石三斗二升	四	壹石四斗五升
五	壹石三斗	五	壹石四斗二升五合
六	壹石二斗五升	六	壹石四斗
		七	壹石三斗七升五合

畑ノ部

		八	壹石三斗五升
		九	壹石三斗二升五合
		十	壹石三斗

宅地ノ部

一	壹石	一	壹石四升
二	九斗八升	二	壹石壹升
三	九斗六升	三	九斗八升

一	壹石二斗	一	壹石二斗三升
二	壹石一斗七升	二	壹石二斗
三	壹石一斗四升	三	壹石一斗七升
四	壹石一斗一升	四	壹石一斗一升
五	壹石八升	五	壹石一斗一升

六	壹	石	五	升	六	壹	石	八	升
七	壹	石	二	升	七	壹	石	五	升
八	九	斗	九	升	八	壹	石	二	升

十四、功勞者表彰

本事業經營ノ衝ニ當リ多クノ苦情ヲ融和シ紛争ヲ解決シ拮据黽勉日モ亦足ラサル底ノ勢力ヲ盡シテ執掌シタルモノ整理委員長以下多數ノ整理委員諸氏ニシテ其間殆ト優劣徑庭ナシト雖モ就中其功績ノ偉大ナルモノハ副委員長鶴田勝藏氏ナリトス氏ハ長ク村長村農會長ノ職ニアリ平素農事ノ改良ニ意ヲ傾ケ嘗テ安藤川改修ノ舉アルヤ深ク其事業ノ有利ナルヲ認メ各所ニ奔走シテ利害ヲ説キ紛糾ヲ和ケ工成リテ成績顯著ナルモノアルヲ見ルヤ其機ヲ逸セス直ニ耕地整理ヲ計畫シ村民ノ殆ト全部ノ同意ヲ得テ基礎茲ニ定マリ爾來非常ノ勵精努力ト周到綿密ナル注意ノ下ニ事業ノ進行ヲ圖リシカハ工事期間三ヶ年ノ長キニ亘リテ何等ノ苦情モ異議モナク極メテ圓滿ニ其業ヲ了ヘ豫期以上ノ好果ヲ收ムルコトヲ得ルニ至レリ之ヲ以テ本縣農會長深ク其功勞ヲ多トシ左ノ如キ賞狀ヲ下附セラル、ニ至レリ

功勞者表彰

碧海郡中島村 鶴田勝藏



副委員長 鶴田勝藏 氏

夙ニ心ヲ
勸業ニ留
メ百方計
畫奔走シ
テ居村地
方ノ水利
ヲ治メ大
ニ灌溉ノ
便ヲ開キ
著シク關
係各村ニ
於ケル農

行フコトヲ得タリ其他農業改良發達ニ力ヲ致シ其功勞尠カラストス仍テ茲ニ功勞賞ヲ授與シ以テ其名譽ヲ表彰ス

産ノ利益
ヲ増進セ
リ更ニ率
先シテ耕
地整理ヲ
企圖シ勵
精銳意其
難局ニ當
リ遂ニ能
ク百三十
七町ノ耕
地整理ヲ

明治三十六年一月二十四日

愛知縣農會長從四位勳三等 深野一三

氏ノ功勞ハ更ニ天聽ニ達シ茲ニ最モ名譽アル藍綬褒章ヲ下賜セラレ、ニ至レリ氏一門ノ光榮何物カ之ニ如クモノアラシヤ其寫次ノ如シ

日本帝國褒章之記

愛知縣碧海郡中島村

鶴田勝藏

資性篤實夙ニ心ヲ興農ニ傾ケ養蠶製鹽ノ振作ヲ圖リ最モ力ヲ安藤川ノ改修ニ用キ郡村ニ往説シ異議ヲ調停シ水利組合ヲ結ヒテ工ヲ起シ拮据監造遠ニ克ク厥功ヲ就シ沿流諸村凡百餘町歩ノ田ヲシテ水患ヲ免レシメ且ツ惡水排除ノ水路ヲ鑿テ水田ヲ變シ乾田ト爲シ以テ秋收ヲ增益シ殊ニ率先耕地整理ヲ實施シテ多額ノ増歩ヲ獲其他紛爭ヲ融和シテ堤防ノ修築ヲ完成セシメ貧ヲ濟ヒ窮ヲ恤ム等前後捐費スル所亦尠カラス洵ニ公衆ノ利益ヲ興シ成績著明ナリトス仍テ明治十四年十二月七日勅定ノ藍綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰ス

明治三十九年三月二十六日

奉勅



賞勳局總裁從二位勳一等子爵 大給恒

給恒

此證ヲ勘査シ第五百七拾四號ヲ以テ褒賞簿冊ニ登記ス

- 賞勳局書記官從四位勳三等 横田香苗
- 賞勳局書記官正六位勳五等 藤井善言

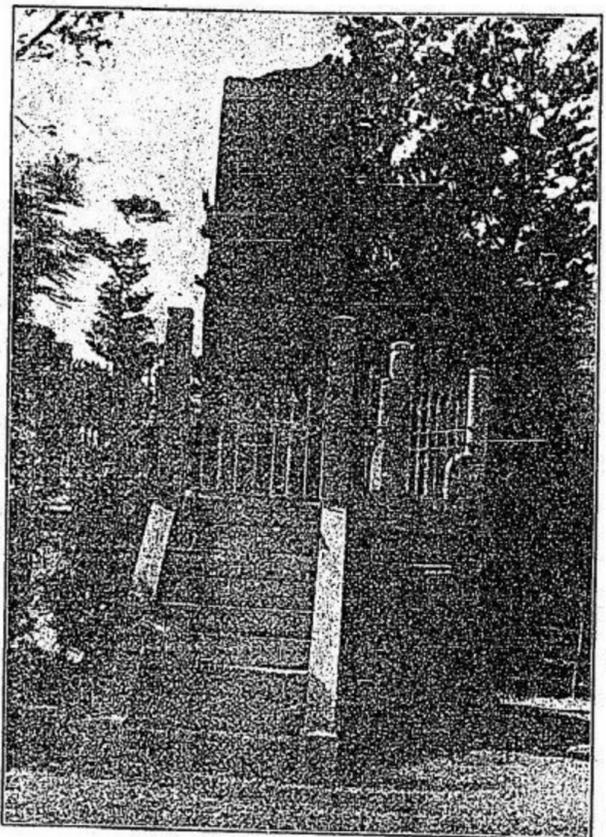
十五、紀念碑設立

整理ノ結果ハ意外ノ利益ヲ得タルヲ以テ其鴻益ヲ永ク後世子孫ニ傳ヘ當時村民カ苦辛經營ノ賜ニ依リテ見事ニ完成シタル偉業ヲ偲ハシムル目的ヲ以テ紀念碑ヲ設立シ多大ノ便宜ト督勵トヲ加ヘラレタル當時ノ農商務大臣清浦奎吾男ニ蒙額次官和田彦次郎氏ニ撰文ヲ請ヒ最モ人目ヲ惹キ易キ縣道東側學校底園内ニ建設シタル其碑文ノ寫左ノ如シ

農商務大臣從二位勳一等男爵 清浦奎吾蒙額

我邦以農業爲生産本源是所以有瑞穗國之稱也然而古來田畝之制畦區狹小溝徑迂曲

各團畛域犬牙錯綜害生產之發達寔不鮮矣於是官夙規內外慣例新發布耕地整理法以力之實施然農家概墨守膠價不吉古革新概也哉愛知縣三河國碧海郡中島村大字下中島村民諸子發憤踐行之足以爲他府縣耕地之模範其功可謂偉矣蓋下中島水早和繼連歲不登地主農夫葛藤纏糾有派人於石川靜岡二縣檢耕地整理實況以明治三十四年五月起工三十七年四月告成其所整理耕地面積百五拾町五反八畝拾九步參加土地所有者參百貳拾人工費約貳萬圓



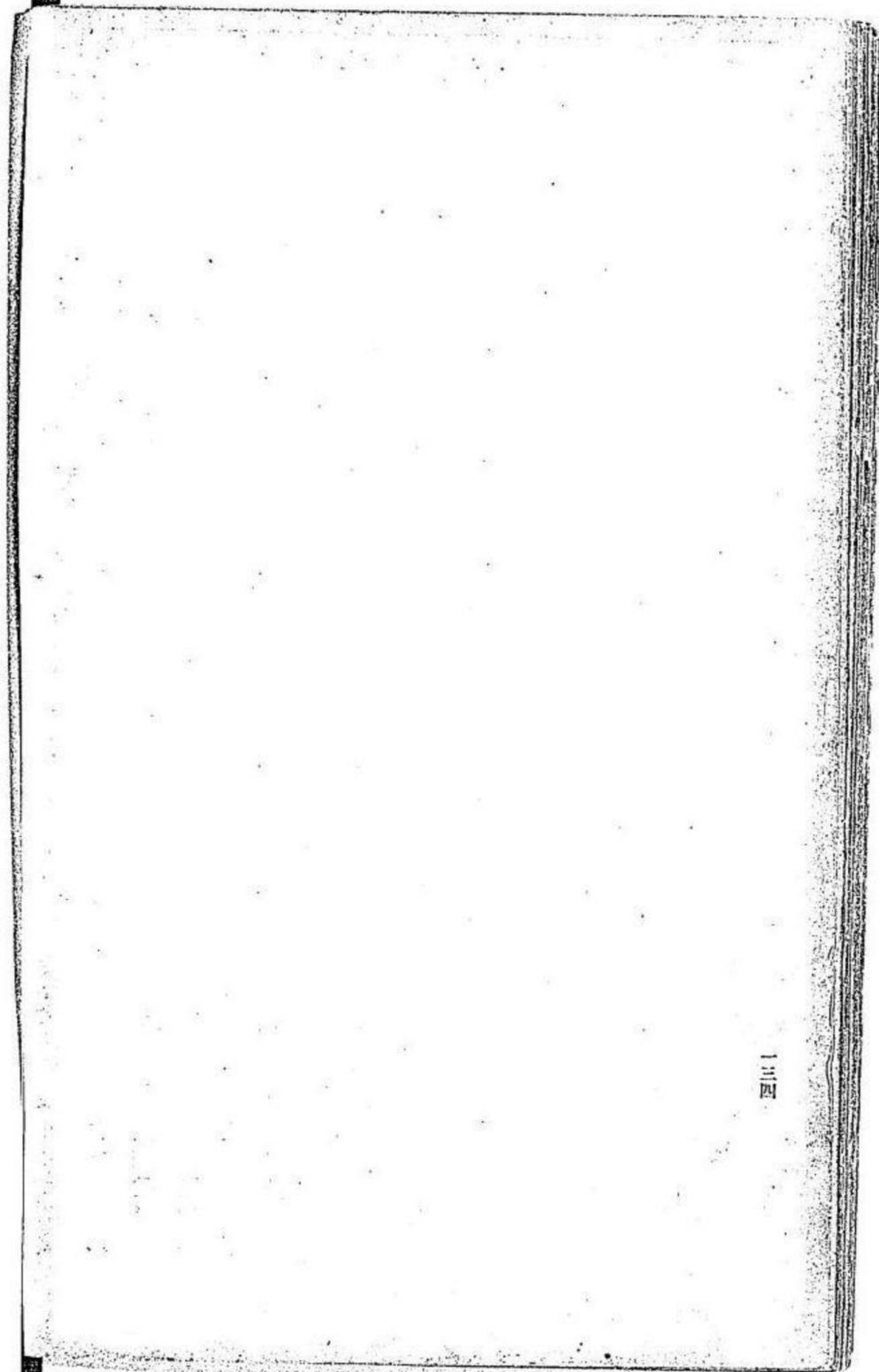
下中島村耕地整理紀念碑

志者苦慮 百端遂乞 官先開鑿 溝渠高橋 用水又疏 通廣田安 藤二川於 是除害興 利獲增焉 葛藤纏糾 却民諸子 同心協力

服勞役四年其畦畔區狹小者爲廣大溝徑迂曲者爲繩直犬牙錯綜者井然有條生產之發達可以期也成此偉業者實委員長早川龍介其他委員諸子斡旋之功居多焉告成六月八日舉竣工式于其村予與深野愛知縣知事脇屋碧海郡長郡中各村町長耕地整理委員地主等同臨式塲述祝意此日也會接于我征露第一年進渡鴨綠江援九連城更陷鳳凰城第二軍亦上監大澳進略普蘭店之捷報而下中島村民諸子奏耕地革新之偉功彼此紀念不可忘之吉日也項有志諸子相謀建碑以傳之不朽請予文誼不可辭因記其梗概系之以銘銘曰

實踐因人 其法始尊 耕地面目 千歲一新 五穀穰穰
 連登加雲 代俄大捷 奮進三軍 維忠維考 瑞穗國民

明治三十八年八月十一日 農商務次官從四位 和田彦次郎

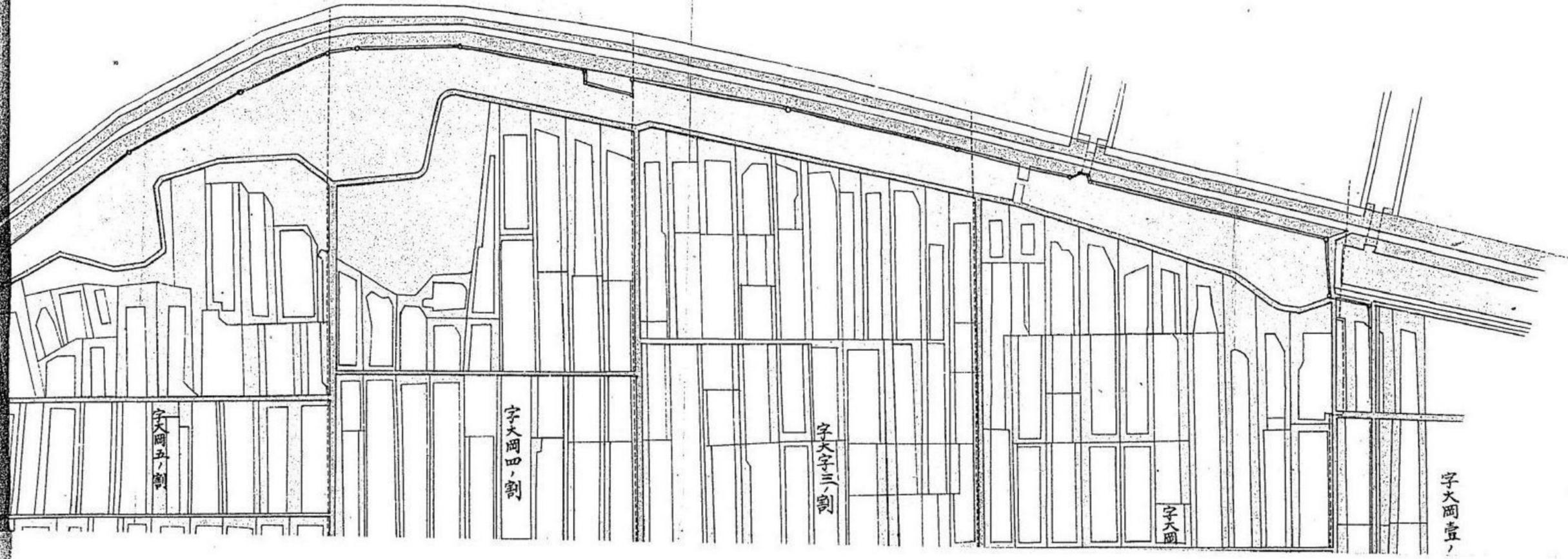


幡豆郡一色村大字細川大岡新田耕作地整理

浦

ヶ

衣



字大岡五割

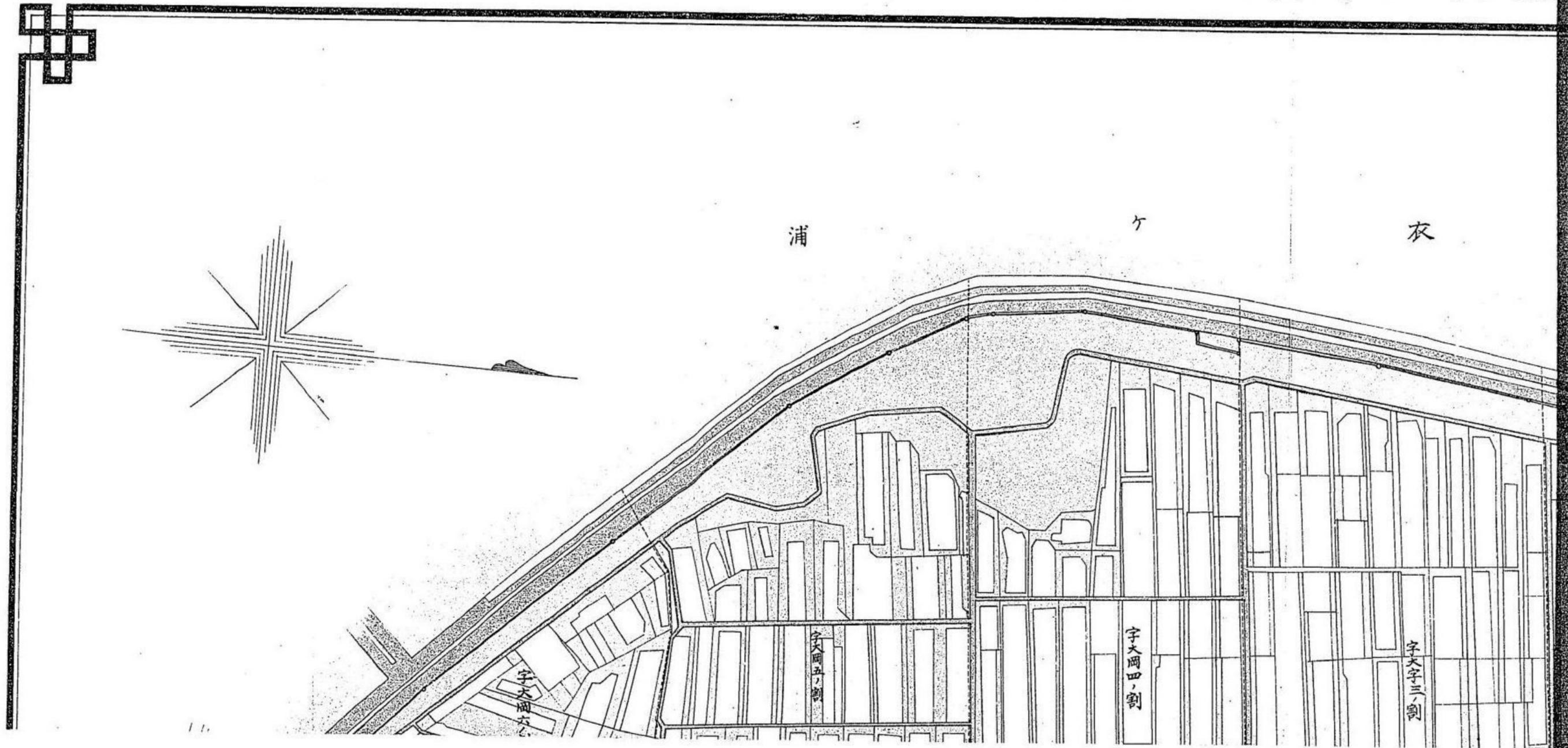
字大岡四割

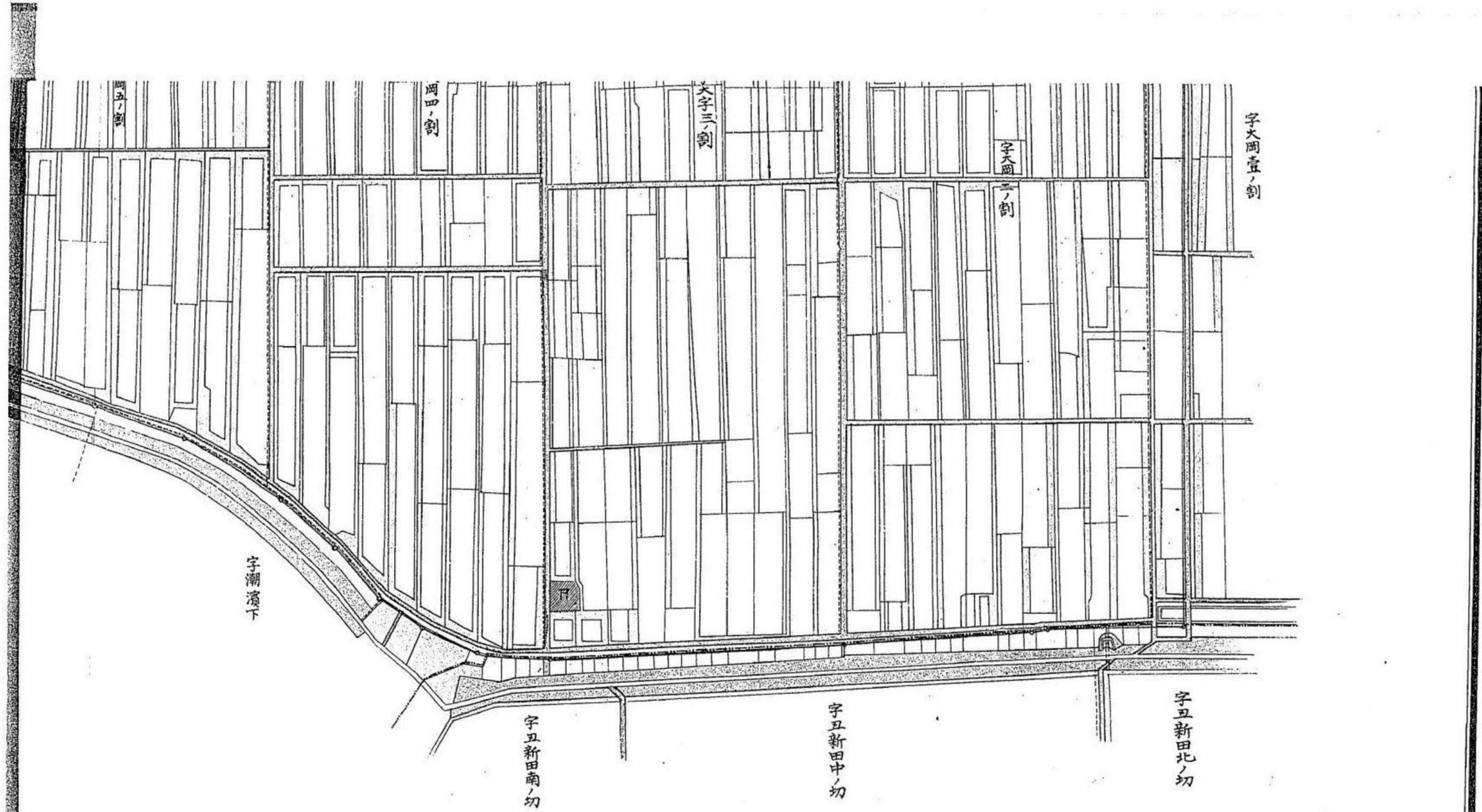
字大岡三割

字大岡

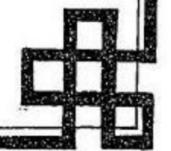
字大岡壹

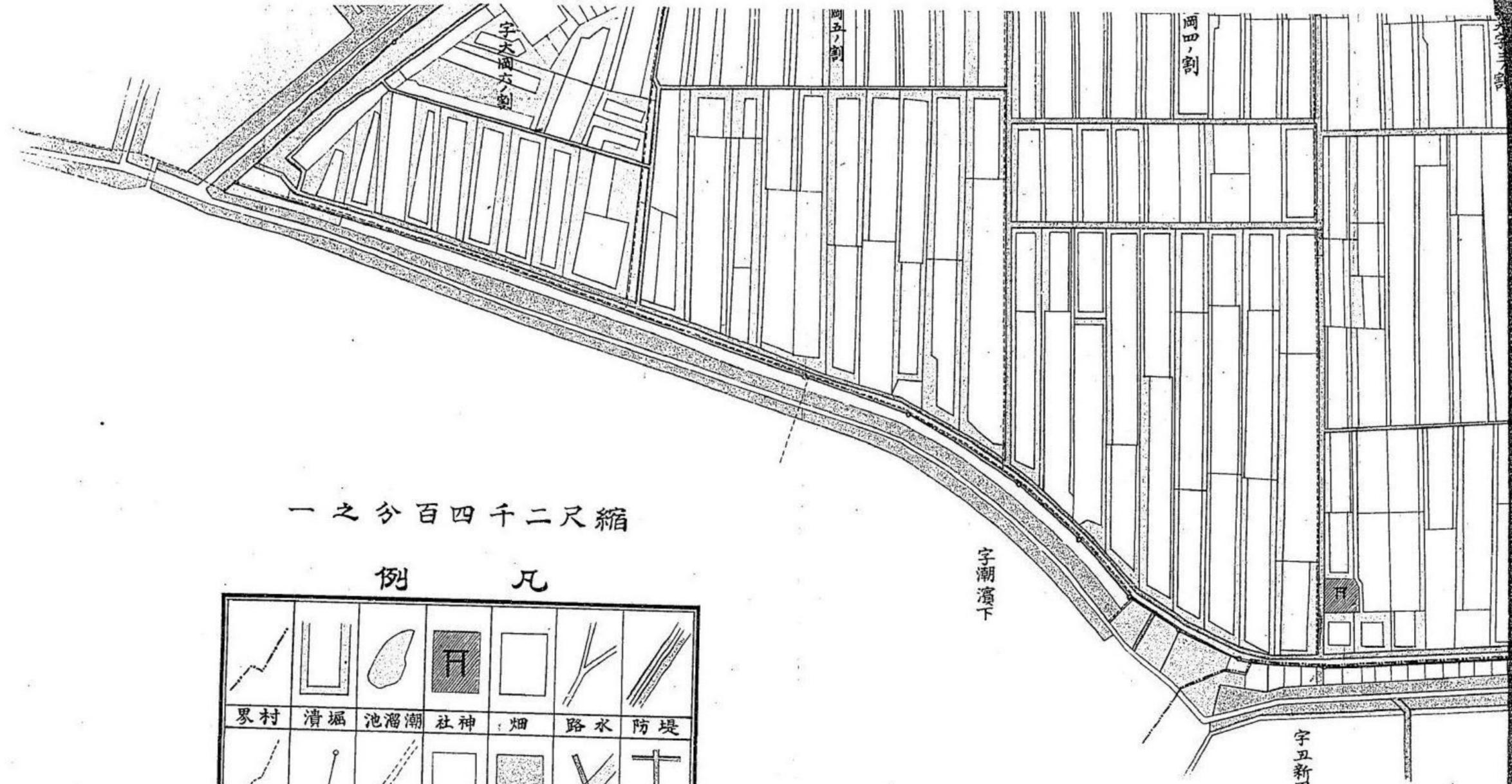
色村大字細川大岡新田耕作地整理區舊形圖





明治字大村色一





一之分百四千二尺縮

例 凡

界村	溝堀	池溜潮	社神	畑	路水	防堤
界字	界地	樋伏	田塩	地宅	梁橋	路道

字丑新田南ノ切

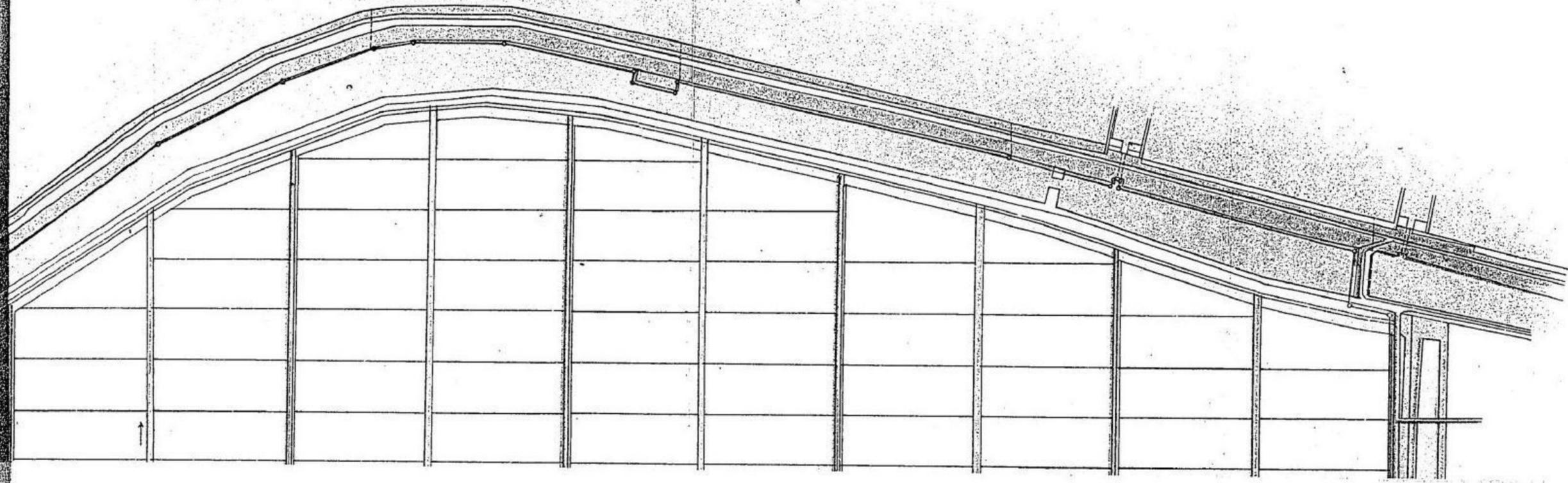
明治

幡豆郡一色村大字細川大岡新田耕作地

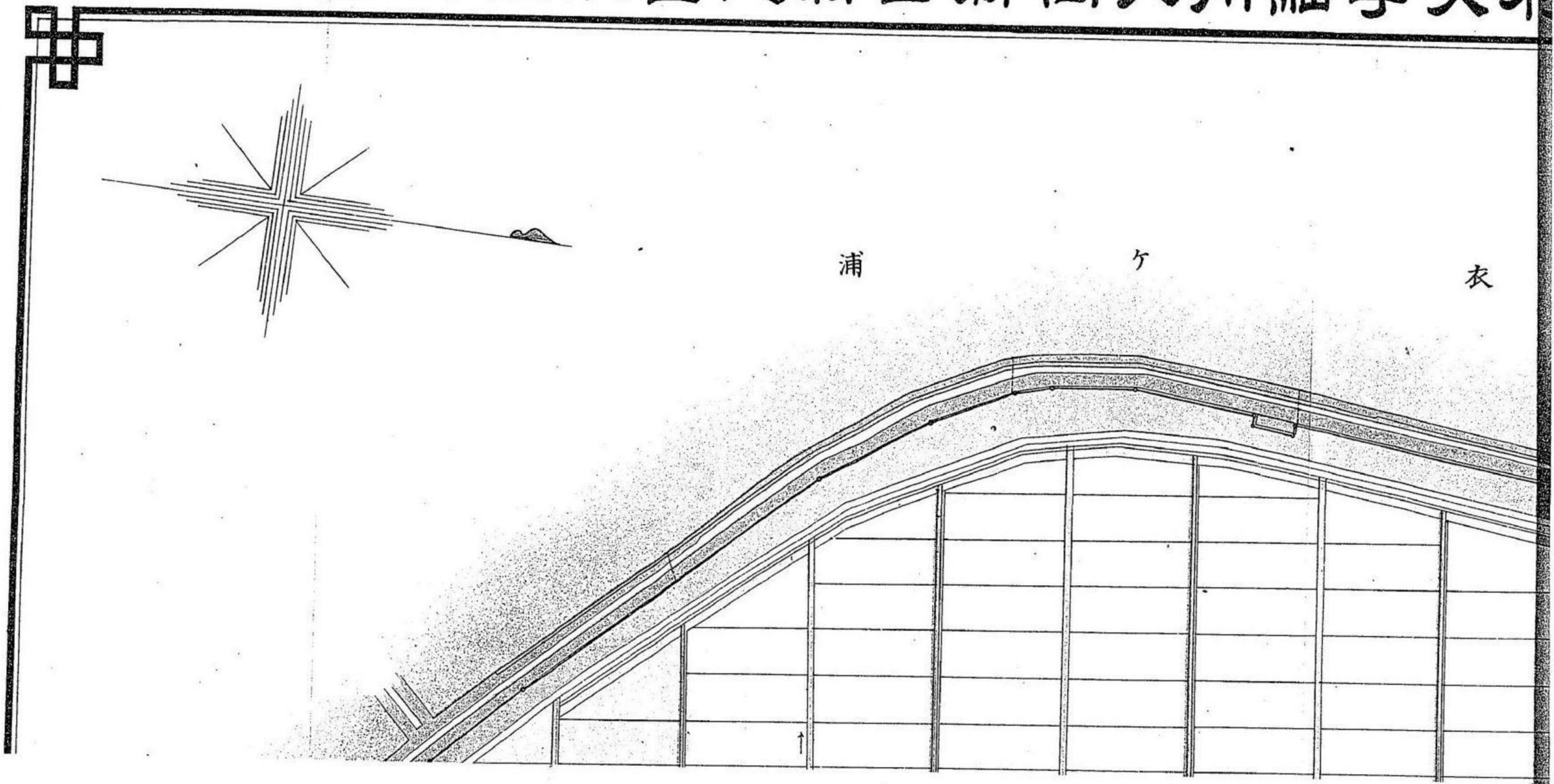
浦

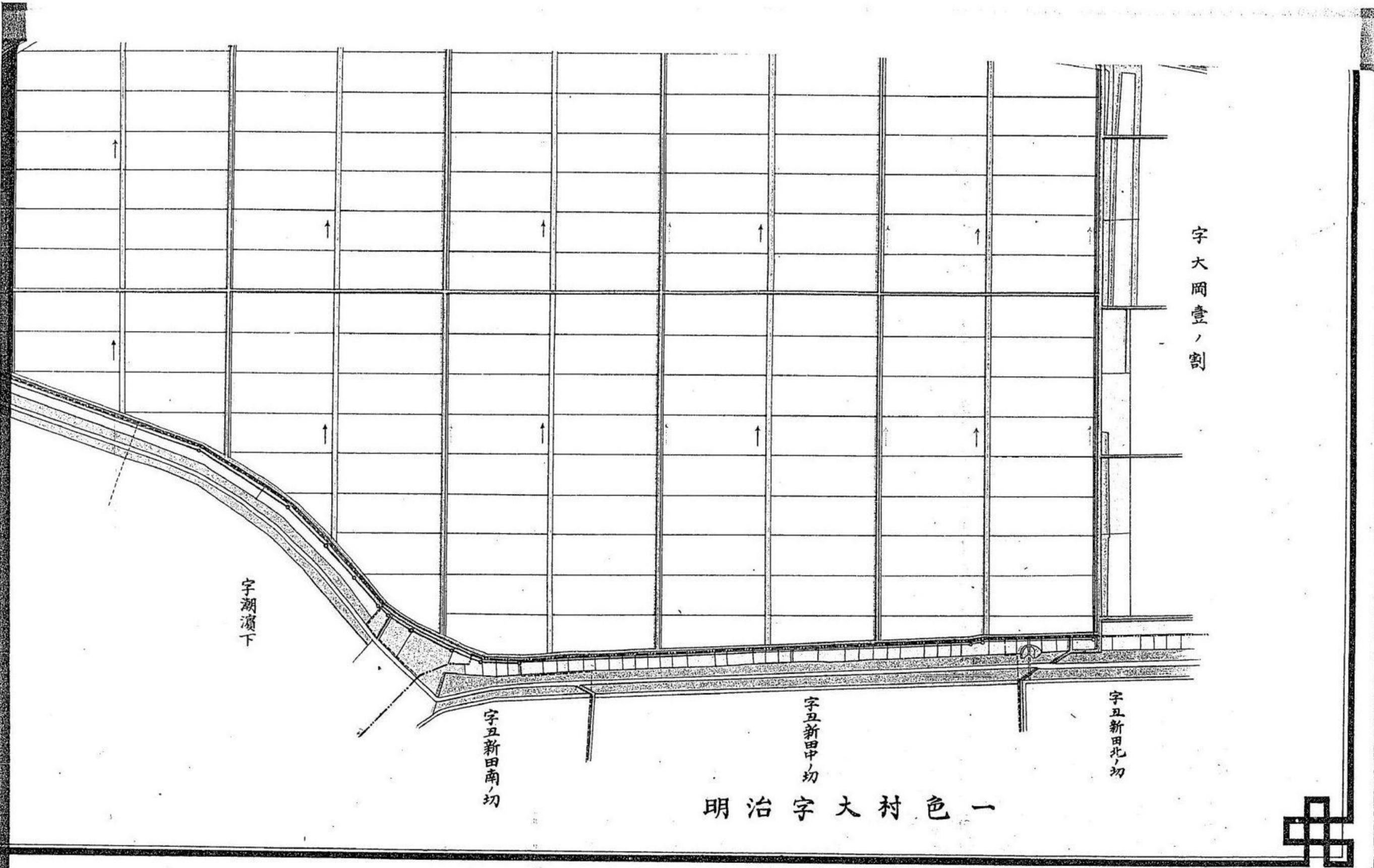
ヶ

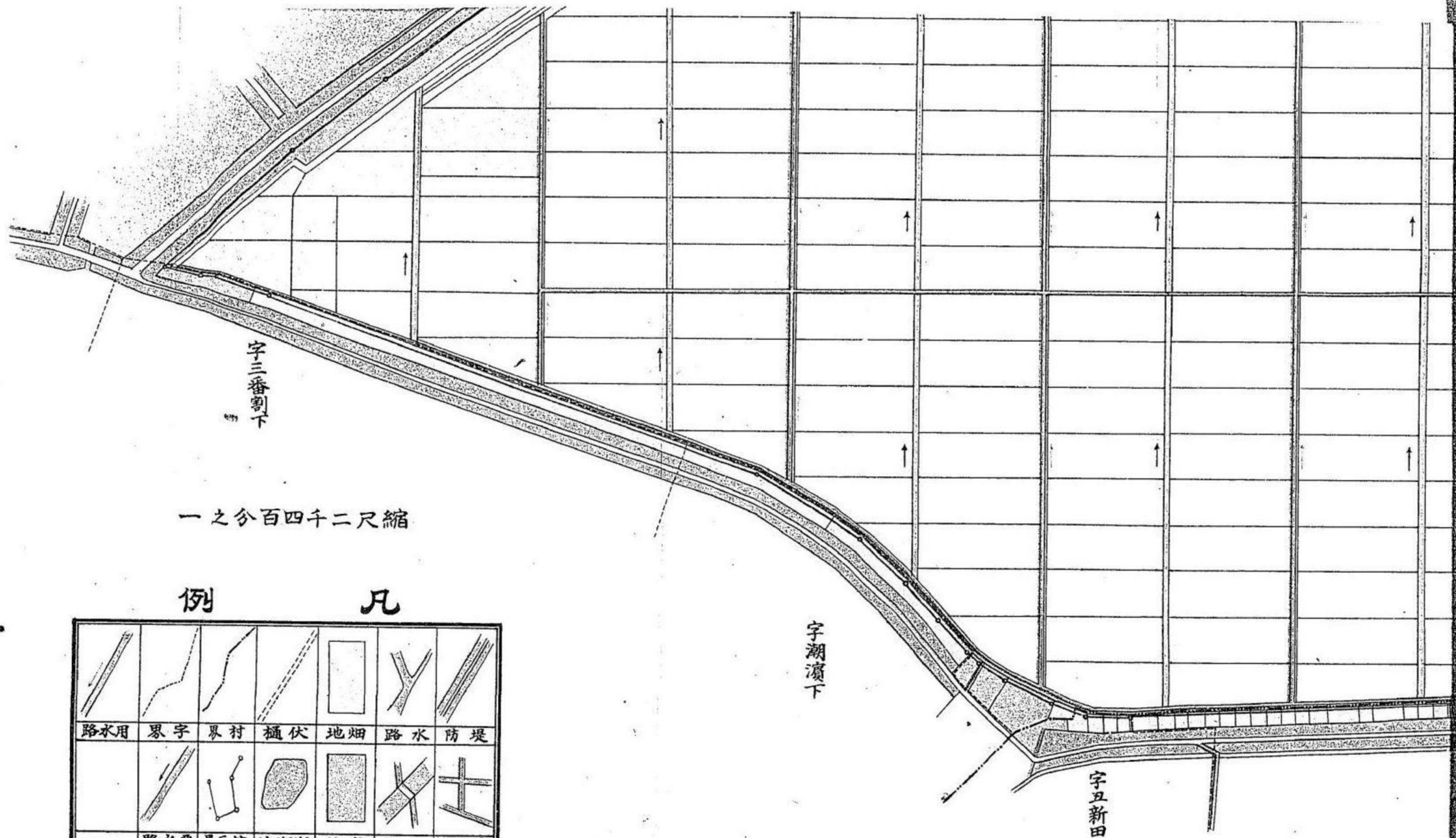
衣



木大宇細川大岡新田耕墾整理確定圖







字三番割下

一之分百四千二尺縮

字潮濱下

字五新田南切

例 凡

路水用	界字	界村	樋伏	地畑	路水	防堤
路水惡	界已地	池溜湖	地宅	梁橋	路道	

明治

第五章 幡豆郡一色村大字細川大岡新田 耕地整理成績

一、整理地區之位置及其面積

本地區ハ三河國幡豆郡一色村大字細川ニ在リテ郡ノ西南隅ニ位シ伊勢灣ノ一部タル衣ヶ浦ニ突出セル低窪ナル耕地ニシテ周圍ハ堤防ヲ以テ圍繞セラル、新田ノ一部ナ

リ
整理地ノ地目別面積筆數等ハ左ノ如シ

地目	面積	筆數	一筆平均面積
田	三、二二二六	三七	〇、八二〇、四〇
畑	一九、三二二八	二〇八	六二七、七五
池 沙 堀	一三、八七二五	三八九	三二七、四三
用 惡 水 路	三、一三三	〇	〇
神 社 境 内	五、一〇	〇	〇

道	九七二七	〇
路		
合計	三七、七八〇三	七〇六

二、整理前土地ノ状態

新田開拓ノ沿革

本整理地區ノ屬スル大岡新田ハ文化四年尾張國丹羽郡布袋町ノ人村瀬甚左衛門氏ノ築造ニ係ルモノニシテ弘化四年三河國幡豆郡平坂村石川小右衛門額田郡岡崎町田中安兵衛二氏ノ有トナリ後明治拾三年ニ至リ現今土地所有者等ノ有トナル

村瀬氏ノ初テ本新田ヲ築造セシ當時ハ用水ノ便惡水ノ設備共ニ宜敷ニ適ヒ相應ノ收穫アリシモ安政元年大地震ノ爲メ土地著シク陷落シ全ク舊形ヲ失セシカハ其所有者タル石川田中ノ兩氏再ヒ改築ヲ行ヒタリト雖モ徒ラニ多額ノ費用ヲ費シタルノミニシテ容易ニ舊態ニ復セシムルコト能ハズ故ニ用水路ハ殆ント其用ヲ失シ地盤ノ低下ハ惡水ノ停滯ヲ招キ殆ント收穫ヲ見ルコト能ハサルニ至ル越ヘテ明治二十二年再ヒ海潮ノ爲メ防波堤ヲ破ラレタルヲ以テ地主等協議ノ上金五千圓ヲ投シ漸クニシテ堤防ノ改築ヲ行ヒ辛フシテ傷痕ヲ癒スルヲ得タルモ災害ハ一再ニシテ止マラス其後明

治二十四年ノ大震ハ三タヒ新田ニ障害ヲ與ヘ防波堤破壊セラレ逆捲ク海水ハ滔々トシテ浸入シ來リ其慘狀實ニ名狀ス可ラサルニ至レリ地主等は等頻至ノ災害ニ對シ殆ント施スヘキ術モナク呆然自失ノ状態ニ陥リシカ只徒ラニ坐視スルノ秋ニアラサルヲ悟リ數次ノ災害ニ疲レタル餘資ヲ籍リ漸クニシテ破堤ノ修繕改築ヲ行ヒ今ヤ幸ニシテ堅牢固着容易ニ破壊シ去ラサル迄ニ至リシモ新田内ノ耕地ハ地盤一層低窪トナリ海水ノ滲透多クシテ惡水益々停滯シ生産力ハ愈減退シテ土地ノ價格亦從テ低落シ耕地ノ價值極テ乏シキ狀況ニ陥リタリ

水利ノ状態

本新田築造當時ニ於ケル用水ハ西尾領地ニ於ケル西南部ノ惡水ヲ引用シテ頗ル良好ノ結果ヲ見シト雖モ安政元年ニ於ケル土地ノ陷落ノ爲メ用水路ニ大障害ヲ與ヘ殆ント其利用ヲナスコト能ハサルニ至ル又耕地モ地盤低下ノ爲メ惡水常ニ停滯シ殆ント作物ノ栽培ヲ爲スコト能ハサルヲ以テ地主等協議ノ上耕地ノ一部ヲ池トナシ掘リ取リタル土砂ヲ以テ他ノ耕地ヲ盛上ケ畑地ヲ造リ漸ク麥實綿等ノ栽培ヲナシタリト雖モ充分ナル收穫ヲ舉クルコト能ハス斯ル状態ナルヲ以テ舊來ノ用水路ハ全ク其形ヲ失ヒタリシカ明治三十二年地主等協議ノ上將暨用水ノ末流ヨリ分水シ再ヒ水田少許ヲ開キ稻作ヲ爲スニ至レリ

用水ハ以上ノ如ク前途大ニ望ヲ屬スルヲ得タリト雖モ惡水ニ至リテハ從來屢次被ム
 レル所ノ災害ノ爲メ土地著シク窪凹シ冬期ト雖モ充分ニ餘水ノ排除シタルコトナク
 周圍湖止堤ノ構造ハ頗ル不完全ナルカ爲メ滿潮ニ際セハ潮水ハ耕地内ニ充溢シ來リ
 テ容易ニ排除シ去ラス長ク停滯シテ作物ニ大害ヲ加フルコト少ナクモ月ニ二回ヲ下
 ラス若シ此際不幸ニシテ降雨アラシカ降下セル雨水ハ全部地區内ニ停滯シ其間十數
 日ノ長キニ亘ルモ尙減水スルコトナク旱潮ニ際スルモ水路ノ配置地勢ニ伴ハサルヲ
 以テ容易ニ其目的ヲ達スルコト能ハス爲メニ收穫ハ全然皆無ニ歸スルコト敢テ珍カ
 ラス加フルニ地盤ハ高低一ナラスシテ高キハ潮水ノ被害ヲ受クルコト割合ニ薄キ代
 リニ時トシテハ旱害ヲ被ムルコトアリ斯ノ如キ状態ナルヲ以テ地ハ年ト共ニ荒廢ニ
 陥リ潮水ハ月ト共ニ其侵蝕ヲ逞フシ生産力ハ漸次減耗衰頽スルノ傾向ヲ有セリ

生産ノ状態

從來ノ耕地ハ叙上ノ如キ不利ノ状態ニ在ルヲ以テ生産甚タ少ク田地ニアリテハ一反
 歩僅ニ九斗内外ノ米ヲ收ムルニ止マリ畑ハ從前棉ヲ栽培シ相當ノ收穫ヲ得タルヲア
 ルモ近時棉ノ聲價上ラサルト又作柄モ漸次劣リタル爲メ栽培反別逐次減少シ之ニ換
 エルニ甘藷、落花生、大豆等ヲ以テスルニ至リタルモ其收量又充分ナラス主タル生産ト
 シテハ専ラ麥作ニ依ルニ過キサル狀況ナリ

今畑地ニ對シテハ棉麥ヲ栽培スルモノトシ最近五ヶ年間ノ收益ヲ調査スルニ左ノ如
 シ

田	畑	池沙堀	計
反別	三、二二六	一九三、二二八	一三、八七五
反當收量	米 九〇〇	麥 一五〇〇	漁獲
總收量	二八、九七一	二八、九七八五	
單價	一五〇〇〇	六〇〇〇	
價額	四、三五五六一	一、七三、八七一〇	七〇〇、〇〇〇
			五、一九、二五五一

即耕地反別ニ比スレハ夏冬兩作ノ收穫ハ僅ニ一反歩拾九圓余ニ過キス實ニ些少ノ生
 産ト云フヘシ

耕作法

當地方耕作ノ方法ハ敢テ牛馬ヲ使役スルニアラスシテ全然人力ニ依テ耕作ヲ爲シ居
 レリ抑モ地區ハ伊勢灣ノ一部タル衣ヶ浦へ凸出シタル塲所ニシテ人家ヲ距ルヲ拾町
 余ノ遠キニ在ルカ故ニ耕作上ノ不便實ニ尠カラサルモノアリ加之漁業製鹽業等ノ副
 業一般ニ行ハレ農業ニ使用スヘキ勞力割合ニ少キヲ以テ耕作法自ラ粗慢ニ流ル、ノ

傾キアリ而シテ整理前ノ區劃ハ耕地ト池沼ト交互錯綜シ居リ道路ノ便舟楫ノ利共ニ欠如セル所ナルヲ以テ勞力ノ損失實ニ一方ナラス生産モ爲メニ幾分ノ遞減ヲ免レサル所ナリ

三、耕地整理ノ發起

發起ノ動機

本整理地區ニ於テハ惡水停滯甚ク土地ノ生産力殆ント欠乏シ年々歲々惡變ノ傾アルヲ以テ終ニハ全ク其生産力ヲ失フヲ慮リ地主一同土地改良ヲナサントノ意向ヲ抱キ數々會合協議ヲ凝シ是非共築堤當時ニ於ケル狀態ニ復セシメントシ其手初メトシ明治三十二年試ニ將監用水ノ末流ヨリ分岐セル用水路ヲ開キタルニ其結果比較的可良ナル結果ヲ得タリト雖モ惡水ノ排除ニ付テハ依然トシテ舊態ヲ脱スルコト能ハス之レカ改善ヲ計ルハ地區外附近ノ畑地ヨリ土砂ヲ運搬シ低濕ニシテ惡水常ニ滯留シ往々沙水湧出ノ害アル部分ニ對シ平均二尺内外ノ盛土ヲ爲スニ加カスト協議一決ノ結果法律第三拾九號ニ依リ田區ノ改正ヲ行ヒタキ旨西尾稅務署ニ出願セリ時ノ稅務署長ハ論スニ耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ行フノ利益ナルヲ以テ各地主ニ於テモ初メテ耕地整理法ノ發布サレ居ルコトヲ知リ整理既成地ニ就キ實際ノ狀況ヲ視察

シ尙縣當局者ニ就キ其方法ヲ講究シ終ニ耕地整理ヲ行フコトニ決定セリ

整理ノ目的

整理ノ主タル目的ハ從來被ムレル所ノ潮水ノ害毒ヲ除キ海水ノ浸入湧出ヲ防止シ低窪ナル部分ニ對シテハ相當ノ盛土ヲ施シテ水濕ノ被害ヲ感セサラシメ池沼等ニ對シテハ附近畑地ノ床土ヲ增鑿搬入シテ埋立ヲ爲シ以テ耕地面積ヲ增加スルニ在ルモ尙水利ノ狀態ヲ改メ耕作ノ便利ヲ増スカ如キ種々ノ附帶セル事項ノ改良ヲ圖ルヲ甚ダ至要ノ事ニ屬セリ

即用水ハ屢キニ將監用水ノ末流ヲ引入レタル結果比較的良好豐富ナル水源ヲ有スルニモ拘ハラズ其用ハ主ニ海水ノ塩分ヲ稀釋スルニアリテ直接稻作ノ灌漑ニ供セラレ、コ寮ロ少キ狀態ニアリ之ヲ以テ用水路ハ引入幹線ヲ除クノ外用惡兼用ニシテ位置排列共ニ極メテ不適當ニシテ充分ナル作用ヲ爲ス能ハス惡水ニ至リテハ前陳ノ如ク排除ノ途ナク四時滯溜シ用水ニ比シ數段ノ困難ヲ感スル狀況ナルヲ以テ今之ニ整理ヲ施シ水利ノ關係ヲ改善シ用水惡水共ニ其必要ノ度ニ應シテ適宜區劃ノ短邊ニ沿ハシメ直接灌排ノ用ニ供スルノ便ヲ得セシムルニ於テハ其利益實ニ尠カラサルモノアルニ至ルヘシ之レ整理ノ主タル目的ノ一ナリ又人家ヨリ遠ク距レタル本地區ノ如キニ於テハ交通運搬ノ便ヲ圖ルヲ最モ肝要ニシテ之カ爲メニハ農車ノ牽引ニ差支ナキ

次ケノ道路ヲ適宜ニ配置シ一面舟楫ノ便ヲ得ンカ爲メニ惡水路ノ幅員並ニ其深サヲ増シ舟車ノ聯絡并ニ海湖ノ干満ニ依テ外海トノ聯絡ヲモ保タシムルノ方法ヲ講スルヲ勞力節減上多大ノ得益タルヤ明ナル事實ニシテ之レ同シク整理ノ主タル目的ノ一ニ外ナラス其他區劃ヲ擴大シテ包容面積ヲ大ナラシメ其形狀ヲ整理ニシ牛馬耕ニ適セシムル如ク改善ヲ加フルハ又其整理ノ目的タルヲ失ハサルナリ

發起ノ手續

本地區ニ於テハ從來ヨリ一ツノ組合ヲ組織シ總代一名ヲ置キ新田ニ關スル金錢ノ出納其他一切ノ事務ヲ取扱ハシメツ、アルヲ以テ右組合會ニ於テ協議ノ上決定セル事項ニ付テハ固ヨリ一名ノ異論者アルノ理由ナク從テ耕地整理ノ同意證ノ如キ又一名トシテ不同意ヲ稱フル者ナシ故ヲ以テ明治三十七年十二月各種ノ手續ヲ終へ本縣農會ニ向ツテ測量設計ノ補助ヲ申請セリ本縣農會ニ於テハ翌三十八年八月技術員ヲ派遣シテ測量ニ着手シ翌三十九年一月全ク設計書及圖面ノ調製ヲ終リ之ヲ出願人ニ交付セリ國有地ノ編入認可申請書ハ三十八年九月一日ヲ以テ本縣知事ニ提出シ同年十二月廿八日ヲ以テ認許ヲ得タリ
耕地整理ニ付テハ縣下ニ類例少ナク當事者亦全ク經驗ニ乏シク殊ニ書類ノ調製ニ關シテハ整理法以外ノ法律ト關係スル處多ク總テ縣當局者ノ指揮ヲ仰ケリ

認可

發起認可申請書ハ明治三十九年二月廿六日付ヲ以テ之ヲ提出シ同年六月十八日付ヲ以テ農商務大臣ノ認可ヲ得タリ其發起人ノ氏名左ノ如シ

- 名 倉 庫 吉
- 杉 浦 忠 七
- 三 矢 傳 七
- 杉 浦 茂 平
- 中 川 庄 五 郎

而シテ明治三十九年七月廿九日ヲ以テ第一回創業總會ヲ開キ滿場一致ヲ以テ議案ヲ決了シ同年七月廿七日付ヲ以テ施行認可申請書ヲ提出シ八月廿六日付ヲ以テ認可ヲ得タリ

四、整理施行

整理費用ノ調達

縣農會ニ於テ設計シタル整理費用豫算ハ左ノ如シ

- 一金壹萬四千百六拾六圓貳拾錢參厘

發起及整理費用豫算額

科 目	金 額	説 明
第一款 創 業 費	三〇〇,〇〇〇	發起ニ關スル諸費
第二款 工 事 費	一三,〇〇六,二〇三	
第一款 土 工 費	一二,八九三,九八八	
第一目 通路溝渠吐新設費	六,一二,九九二	別紙仕様書ノ通
第二目 全廢除埋立費	九四,二七二	全
第三款 測量及製圖費	七〇,〇〇〇	整理工完了后ノ測量 測量師五十八人一日五拾錢 人夫百人一日五拾錢
第四款 事務所費	二三五,〇〇〇	整理確定圖調製 製圖師三十人一日一人五拾錢
第二項 製 圖 費	一五,〇〇〇	
第三項 橋 梁 費	八二,六一〇	木橋費別紙仕様書ノ通
第四項 土 管 費	二九,六〇五	土管伏設費
第五項 測量及製圖費	七〇,〇〇〇	整理工完了后ノ測量 測量師五十八人一日五拾錢 人夫百人一日五拾錢
第六項 測量 費	五五,〇〇〇	整理確定圖調製 製圖師三十人一日一人五拾錢
第七項 製 圖 費	一五,〇〇〇	
第八項 事務所費	二三五,〇〇〇	整理確定圖調製 製圖師三十人一日一人五拾錢

第一項 整理委員報酬	一〇〇,〇〇〇	委員五名一人ニ付貳拾圓
第二項 旅 費	五〇,〇〇〇	
第三項 雇 人 費	三五,〇〇〇	事務所小使給料
第四項 消耗品費	三〇,〇〇〇	諸用紙筆墨薪炭油等
第五項 通信運搬費	二〇,〇〇〇	郵便電信料運搬費
第六項 會 議 費	五,〇〇〇	
第七項 作 耗 賠 償 費	五〇,〇〇〇	
第八項 雜 費	五〇〇,〇〇〇	
合 計	一四,一六六,二〇三	

以上ノ金額ヲ整理地面積ニ割當ツレハ其一反歩當リ金額ハ參拾七圓餘ニ相當シ其負担決シテ輕シトセス而カモ其費用運轉ノ狀況ニ至テハ壹錢ノ借入ヲ銀行ニ申込ミタルカ如キナク全然各自ノ出資ニ依リテ容易ニ成就シ得タルノ美事ハ實ニ感スヘキノ至リナリ本地方ハ前ニモ既ニ述ヘタルカ如ク從來數次不慮ノ天災ニ犯サレ之カ復舊修繕ノ爲メニハ毎回尠カラサル費用ヲ要セシニモ均ハラス人心ノ一致ハ常ニ一回ノ集會ヲ以テ直ニ協議一決シ組合總代ノ世話ノ下ニ資金忽ニ集マリ工事直ニ竣功ス

ルノ良習アルヲ以テ這回ノ整理ニ當リテモ協議ノ結果他ニ資金ノ供給ヲ仰カス規約ノ定率ニ依リ各自分額ノ負担ヲ甘諾出資シ而カモ短期間ニ比較的大工事ヲ完成スルヲ得タルハ實ニ他ノ模範トナスニ足ルヘキナリ

工事ノ概要

工事ハ豫定圖及設計書ニ基キ切取盛土ノ土坪ヲ計算シ運搬距離ノ遠近ヲ調査シタル後輕便軌道ヲ用ヒテ池沼ノ埋立及高所ノ切均ヲ行ヒ次ニ道路水路區劃ノ地割ヲ爲スト共ニ築設ヲ行ヒ次ニ畦畔ヲ築立テ最後ニ仕上ヲ行フモノニシテ橋梁其他附帶工事ハ各其場所ノ屬スル工事ニ伴フテ施スコト、シ當初三ケ年間ノ繼續事業ナリシモ整理委員其他一般關係者ノ非常ノ奮勵ニ依リ僅ニ一期間ヲ以テ竣功スルヲ得タリ即起工ハ三十九年十月一日工事完了ハ翌四十年五月ナリ以テ其異常ノ勉勵ナルヲ知ルニ難カラズ

用水路ハ幹線支線ノ二種ニ區別シ幹線ハ地區ノ周圍ヲ繞レル從前ノ水路ヲ使用シ總田反別參拾壹町步餘ヲ灌溉スルヲトシ支線ハ皆之ヨリ分岐シテ直接耕地ニ灌溉スルモノナルカ故ニ何レモ區劃ノ短邊ニ沿ハシメ地形勾配ニ依リ各四町步乃至七町步宛ヲ灌溉スルヲトセリ

惡水路ハ從來ノ溜溜ヲ使用スルノ外各區劃ノ短邊ニ沿ハシメ用水路ト四拾間ヲ距テ

テ並行ニ設ケ疏水ノ用ニ供シタルモ尙惡水路ハ舟楫ノ便ヲ兼有スルヲ最モ必要ノ區域ナルニ依リ何レモ計算以外ニ多少ノ幅員ヲ廣メタリ

道路ハ農車ノ搬入スルコトヲ得ヘキモノナカリシヲ以テ甚タ不便ヲ感セシカ爲メ各用水路ニ沿フテ幅員四尺八寸ノ道路ヲ配置シテ用水



大岡新田耕地整理委員

五間長四十間ノ長方形包面積二反步ニ計畫シタリ本地方ハ前ニモ已ニ述ヘタルカ如ク勞力ノ供給充分ナラサルニ加ヘテ更ニ農家ト耕地トノ距離甚タ遠キヲ以テ從來

幹線ニ沿ヒタル舊道路ニ連絡セシメ尙幅員四尺二寸ノモノヲ中央部南北ニ貫通築造シテ通行ニ便セシメタリ
區劃ハ幅十五間長サ四

多大ノ不便ヲ感シタル所ナリ故ニ整理后ハ勉メテ其不便ヲ除キ勞力ノ節約ヲ期スル
ヲ頗ル肝要ノ事ニ屬スルヲ以テ將來牛馬耕其他勞費節減ノ方法ヲ容易ニ講スルヲ
得ヘキ爲メ區劃モ特ニ擴大スルヲトセリ尙其必要ニ應シテハ便宜長邊ニ沿ヒタル畦
畔ヲ除去スルニ於テハ更ニ包容面積ヲシテ二倍三倍ノ大サニ擴大セシムルヲ容易ナリ
畦畔ハ單ニ笹ヲ界シ水ヲ支持スルノ用ニ供スレハ可ナルカ故ニ幅一尺二寸高六寸ニ
築キタリ

整理委員

整理委員ハ發起人ト同様ニシテ一人ノ異動モナク眞面目ニ事業ヲ經營進行シタリ而
シテ事務分担ハ次ノ如シ

委員長	名倉庫吉
庶務掛	杉浦茂平
會計掛	杉浦忠七
工事掛	杉浦忠七
全	三矢傳七
全	中川庄五郎
全	高須平太郎
全	高須松太郎

精勤功勞者

整理委員杉浦忠七杉浦茂平ノ両氏ハ村内屈指ノ名望資産家ナリ嘗テ北濱惡水普通水
利組合ニ於
テ惡水路ノ
改鑿ヲ計畫
スルヤ両氏
ハ其成績充
分ナラサル
ヘキヲ憂ヒ
極力反對ヲ
試ミタリシ
カ其後將監
用水ノ改鑿
及低地ノ埋
心其職務ニ執掌シ整理中ハ殆ト一家ノ私事ヲ拋棄シテ一意専心事業ノ爲メニ全力ヲ
傾注シ又參加土地所有者中倉内矢七杉浦芳三郎兩氏ハ熱誠ヲ以テ工事係ヲ援ケ協心



整理委員 杉浦忠七氏

立等ヲ行ヒ
タル結果成
績佳良ナル
ヲ見ルニ至
リ爾來進シ
テ改良事業
計畫ノ衝ニ
當リ特ニ這
回ノ整理事
業ニ對シテ
ハ委員長總
轄ノ下ニ熱

戮力見事ニ工事ノ完成ヲ遂ケシメシハ實ニ感スルニ餘アリ
 杉浦忠七氏ハ性質粗朴ニシテ膽力アリ直言敢行長者ト雖モ屈スルコトナク已カ所信ヲ
 斷行スルノ人ニシテ一旦人ノ依頼ヲ受クルトキハ自己ノ損害ヲ顧ミス誠意ヲ以テ幹
 旋スルノ美質ヲ有セリ彼ノ十三年間新田總代トシテ能ク鄉黨ノ爲メニ尽力シ終始變
 サル行動ハ確カニ衆ノ模範トスルニ足リ深ク全般ノ信頼ヲ受クル所ニシテ地方民ハ
 一ベカ忠ナル字ヲ附シ常ニ全氏ノ義侠心ニ富メルヲ稱揚シ居レリト云フ(ベカハ方言ニ
 シテ世話好キノ意)

五、工事完了

本整理地區ハ面積ノ小ナル割合ニ土工ノ困難ナル所ナルニモ拘ハラズ參加土地所有
 者全部ノ同意ニ依リテ成立シタル區域ナルヲ以テ能ク共同一致ノ實ヲ舉ケ整理委員
 其他全般ノ熱心尽力ニ依リ起工以來僅ニ八ヶ月ノ短期間ヲ以テ全ク竣成セシムルヲ
 得タリ元來本地方ハ前ニモ數々述ヘタルカ如ク不測ノ天災ニ侵サレタルコト一再
 ニシテ止マラス其都度村民ハ復舊修繕ノ爲メ土工ニ從事シ輕便軌道ノ如キハ既ニ數
 年前ヨリ購入使用シ幾多ノ經驗ヲ有スルヲ以テ這回ノ整理ニ對シテモ比較的手際良
 ク成功セシムルヲ得タルハ誠ニ本地方ノ爲メ深ク幸トスル所ナリ

今發起ヨリ竣工ニ至ル迄ノ費用ヲ精算スレハ左ノ如クニシテ尙此外ニ換地交付地價、
 配當登記申請等ニ要スル費用ヲ多少加算セサル可ラサルモノハ極メテ僅少ニテ足ル
 カ故ニ殆ト決算額ト見做シテ大差ナキ見込ナリ

大岡新田耕地整理費精算書

一金壹萬四千〇七拾六圓參拾壹錢

內 譯

科 目	豫 算 額	說	明
第一款 創 業 費	二五〇,〇〇〇	發起ニ關スル諸費	
第二款 工 事 費	一二,八二八,八一〇		
第一項 土 工 費	一二,六五六,六〇〇		
一目 道路溝渠新設費	八三七,二四〇		
二目 全上廢除埋立費	七七,六二〇		
三目 地 盤切下盛立 地均費	一一,七四一,七四〇		
第二項 橋 梁 費	一四二,六〇〇		

第三項 土管費	二九、六一〇	
第三款 事務所費	四八二、五〇〇	
第一項 整理委員報酬	一〇〇、〇〇〇	廿五圓二人 拾五圓二人 七圓二人 六圓一人
第二項 旅費	五五、〇〇〇	名古屋西尾行ニ對シ支拂ヒタル金額
第三項 雇人費	貳六二、五〇〇	雇人夫七百五拾人一人ニ付金參拾五錢宛
第四項 消耗品費	四五、〇〇〇	諸用紙、筆、墨、薪、炭、油、着手ヨリ竣工マテ
第五項 通信運搬費	二、〇〇〇	郵便電信運搬費
第四款 會議費	一五、〇〇〇	總會二會ノ賄料
第五款 雜費	五〇〇、〇〇〇	四百四拾圓四拾錢換地價交付ノ賄價金五拾四圓九拾九錢竣 工式ノ諸費

竣 工 式

本耕地整理地區ハ三十九年十月工ヲ記シ翌四十年五月全ク工事ヲ終ヘタルヲ以テ共
年七月廿五日ヲ以テ芽出度竣工式ヲ舉クルノ運ニ至レリ式場ハ地區ノ東南ニ接シタ
ル村社ノ境内ヲ以テ之ニ充テ正面ニ祭壇ヲ設ケ神饌ヲ供ヘ神官ノ祭文朗讀ニ續テ委
員長及來賓ノ禮拜アリ終テ委員長ノ事業報告演說來賓ノ祝辭演說整理委員ノ答辭ヲ

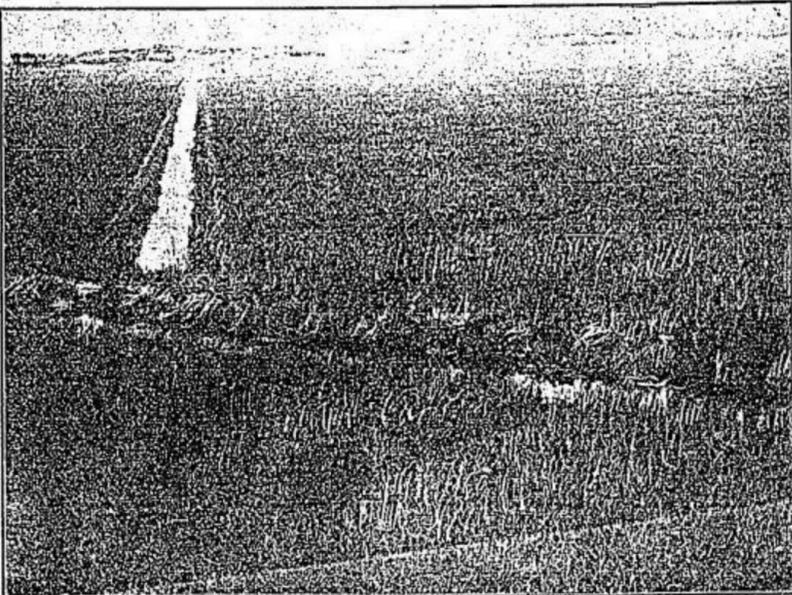
以テ式全ク了リテ告ケ直ニ地區ノ西北
隅ニアル事務所ニ於テ一同祝杯ヲ舉ケ
無事成工ヲ慶賀シタリ

當日ノ來賓ハ鈴木本縣事務官、木原幡豆
郡代理、西尾稅務署長、各町村長等ニシテ
同日知事及郡長ノ祝辭ハ左ノ如シ

深野本縣知事ノ祝詞

幡豆郡一色村大字細川字大岡新田耕
地整理完成ヲ告ケ茲ニ本日ヲトシ竣
工ノ式與テ舉行セラル惟フニ耕地整
理ノ事業タルヲ農事改良ノ本源ニシ
テ効果ノ最モ顯著タルモノタリ然レ
モ之レカ起工ニ際シテハ幾多ノ事情
ノ纏綿シ許多ノ紛議ノ湧出スルハ往
々見ル所ノ弊ニシテ中途挫折ノ不幸
ニ陥ルモノ多クハ之ニ起因ス本地區

大岡新田耕地整理實景



第五章 幡豆郡一色村大字細川大岡新田耕地整理成績

ニ於ケル當業者諸氏ハ忍耐以テ克ク是等ノ艱難ヲ排除シ電勉以テ本日ノ成功ヲ致シ灌溉排水ノ利運搬耕耘ノ便共ニ之ヲ享受スルノ幸福ヲ擔フコトヲ得タルハ大ニ慶賀スヘキコトナリトス今ヤ國家カ農産ノ改良ニ待ツ一層切ナルモノアルト共ニ耕地整理ノ如キハ其最モ適切ナル事業タルヲ信ス希クハ農家諸氏銳意奮勉以テ整理ノ目的ヲ完フシ國力ノ充實ヲ圖リ以テ農事改良ノ好模範ヲ示サレンコトヲ一言以テ祝辭トス

明治四十年七月廿五日

愛知縣知事 深野 一三

木原幡豆郡長ノ祝辭

輓近農事ノ改良ハ頗ル見ルヘキモノアリト雖モ畢竟個々枝葉ノ發達ニシテ未タ以テ根本的改善行ハレサルハ甚遺憾トスル處ナリ根本的農事ノ改善トハ何ソヤ耕地整理ノ事業即チ之レナリ抑モ耕地整理ノ事業タルヤ灌溉排水ノ便ヲ主眼トスルアリ不毛地ノ有用ヲ目的トスルアリ區別ノ修整ヲ要トスルアリ其目的ニ於テ諸種ノ區別アリト雖モ要スルニ地力ヲ増進シテ生産ヲ助長セシムルニ他ナラス然リ而シテ如斯至便至利ナル事業モ之ヲ遂行スル上ニ於テ幾多困難ノ伴フアリテ容易ニ實施ノ運ニ至ラサルハ比々皆然リ本郡ノ如キ既ニ着手中ノモノ及計劃セラル、モ

ノ少ナカラスト雖モ未タ容易ニ實行完了セルモノアラサルハ皆之カ爲ナリ然ルニ當耕地整理區ハ委員諸氏ノ勵精ト參加土地所有者ノ熱心トニ依リ能ク百難ヲ排シテ事ニ當リ其經營宜シキヲ得今ヤ土工全ク竣リヲ告ケ茲ニ成工ノ式典ヲ舉クルニ至レリ之レ本郡ニ於ケル斯業ノ嚆矢トス就テ之ヲ見ルニ能ク當初ノ目的ヲ貫徹シテ亦間然スル處ナシ希クハ自今之レカ利用ヲ完全ニシ以テ有終ノ美果ヲ收メ他ノ模範トナラントコトヲ式ニ臨ミ一言以テ祝辭トス

明治四十年七月廿五日

幡豆郡長 木原勝太郎

本耕地整理ハ實ニ幡豆郡ノ嚆矢ニシテ其成績ノ優良ナルハ確ニ他ノ模範トスルニ足ルヘク又關係者全般ノ圓滿一致モ亦他ニ多クノ類例ヲ見サル所ナリ斯ク衆心ノ容易ニ一致結合スルノ美風ハ特ニ整理ノ利益ノ著シキヲ以テノ故ノミニアラズシテ其因テ來ル所ノ原因早ク已ニ萌芽シツ、アル所ナリ是レ從來本新田内申合ニ係ル總代取締ノ設ケアリテ總代ノ意見指揮等ハ能ク全般ニ重セラレ且ツ行ハレタル多年ノ良習アリ明治十二年以來中川庄八高須勘七倉内彦五郎杉浦常八前田彦三郎杉浦忠七ノ諸氏交互ニ總代ノ職ニ就キ殊ニ杉浦忠七氏ノ如キハ二十七年ヨリ三十九年ニ至ル十三年間總代トシテ新田ノ爲メ郷黨ノ爲メ大ニ盡瘁スル所アリシヲ以テ人質大ニ親和シ來リ這回ノ整理ノ如キ當初ヨリ一名ノ異議批難ヲ唱フルモノナク圓滿ナル熟議ノ后

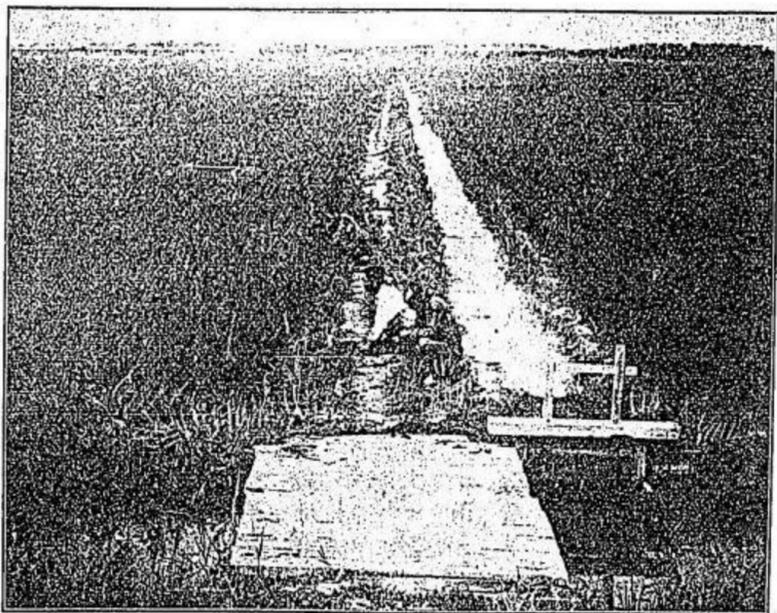
議決スルヤ異常ノ精力ヲ以テ邁進奮勵能ク短期間ニ全部ノ工事ヲ完成シ得タリシハ其因由決シテ偶然ニアラサルヲ知ルヘシ

六、整理後ノ状態

收穫ノ増加

整理後ハ悪水ノ排除良好トナリ潮害ヲ受クルノ之ナキヲ以テ生産最モ安全トナリ且ツ用水道路ノ便之ニ伴ヒ加フルニ耕地面積大ニ増加シタルヲ以テ直接ニ收穫ノ増加シタルヲ實ニ多大ナルモノアリ今實際ノ調査ニ係ル生産ヲ整理ノ前後ニ依リ比較計上スレハ左ノ如シ

作物ノ種類	整理前		整理後		差引利益
	反別收量	反別額	反別收量	反別額	
田	三三三三	四、五、六、七	三、三、三、三	三、三、三、三	
米	二、六、七、八	一、二、三、四	二、六、七、八	一、二、三、四	
畑	一、九、二、三	一、二、三、四	一、九、二、三	一、二、三、四	
池沼・漁獲	一、九、二、三	一、二、三、四	一、九、二、三	一、二、三、四	
計		五、二、三、四		三、八、九、〇	一、三、四、五



大岡新田耕地整理地景實景

第五章 橋豆郡一色村大字細川大岡新田耕地整理成景

即年々ノ生産増加ハ七千余圓ノ多額ニ上リ整理費用ノ約五割四分余ニ相當スルカ故ニ二ケ年間ノ增收ヲ以テ優ニ資金ノ全部ヲ回收シ得ルノ好成绩ヲ得タリ以テ關係者ノ滿悦ノ程推知スルコトヲ得ヘシ

勞力ノ節減

前述セルカ如ク本地區ハ道路ノ據ルヘキモノナク水路ノ適當ナル連絡ヲ欠ケルノ結果舟車ノ便共ニ充分ナルコト能ハス加之區割不整ニシテ齊一ナラス池沼甚タ多キカ爲メニ通行ヲ阻害セラレシコト甚タ少カラザリシカ整理後ハ是等ノ欠点ヲ改善シ通路ハ農車ノ單行自由ナル幅員ノモノヲ八拾間ノ距離ニ配置シ害水路ハ總テ

田舟ヲ通スヘキ幅員トシテ上幅八尺ノモノヲ八拾間ノ距離ニ道路ト相互ニ並行シテ築設シ區劃ハ包容面積ニ反歩ヲ標準トシテ劃定シタル故ニ交通運搬ノ便益ヲ收メタルヲ實ニ多大ナルト共ニ耕作上ニ費ス所ノ勞費モ亦著シク節約スルヲ得タリ即本地區ハ一ノ新田ニシテ農家ヲ離ルコト十町餘ノ遠キニアリ栽培耕耘其他全般ノ管理ニ對シテハ一々其農家ヨリ往復セサルヘカラス而シテ新田内ニハ舟車ノ便ナキヲ以テ地區ノ入口ニ農車ヲ停メ置キ肥料收穫物等ハ一々人力ニ依リテ負擔出入セサル可ラス然ルニ整理后ハ各區劃共舟車連絡ノ便自由ナルヲ以テ單ニ交通運搬ノ点ニ於テノミ約五割ノ勞力ヲ節約スルヲ得タリト云フ

又整理后ハ水濕ノ害ナク區劃擴大セラレタルヲ以テ牛馬耕漸次盛ントナリ牛馬ヲ飼養スルモノ逐次増加ノ傾向アリ今田ノ打起整地等ノ仕事ニ對シ人力ト畜力トヲ比較スルニ人力ナレハ一反歩貳圓ノ勞費ヲ要シ畜力ナレハ壹圓五拾錢ヲ要スルニ過キスト云フ

灌溉排水ノ便

從來最モ困難ヲナシタルハ水利ノ便甚タ惡シキニアリ故ニ潮水ノ浸入ニ對シテハ潮止堤ヲ完全ニ築造シテ氾濫浸漏ヲ防キ地盤ヲ高上平均シテ惡水ノ停滯ヲ除キ用水惡水ハ各其使用ノ目的ニヨリテ之ヲ區別シ用水ハ道路ニ沿フテ八拾間ノ間隔ヲ以テ區劃ノ短邊ニ配置シ惡水ハ田舟ノ通行ニ差支ナキ幅員ノモノトシテ八拾間ヲ隔テ、用水ト並行シテ他ノ短邊ニ沿ハシメタルヲ以テ灌溉排水共ニ非常ノ利便ヲ得從來ノ如ク畦越ニ水ヲ灌排スルカ如キ不便ナク何レノ區劃ト雖モ直接ニ用水路ヨリ用水ヲ導キ又直接ニ餘水ヲ排除スルヲ得ルカ故ニ栽培管理ノ上ニ於テ多大ノ利益ヲ收ムルヲトナレリ

増 耕 地

本地區ハ總面積僅ニ三拾七町七反八畝步余ニ過キサルモ從來池沼ノ如キ不生產地甚タ多キニ反シ整理后ハ生產地ノ増加實ニ著シキモノアリ整理前ハ田畑合計反別貳拾貳町五反三畝二十四步ニ對シ整理后ノ田畑反別ハ參拾參町一反一畝二十八步余トナリ差引拾町五反七畝步余ノ増耕地ヲ得ルヲトナレリ

今整理ノ前後ニ依リ各地目別土地ノ面積ヲ較示セハ次ノ如シ

地 目	整理前ノ土地	整地后ノ土地	差 引
田	三三、二二六	三二六、七二六、 _五	増 二八四、六〇〇、 _五
畑	一九三、二二八	一四、三三二、 _二	減 一七八、八〇五、 _八
池 沼	一三八、七二五	一九、四一三、 _九	全 一一九、三〇一、 _一

用水悪水	三、一三三	一四、七三三、一	増	一一、六〇〇、一
畦畔	二〇四	三、八二二	全	三、六〇八
神社境内	五二〇	一	減	五二〇
道路	九、七二七	六、三〇一	全	三、四一六
堤防	一	三、七〇七	増	三、七〇七
合計	三七七、八〇三	三七九、二二四	全	一、四一一

整理地時價ノ騰貴

整理前ニ於テハ一反歩ノ賣買價格平均五拾圓ナリ而シテ整理后ニ於テハ一反歩平均二百參拾圓即チ殆ソト五倍ノ上騰ヲ見ルニ至レリ之レ日露戰役後一般物價ノ騰貴セルモ其一原因ナルヘシト雖モ主トシテ收穫ノ増加著シキト共ニ生産極メテ安全トナリ灌溉排水ノ利耕耘通行ノ便併セ收メタルノ結果ニ因ルモノニシテ附近未整理地ニ比シ遙ニ上位ノ價格ヲ占ムルニ至レリ

七、土地評價及換地交付

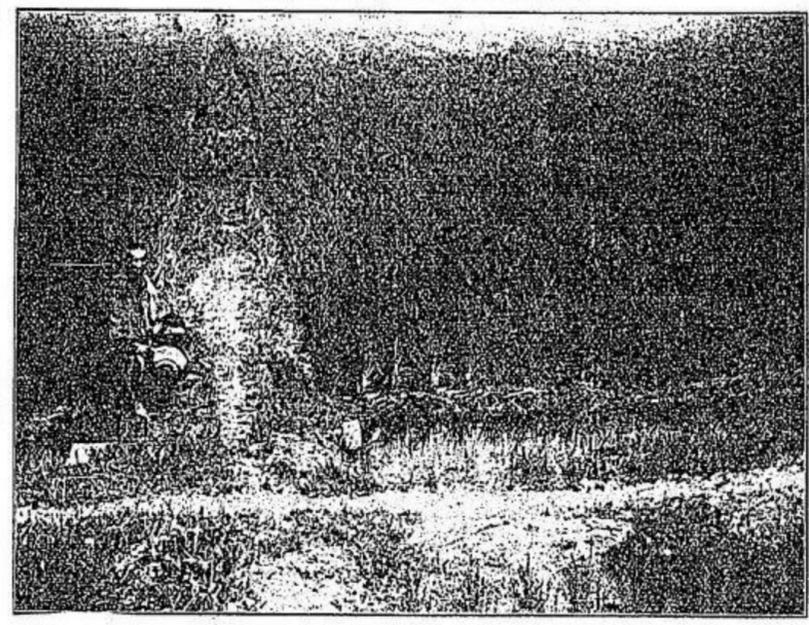
土地評定ノ方法ハ先ツ地區内ニ於テ二三ノ標準地ヲ撰定シ各筆毎ニ其標準地ト對照

シテ合議ノ上之ヲ定メタリ
換地ハ未タ正式ニ交付ノ手續ヲ履行シタルニアラスシテ目下仮渡中ナリ
仮渡ノ方法ハ最初舊形圖上ニ豫定線ヲ畫キ其豫定區劃内ニ最も多ク所有地ノ存在スル者ニ對シテ其新區劃ヲ交付スルノ方法ニシテ從前ノ土地ト仮換地トノ間ニ生スル反別等位等ノ差異ハ控米ヲ以テ精算シツ、アリ

八、地價配當及登記申請

本地區ニ於テハ未タ地價ノ配當ヲ行ハス從テ登記ノ申請モ未済ナリ目下夫々調査中ニ屬スルモ地價ハ平均一反歩僅カニ七圓位ノ見込ナリ

景實ノ茂繁作稻地理整地耕



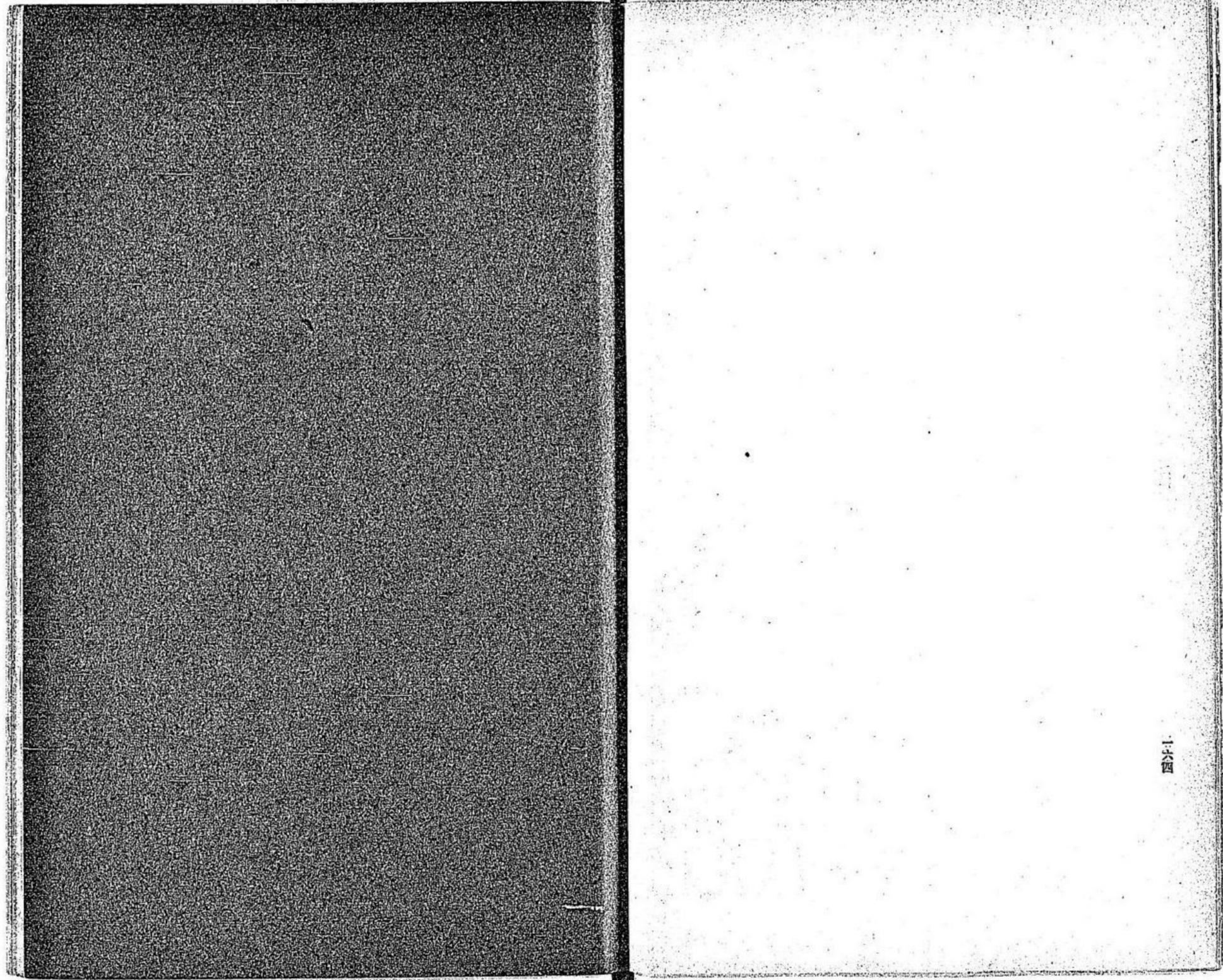
九、整理地ノ維持管理方法

新田ハ新田總代ニ於テ管理スル從來ノ習慣ニ基キ整理后ノ土地モ亦總代ニ於テ維持管理ノ責ニ任スルコト爲シ居レリ故ニ新田總代ハ時々地區内ヲ巡視シ破損其他手入ヲ要スヘキ個所ヲ發見シタルトキハ其都度總代ニ於テ修繕ヲ加ヘ置ケリ

十、整理ニ對スル關係者ノ意見

本地區ニ於ケル工事ノ結果ハ實ニ偉大ナル効果ヲ表ハシ收穫ハ從前ニ比シテ殆ント倍加シ耕耘管理共ニ非常ノ利便ヲ享クルコトナリ地位著シク上進シタルヲ以テ地主ノ喜悅一方ナラス續々附近ノ耕地ニ對シ整理ヲ企畫セントスルノ狀勢ヲ示スニ至レリ
又小作者ニ於テモ耕作ニ費ス所ノ勞力大ニ節減セラレ水ノ灌排意ノ如ク行ハレ收穫極メテ安全且ツ増加シタルヲ以テ多少小作料騰貴シタルニ均ハラス一同喜ンテ耕作ニ従事スル有様ナリ今整理前后ニ於ケル小作料額ヲ比較スレハ左ノ如シ

整理前ニ於ケル小作料		整理後ニ於ケル小作料	
等級	田畑	等級	田畑
一等	七二〇 ^石	一等	八二〇 ^石
二等	六九〇	二等	七九〇
三等	六六〇	三等	七六〇
四等	六三〇	四等	七三〇
			六三〇 ^石



附 錄

告示號外

耕地整理及土地改良獎勵規程左ノ通り相定ム

明治三十九年七月三十一日

愛知縣知事 深 野 一 三

耕地整理及土地改良獎勵規程

- 第一條 耕地整理法ニ基キ本縣内ニ於テ耕地ノ整理ヲ施行セントスルモノ及灌溉排水其他土地改良ノ目的ヲ以テ其設備ヲ爲サントスルモノアルトキハ當事者ノ申請ニ依リ其地區ノ測量並ニ設計ヲ爲スモノトス
- 第二條 本規程ニ依リ測量設計ヲ申請セントスル者ハ其以前發起人ヨリ第二號書式ノ願書ニ略圖ヲ添付シ其豫定地ノ實地踏查ヲ申請スベシ
- 第三條 整理豫定地ニシテ實地踏查ノ結果適當ノ地區ト認メラレタルモノハ第一號書式ニ依リ測量設計ヲ申請スベシ
- 第四條 土地改良地ニシテ實地踏查ノ結果適當ノ地區ト認メラレタルモノハ關係土地所有者三分ノ三以上ノ連署ヲ以テ第三號書式ニ依リ測量設計ヲ申請スベシ但町

附 錄

村又ハ組合等ノ事業ニ屬スルモノハ申請書ニ關係議事機關ノ決議議事録ヲ添付スヘシ

第五條 實地踏査並ニ測量設計ニ要スル總テノ費用ハ縣費ヲ以テ之ヲ支辨スルモノトス

第六條 測量設計ヲ了リタルキハ設計書ヲ調製シ之ヲ申請者ニ交付スルモノトス

第七條 前條ノ設計書ハ法律命令若シクハ法令ノ規程ニ基ク主務官廳ノ命令ニ依ル外承認ヲ經ルニアラサレバ之ヲ追加變更スルコトヲ得ス

第八條 第六條ニ依リ設計書ノ交附ヲ受ケタル者ハ其設計書ニ定メタル豫定期ニ於テ工事ヲ完了スヘシ

第九條 工事施行中ハ隨時本縣技術員ヲシテ其施工方法ヲ監督指導セシム

前項ニ依リ監督指導スヘキ事項ノ要領左ノ如シ

一、所定ノ設計ニ對スル施行ノ適否

二、工事施行ノ方法

三、材料ノ檢査

四、工 程

五、施行事務整理ノ狀況

六、其他重要ナル事項

前項ノ監督指導ニ對シテハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條 工事ノ種類復雜困難ニシテ特ニ場所付監督ノ必要アルトキハ起業者ニ於テ其必要ナル事由ヲ詳具シ監督員ノ派遣ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ニ對シ其必要ヲ認メタルモノハ特ニ監督員ヲ派遣スルコトアルベシ此場合ニ於テハ監督員ノ出張ニ要スル費用ハ起業者ニ於テ負擔セシムルコトアルベシ

但俸給ハ此限リニアラス

第十一條 測量設計中申請者ニ不都合ノ行爲アリト認メタルトキハ其測量設計ヲ中止若クハ廢止シ其既ニ要シタル費用ハ申請者ヲシテ之ヲ辨償セシム

第十二條 申請者ニ於テ設計書ヲ受ケタル後正常ノ理由ナク本規程ノ條項ニ違背シ又ハ工事ヲ廢止シタルトキハ測量設計ニ要シタル費用ノ全部又ハ其幾部ヲ申請者ヨリ辨償セシムルコトアルベシ

第十三條 本規程ニ基キ提出スヘキ書類ハ所轄郡市役所ヲ經由スヘシ

附 則

第十四條 本規程ハ明治三十九年八月一日ヨリ施行ス

附 錄

(第一號書式)

耕地整理(土地改良地)實地踏查願

一、整理地區所在地 (土地改良地所在地)

二、整理豫定地面積 (土地改良目的及關係地區面積)

今般前記ノ土地整理改良致度候間實地御踏查相成度地形零圖相添へ此段及申請候也

住所

發起人 連

署

年月日

(町村又ハ組合等ノ事務ナルトキハ其管理人名)

知事宛

(第二號書式)

耕地整理地區測量設計願

一、整理地區所在地

二、整理地區總面積

三、整理地區地價總額

四、土地所有者總數

一、同意證(町村長ノ證明アル勝手ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得)前記ノ土地農ニ實地御踏查相受候處今般測量設計相成度御許可ノ上ハ明治三十九年本縣告示號外耕地整理及土地改良獎勵規程ノ條項堅ク遵守可致同意證相添へ此段及申請候也

住所

發起人 連

署

年月日

知事宛

(第三號書式)

土地改良事業設計願

一、改良地所在

二、關係總面積

三、土地所有者總數

四、改良ノ目的

(排水灌溉)

五、起業者ノ種別

(水利組合共同又ハ個人)

六、工事着手豫定時期

(何年何月何日以内ニ着手)

附 錄

一、工事竣成豫定期 (着手ヨリ何日竣成)
右ハ曩ニ實地御踏查相受候處今般測量設計相成度御許可ノ上ハ明治三十九年本縣告示號外耕地整理及土地改良獎勵規定ノ條項堅ク遵守可致(議事録相添へ)此段及申請候也

年 月 日

住 所

發 起 人 連

署

(町村又ハ組合等ノ事業
ナルトキハ其管理署名)

知 事 宛

耕地整理法

第一章 總 則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ其所有者共同シテ土地ノ交換若シクハ分合區劃形狀ノ變更道路堤壩畦畔溝渠溜池等ノ變更廢置及之レニ伴フ灌溉排水ニ關スル設備并ニ工事ヲ行フヲ謂フ
第二條 第五條第九條第十條第十二條乃至第十六條第二十六條第三十條乃至第三十

二條及第五十一條ノ規定ハ一人ニシテ其所有地ノ整理ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス
第三條 耕地ニシテ特別ノ價值用途アル土地及耕地ニアラザル土地ハ其ノ所有者ノ同意アルニアラザレハ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス
前項ノ土地ニシテ其所有者ノ同意ナキト雖モ整理ノ施行ニ必用ナルトキハ其全部又ハ一部ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得
但府縣郡市町村其他公共團體ノ公用ニ供スル土地宅地名勝地舊蹟地古墳墓地墳墓地社寺境内地鐵道用地及軌道用地ハ此限リニアラズ
第四條 建物アル宅地又ハ鐵道用地ハ其建物ノ所有者及登記ヲ爲シタル第三權利者ノ同意アルニアラザレバ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス
第五條 御料地國有地又ハ官ノ用ニ供スル土地ハ主務官廳ノ認可アルニアラザレバ之ヲ整理地區ニ編入スルコトヲ得ス
第六條 整理施行ヲ發起セントスルモノ又ハ整理委員市町村長ノ證明ヲ得テ整理地區ヲ管轄スル登記所土地台帳所管廳又ハ市役所町村役場ニ對シ無償ニテ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得
第七條 參加土地所有者ハ整理施行中其ノ土地ヲ利用スルコト能ハザルモ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

附 錄

但整理施行ノ爲メ溝渠堤塘又ハ道路ノ敷地ニ充テタル土地ニ付テハ規約ヲ以テ補償ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八條 整理施行ノ爲メ必要アルトキハ整理地區内ノ工作物木石等ヲ移轉シ又ハ破毀スルコトヲ得但之レニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スベシ

第九條 整理地區ニ編入シタル土地ヲ讓受タルモノハ整理ニ關シテ其讓渡人ノ有スル一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十條 整理施行ノ爲メ國有ニ關スル溝渠堤塘道路等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタル場合ニ於テ其不用ニ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ參加土地所有者ニ交附ス

整理地區内ニ開設シタル溝渠堤塘道路等ニシテ前項ノ規定ニ依リテ廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十一條 參加土地所有者ニハ從前ノ地目面積等位等ヲ標準トシ換地ヲ交附スベシ但地目面積等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ從前ノ土地ト換地トノ價格ノ差ハ金錢ヲ以テ之ヲ清算ス

數筆ノ土地ヲ分合シテ換地ヲ交附スル場合ニ於テハ其ノ換地ハ各筆毎ニ之ヲ割當ツベシ

第十二條 整理地區ニ市町村以上ニ涉ル場合ニ於テ換地トシテ交付スルニ筆ノ土地

ハ二市町村以上ニ涉ルコトヲ得ス

第十三條 整理施行中土地ノ區劃形狀ノ變更及道路畦畔若シクハ溝渠等ノ變更廢置ハ地目變換又ハ開墾ト看做サス

第十四條 整理地區ニ編入シタル土地ノ地租ハ其地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スルマテ從前ノ地域地目地價ニ依リテ之ヲ徵收ス

第十五條 整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第十六條 整理施行ヲ爲シタル爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

第十七條 本法ニ於テ參加土地所有者ト稱スルハ整理地區内ニ於テ第五條ノ土地ニアラザル土地ヲ所有スル者ヲ謂フ

第十八條 整理地區ノ屬スル市町村及其ノ隣接市町村ニ住所ヲ有セザル參加土地所有者ハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル者ニ委任シテ整理施行ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理セシムルコトヲ得

參加土地所有者前項ノ代理人ヲ定メタルキハ發起人又ハ整理委員ニ其氏名住所ヲ通知スベシ代理人ハ二人以上ノ參加土地所有者ヲ代理スルコトヲ得ス

第十九條 發起人又ハ整理委員ハ第二十二條第二十六條第四十條及第四十八條ノ認可アリタルトキハ其旨ヲ公告シ且ツ之ヲ第四條ニ依ル建物所有者及土地又ハ建物ニ付登記ヲ爲シタル第三權利者ニ通知スベシ第三十條乃至第三十二條ノ命令アリタルトキ亦同シ

第二章 發起及監督

第二十條 整理施行ヲ發起スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一、整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト

二、整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ面積整理地區ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

三、整理地區内ニ於テ同意者ノ所有スル土地ノ地價額整理地區ノ地價總額ノ三分ノ二以上ナルコト

前項ノ條件ヲ具備シタルトキハ發起人ハ整理施行ヲ發起スル旨ヲ市町村長ニ届出ベシ

第二十一條 發起人ハ發起ノ爲メ必要アルトキハ市町村長ノ認可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得但之レニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スベシ

第二十二條 發起人ハ設計書及規約ヲ作り地方長官ヲ經由シテ之ヲ農商務大臣ニ差

出シ發起認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、整理ニ依リテ得ベキ利益

二、整理施行ノ方法及順序

三、整理地區及之レニ隣接スル土地ノ現形圖

四、整理豫定圖

五、工事ノ着手及竣成ノ時期

六、整理費用及夫役ノ豫算

第二十四條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一、整理總會ノ招集及會議ノ方法

二、整理委員ノ員數職務及職務執行ノ方法

三、庶務ニ關スル規定

四、補償金評定ノ標準

五、發起及整理ノ費用並ニ夫役ノ賦課徵收方法

六、整理中土地使用ノ方法

七、換地割當及増歩地處分ノ方法

第二十五條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集シテ設計書及規約ノ議定ヲ求ムベシ

第二十六條 (改正削除)

第二十七條 整理施行ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創業總會ヲ招集スベシ此ノ總會ニ於テハ參加土地所有者整理委員ヲ互撰ス

第二十八條 參加土地所有者ハ整理施行ノ認可ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ス但第三條一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ所有者ハ認可公告ノ日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ訴願スルコトヲ得訴願ノ裁決前ニ於テハ整理工事ニ着手スルコトヲ得ス

第二十九條 整理施行ノ認可アリタルトキト雖モ第三條第二項ノ規定ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地アルトキハ認可公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過スルニアラザレバ整理工事ニ着手スルコトヲ得ス

第三十條 農商務大臣必要ト認メタルトキハ設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ又ハ整理施行發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第三十一條 設計書ニ定メタル工事着手ノ期限後十二ヶ月以内ニ工事ニ着手セザルトキハ農商務大臣ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第三十二條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ一時整理工事ノ停止ヲ命スルコトヲ得
第三十三條 農商務大臣ハ整理施行ニ關シ其職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第三章 總會

第三十三條 總會ハ參加土地所有者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十四條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ各參加土地所有者ニ通知ヲ發スヘシ前項ノ通知ニハ總會ノ目的及總會ニ於テ決議スベキ事項ヲ記載スヘシ參加土地所有者ハ前二項ノ手續ニ反シテ爲シタル決議ニ對シ異議ヲ述ブルコトヲ得但其決議ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ此限リニアラス

第三十五條 總會ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外整理委員之ヲ招集ス

第三十六條 參加土地所有者ノ五分ノ一以上ニ當ルモノ又ハ整理地區ノ總面積若シクハ地價總額ノ五分ノ一以上ニ當ル參加土地所有者ハ會議ノ目的及其理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ發起人又ハ整理委員ハ十四日以内ニ總會ヲ招集スベシ
第三十七條 各參加土地所有者ハ一個ノ議決權ヲ有ス

前項ノ規定ハ規約ヲ以テ一人ニ付二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ妨ケス但

其議決權ハ議決權總數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

一七八

第三十八條 整理地區ニ編入シタル土地數人ノ共有ニ屬スルトキハ其ノ共有者ハ參加土地所有者ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムヘシ

第三十九條 農商務大臣ノ命令ニ依ラスシテ設計書若シクハ規約ヲ變更シ又ハ整理施行ヲ停止若シクハ廢止セントスルトキハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

前項ニ依リ整理施行ノ停止若シクハ廢止ノ決議ヲ爲ストキハ同時ニ其停止若シクハ廢止後ノ處分方法ヲ決議スベシ

第四十條 前項ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十一條 創業總會ノ決議并第三十九條第四十七條及第五十三條ノ決議ヲ爲スニハ第二十條第一項ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

第四章 整理委員

第四十二條 整理委員三人以上ナルトキハ委員長一人ヲ互撰スベシ委員長ハ整理委員ヲ代表ス

第四十三條 整理委員ハ規約ニ定メタル職務ヲ執行スルニ付參加土地所有者ヲ代表ス

第四十四條 整理委員ハ設計書及規約ノ定ムル所ニ依リ整理工事ノ施行整理ニ關シテ生シタル債務ノ辨濟其他整理施行ニ關シ一切ノ事務ヲ處理スルノ責ニ任ス

第四十五條 整理委員ハ設計書規約書及總會ノ決議錄ヲ備ヘ置クベシ參加土地所有者及第三權利者ハ前項ノ書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條 農商務大臣ハ何時ニテモ整理委員ヲシテ整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條 整理工事完了シタルトキハ整理委員ハ第十一條ノ處分及増歩地ノ處分ニ關シ整理總會ノ決議ヲ經ベシ

第四十八條 前條ノ決議アリタルトキハ整理委員ハ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十九條 所有權ニ關スル訴訟ノ目的タル土地ヲ整理地區ニ編入シ又ハ整理地區ニ編入シタル土地所有權ニ關スル訴訟ノ目的ト爲リタル場合ニ於テ其土地ノ所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルベシハ整理委員ハ當事者ノ請求ニ因リ其金額ヲ供托スベシ

第五十條 整理施行ノ爲メ土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ整理委員ハ參加土地所有者ニ代リテ其手續ヲ爲スベシ

第五十一條 整理事業完了シタルハ、整理委員ハ事業報告書及收支決算書ヲ作り、整理總會ノ承認ヲ求ムベシ。整理總會前項ノ承認ヲ爲シタルハ、整理委員ハ遲滯ナク、地方長官ヲ經由シテ前項ノ書類ヲ農商務大臣ニ差出スベシ。

第五十二條 整理委員其職務ヲ終リタルトキハ、整理ニ關スル一切ノ書類ヲ市町村長ニ引渡スベシ。

前項書類ノ保存期間ハ農商務大臣之ヲ定ム。

第五十三條 整理委員ノ撰任及解任ハ總會ノ決議ニ依ル。

第五十四條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ、整理委員ノ改撰ヲ命スルコトヲ得。

第五十五條 整理委員ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ學術技藝アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得。協議員ハ總會ニ出席シテ意見ヲ述ブルコトヲ得。

第五章 第三權利者

第五十六條 第三權利者ハ整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ス。

第五十七條 換地ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外、從前ノ土地ニ關スル物件又ハ債權ノ目的タルモノトス。整理施行ハ從前ノ土地ニ關スル登記ノ順位ニ影響ヲ及ボサス。

第五十八條 整理地區ニ編入シタル土地ニシテ先取特權質權又ハ低當權ノ目的タル

場合ニ於テ其所有者第十一條ノ規定ニ依リ補償トシテ金錢ヲ受取ルベキトキハ、整理委員ハ其金額ヲ共托スベシ。

先取特權者質權者又ハ前項ノ規定ニ依リテ供托シタル金錢ニ對シテモ其權利ヲ行フコトヲ得。

第五十九條 質借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲メ質借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ、質借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得。但第四十八條ノ認可ノ公告アリタル日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ、此限リニ在ラズ前項ノ場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シテ解除ニ由リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス。

第六十條 質借地整理地區ニ編入セラレタル場合ニ於テ整理施行ノ爲メ其ノ土地ヲ利用スルコト能ハサルトキハ、質借人ハ質貸人ニ對シテ借賃ノ減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得。

第六十一條 整理地區ニ編入シタル土地ニ地上權者又ハ永小作權者アル場合ニ於テ整理施行ノ爲メ其權利ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハザルトキハ、地上權者又ハ永小作權者ハ其權利ヲ拋棄スルコトヲ得。

民法二百六十八條第一項但書ノ規定ハ地上權者前項ノ規定ニ依リテ其權利ヲ拋棄

シタル場合ニ之ヲ適用セス

第五十九條第一項但書ノ規定ハ地上權又ハ永小作權ノ拋棄ニ之ヲ準用ス

第六十二條 第六十條ノ規定ハ地上權及永小作權ニ之ヲ準用ス

第六十三條 整理地區ニ編入シタル土地ノ上ニ存スル地役權ハ整理施行ノ後仍其ノ土地ノ上ニ存ス地役權者ガ整理施行ノ爲メ其權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セザルニ至リタルトキハ其地役權ハ消滅ス

整理施行ノ爲メ從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハザルニ至リタル地役權者ハ其利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ要求スルコトヲ得

第六章 費用

第六十四條 費用及夫役ハ規約ノ定ムル所ニ依リ參加土地所有者之レヲ負擔ス

整理委員ガ規約ノ定ムル所ニヨリ日本勸業銀行又ハ農工銀行ヨリ借入タル金額及其利子ニ付テハ參加土地所有者連帶シテ其責ニ任ス

第六十五條 參加土地所有者費用ヲ完納セザルトキハ市町村長ハ整理委員ノ請求ニ因リ市町村稅徵收ノ方法ニ準シテ之ヲ徵收ス

前項徵收金ハ整理地區ニ編入シタル土地ニ關シ市町村其ノ他之ニ準スベキモノ、徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

參加土地所有者夫役ヲ供給セザルトキハ整理委員ハ金額ニ算出シテ之ヲ徵收ス此徵收ニ付亦前二項ノ規定ニ依ル

第七章 罰則

第六十六條 發起人又ハ整理委員左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ貳圓以上五拾圓以下ノ過料ニ處ス

一、第十九條ノ規定ニ違反シテ公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二、第二十八條第一項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シテ整理工事ニ着手シタルトキ

三、第廿六條第二項ノ規定ニ違反シテ總會ヲ招集セザルトキ

四、第三十九條及第四十條ノ手續キニ依ラスシテ整理施行ヲ停止シ又ハ廢止シタルトキ

第六十七條 前條ニ定メタル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條 整理施行ノ爲メ設ケタル標石又ハ標杭ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル場合ニ於テ刑法第四百二十條ニ該當セザルモノハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十條 整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十一條 北海道、沖繩縣及市制、町村制ヲ施行セザル島嶼ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

耕地整理法施行規則

第一條 整理地區内ニ於テ土地ヲ所有スルモノニ非ラサレハ整理施行ヲ發起スルコトヲ得ス

但地方ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限リニ在ラス

第二條 耕地整理法第六條ノ規定ニ依リ整理ニ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求めントスルモノハ其理由ヲ記載シタル書面ニ市町村長ノ證明書ヲ添付シ之ヲ差出スヘシ

第三條 發起人ハ參加土地原簿及參加土地權利者名簿ヲ調製スヘシ

第四條 參加土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、整理地區ノ總面積及地價總額
 - 二、整理地區内ニ於ケル土地ノ筆數面積及ヒ地價ノ地目別合計並ニ一筆平均面積
 - 三、土地各筆ノ字番號地目、面積、地價及等位
 - 四、土地各筆ノ價格ヲ評定シタルトキハ其價格又ハ評價ノ標準
 - 五、耕地整理法第三條ニ定メタル土地アルトキハ其價值用途
 - 六、整理地區内ノ工作物アルトキハ其表示及ヒ價格
 - 七、訴訟ノ目的タル土地アルトキハ其訴訟ノ要領
 - 八、官用又ハ公用ニ供スル土地アルトキハ其用途
- 第五條 參加土地權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一、參加土地所有者ノ氏名住所及ヒ其所有地ノ字番號並ニ地目
 - 二、整理地區内ノ工作物ノ所有者氏名住所及ヒ其工作物ノ表示
 - 三、土地又ハ建物ニ付登記ヲナシタル第三權利者アルトキハ其氏名住所及ヒ其登記ノ要領
 - 四、耕地整理法第十八條ニ依ル代理人ノ氏名住所
- 第六條 參加土地原簿又ハ參加土地權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ更正スヘシ

第七條 耕地整理法第二十條第一項第一號ノ土地所有者ノ數ヲ計算スルニ付テハ共有者ハ之ヲ一人ト看做ス

第八條 耕地整理法第二十條第一項第二號ノ整理地區ノ總面積ヲ計算スルニ付テハ御料地及國有地ハ之ヲ算入セス

第九條 耕地整理法第二十條第一項第三號ノ整理地區ノ地價額ヲ計算スル場合ニ於テ整理地區内ニ地類若クハ地目ノ變換ヲ爲シタル土地又ハ開墾地其他地價ヲ附セサル土地アルトキハ發起人ハ其現況ニ依リ整理地區内ノ土地ノ地價ヲ參酌シテ相當ノ價格ヲ評定スヘシ

發起人カ前項ノ規定ニ依リ價格ヲ評定シタルトキハ其價格及其評定ノ標準ヲ創業總會ニ報告シテ其承認ヲ求ムヘシ

第十條 發起人ハ整理地區ノ屬スル市町村内ニ事務所ヲ設クヘシ
事務所ニハ參加土地原簿、參加土地權利者名簿、設計書、規約及總會ノ決議録ヲ備ヘ置クヘシ

第十一條 整理施行ノ發起届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ發起人之ニ署名捺印スヘシ
一、整理地區及之ニ隣接スル土地ノ現形略圖

二、整理地區内ニ於ケル土地所有者ノ總數、整理地區ノ總面積及ヒ地價總額

三、同意者ノ總數、其所有スル土地ノ總面積及ヒ地價總額
四、事務所ノ所在

第十二條 發起人カ耕地整理法第二十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入ラントスルトキハ其目的場所、期日及土地所有者ノ氏名ヲ記載シタル願書ヲ作り之ヲ市町村長ニ差出スヘシ

發起人カ市町村長ノ認可ヲ得タルトキハ豫メ土地所有者ニ立入ノ目的場所及期日ヲ通知スヘシ

第十三條 整理發起ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ發起人之ニ署名捺印スヘシ

一、第四條第二號乃至第五號及ヒ第十一條第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項

二、整理施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積、地目別ノ合計並ニ一筆平均面積

三、同意者ノ氏名、其所有スル土地ノ面積及ヒ地價

四、耕地整理法第三條第二項ノ規定ニ依リ所有者ノ同意ヲクシテ整理地區ニ編入シタル土地又ハ特ニ整理ヨリ除斥シタル土地アルトキハ其編入又ハ除斥ノ理由

前項ノ申請書ニハ土地所有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第十四條 耕地整理法第三條乃至第五條ノ規定ニ依リ整理地區編入ノ同意又ハ認可

ヲ要スル土地ニ付テハ發起人ハ整理發起ノ認可申請書ニ其同意又ハ認可ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

但國有ニ屬スル森林、原野、道路、堤塘、溜池及ヒ溝渠ニ付テハ整理發起ノ認可申請ト共ニ整理地區編入ノ認可ヲ申請スルコトヲ得

第十五條 整理工事カ府縣郡市町村其他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ發起人ハ整理發起ノ認可申請書ニ其團體ノ承認ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第十六條 創業總會ニ於テ設計書ヲ變更シタルトキハ前二條ノ書面ハ整理施行ノ認可申請書ト共ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ整理施行ノ認可アリタル後設計書ヲ變更シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 發起人ハ特別ノ技能アル者ニ設計書及ヒ規約ノ作成ヲ囑託スルコトヲ得

第十八條 (三十四年省令第一二號ヲ以テ削除)

第十九條 土地ノ價格評定ノ標準ヲ定メタルトキハ之ヲ規約ニ記載スヘシ

第二十條 整理費用ヲ借入レントスルトキハ其借入管理及ヒ償却ノ方法ヲ規約ニ記載スヘシ

第二十一條 整理發起ノ認可ノ公告及通知ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、整理地區ノ所在
- 二、發起認可ノ年月日
- 三、事務所ノ所在
- 四、發起人ノ氏名住所

第二十二條 耕地整理法第二十五條ノ創業總會ニ於テハ發起人ハ發起ニ關スル一切ノ事項ヲ報告シテ其承認ヲ求ムヘシ

第二十三條 整理施行ノ認可申請書ニハ發起認可證及ヒ總會ノ決議録ノ謄本ヲ添付シ發起人之レニ署名捺印スヘシ

第二十四條 整理施行ノ認可ノ公告及ヒ通知ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、第二十一條ニ掲ケタル事項
- 二、整理工事ノ着手及ヒ竣成ノ時期
- 三、整理施行ノ認可ノ年月日

第二十五條 發起人ハ創業總會ノ決議録ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、開會ノ日時及ヒ場所
- 二、出席シタル參加土地所有者ノ氏名
- 三、議事ノ要領

附 錄

四、決議シタル事項

五、賛否ノ數及ヒ賛成者ノ氏名

六、賛成者ノ所有スル土地ノ總面積及地價總額(三十四年省令第一二號ヲ以テ本項追加)

第二十六條 發起人ハ整理ニ關スル一切ノ書類及事務ヲ整理委員ニ引繼クヘシ

第二十七條 總會ノ決議ハ耕地整理法又ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外出席シタル參加土地所有者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十八條 參加土地所有者ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得

但參加土地所有者ニ非ラサレハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ發起人又ハ整理委員ニ差出スヘシ

第二十九條 耕地整理法第四十條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ決議録ノ謄本ヲ添付シ整理委員之ニ署名捺印スヘシ

第三十條 總會ノ決議認可ノ公告及ヒ通知ニハ決議シタル事項及ヒ認可ノ年月日ヲ記載スヘシ

第三十一條 整理委員及整理委員長ハ其氏名住所ヲ農商務大臣ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ(同上本條中改正)

第三十二條 整理委員ノ任期ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第三十三條 整理委員ハ規約ニ別段ノ定メアルニ非ラサレハ報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第三十四條 整理工事ニ着手シタルトキハ整理委員ハ其旨ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ

第三十五條 耕地整理法第二十八條ノ規定ニ依リ訴願ヲ爲シタルモノハ其旨ヲ整理委員ニ通知スヘシ

第三十六條 總會ノ決議録ニハ第二十五條ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

但同條第六號ニ掲ケタル事項ハ耕地整理法第三十九條第四十七條及第五十三條ノ場合ヲ除ク外之ヲ記載スルコトヲ要セス(同上但書追加)

第三十七條 整理委員ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ從ヒ地價配當案ヲ作り耕地整理法第四十七條ノ整理總會ノ決議ヲ經ヘシ

第三十八條 耕地整理法第四十八條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本及ヒ整理確定圖ヲ添付シ整理委員之ニ署名捺印スヘシ

耕地整理法第十條第二項ノ規定ニ依リ換地ヲ割當ツル場合ニ於テハ從前ノ土地ノ各筆ニ相當スル換地ノ部分及ヒ其面積ヲ整理確定圖ニ示スヘシ

從前ノ一筆ノ土地ノ一部カ登記シタル第三權利者ノ權利ノ目的タル場合ニ於テハ之ニ代ルヘキ部分及ヒ其面積ヲ整理確定圖ニ示スヘシ

附 錄

第三十九條 前條ノ認可アリタルトキハ整理委員ハ地價配當案ニ整理確定圖ヲ添付シ所轄稅務署長ニ差出シ地價ノ配賦ヲ受クヘシ(三十六年省令第一號ヲ以テ本條中改正)

第四十條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ整理事業ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 整理地區内ノ土地又ハ建物ニ關シ登記ヲナシタルトキハ登記權利者ハ遲滯ナク其旨ヲ發起人又ハ整理委員ニ通知スヘシ

第四十二條 整理ニ關スル書類ノ保存期間ハ左ニ掲クルモノニ付テハ十年トシ其他ノモノニ付テハ五年トス

- 一、設計書
- 二、規約
- 三、總會ノ決議録
- 四、事業報告書
- 五、收支決算書
- 六、參加土地原簿
- 七、參加土地權利者名簿
- 八、整理確定圖

第四十三條 第三十一條及ヒ耕地整理法第十九條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲スヘキ場合

ニ於テハ少クモ三日間整理地區ノ屬スル市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示スヘシ

第四十四條 發起人、整理委員又ハ參加土地所有者カ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

第四十五條 第三條乃至第六條、第十三條、第十五條、第十六條、第二項、第三十四條、第三十九條、第四十條及ヒ前條ノ規定ハ一人ニシテ其所有地ノ整理ヲ施行スル場合ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十六條 地方長官カ地方ノ狀況ニ依リ整理施行ノ方法又ハ工事ノ設計ニ關スル標準ヲ定メントスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十七條 本則ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

整理地登記規則

(明治三十三年一月十一日勅令第二號)

第一條 耕地整理法ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外不動産登記法ノ規定ニ依ル

附 錄

第二條 整理ヲ施行シタル從前ノ土地既登記ナルトキハ整理委員ハ耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルコトノ公告及通知ヲ爲シタル後遲滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ又ハ從前ノ土地未登記ナルモ整理施行ノ後換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スルトキ亦同シ

第三條 前條ノ登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

- 一、申請書
- 二、耕地整理法第四十八條ノ規定ニ依ル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ曆本

三、整理確定圖

四、代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

第四條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理委員又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

- 一、從前ノ土地及換地ノ所在ノ郡市區町村字及土地ノ番號
- 二、從前ノ土地及換地ノ地目反別又ハ坪數
- 三、從前ノ土地ニ割當タル換地ノ部分段別又ハ坪數及其部分ノ符號

四、換地ノ交付ヲ受ケタルモノ、氏名及住所若クハ法人ナルトキハ其名稱及其事務所

五、耕地整理ニ因リ登記ヲ申請スル旨

六、登記所ノ表示

七、年月日

第五條 從前ノ土地既登記ナルト未登記ナルトヲ問ハス換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス但地役權換地ノ一部ノミニ保存スルトキハ其部分ヲ表示シタル圖面ヲ添付スルコトヲ要ス

一、整理施行前ニ於ケル換地ノ所在ノ郡市區町村字及土地ノ番號

二、整理施行前ニ於ケル換地ノ地目段別又ハ坪數

三、整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若シ法人ナルトキハ其名稱及事務所

四、地役權ノ存スル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號

第六條 換地ノ一部所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ノ目的タル場合ニ於テハ申請書ニ第四條ニ掲ケタル事項ノ外權利ノ目的タル換地ノ部分及其符號ヲ記載スルコトヲ

第七條 參加土地所有者從前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス所有權利(地役權ヲ除ク)從前ノ土地ノ一部ニ存スル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ニ相當タル換地ノ部分ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ變更シタル旨ヲ附記シ從前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

從前ノ土地ニ關スル權利ニシテ他ノ土地ニ關スル權利ト共ニ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ耕地整理ニ因リテ他ノ土地ニ關スル權利ノ表示ニ變更ヲ生シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ變更ヲ附記スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ不動産登記法第二百六條ノ規定ヲ準用ス換地ニ地役權ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ從前ノ土地ノ登記用紙中丙區事項欄ニ其登記ヲ移シ其登記ノ末尾ニ耕地整理ニ因リテ登記第何號ヨリ移シタル旨及其年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス但耕地整理ニ因リ其登記中ニ記載シタル要役地若クハ承役地ノ表示地役權ノ範圍又ハ地役權ノ存スル土地

ノ部分ニ變更ヲ生シタルトキハ其變更ヲ附記シ地役權ノ存スル部分ノ表示ヲ爲シ變更シタル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルハ登記官吏ハ職權ヲ以テ地役權ニ關スル登記アル土地ノ登記用紙中丙區事項欄ニ耕地整理ニ因リテ地役權ニ關スル登記ヲ登記何號ニ移シタル旨及其年月日ヲ記載シ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スルコトヲ要ス

第八條 參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ登記官吏ハ從前ノ數箇ノ土地中其一箇ノ登記用紙中表示欄ニ換地、換地ヲ從前ノ土地ニ割當タル部分及整理施行前ニ於ケル從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ他ノ登記用紙ニ登記シタル從前ノ土地ニ付テハ其登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ其登記用紙ニ於ケル前ノ表示及其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示其番號及登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第九條 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ爲シ其登記ハ從前ノ土地ニ割當タル換地ノ某部分ノミニ關スル旨耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨申請書受付ノ年月

日及受付番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス
 換地ノ一部未登記ノ從前ノ土地ニ割當タルモノアル場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ其換地ノ部分ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利地役權ヲ除クニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ニ關スル登記ヲ移シ從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ某部分ノミ其權利ノ目的タル旨耕地整理ニ依リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十條 參加土地所有者從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニヨリテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス
 從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利地役權ヲ除クニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ相當區事項欄ニ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利ト共ニ所有權以外ノ權利目的ナル旨耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ

其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス
 換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ耕地整理ニ依リテ登記ヲナス旨申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利地役權ヲ除クニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ其權利ニ關スル從前ノ登記ヲ轉寫シ且從前ノ土地ニ割當タル他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス
 第十二條 第七條第二項乃至第五項ノ規定ハ參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケ又ハ從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於ケル登記ニ之ヲ準用ス
 第十三條 未登記ノ從前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ所有權保存ノ登記ヲナシ且丙區事項欄ニ地役權ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

第七條 第四項及第五項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 登記官吏登記ヲ完了シタルトキハ其旨ヲ整理委員ニ通知スルコトヲ要ス

第十五條 登記官吏第十三條ノ規定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及之ニ割當タル從前ノ土地ノ表示耕地整理ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スルコトヲ要ス

第十六條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ第八條第二項ノ手續ヲ爲スヘキトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スコトヲ得

第十七條 耕地整理法第二條ノ規定ニ依リ一人ニシテ其所有地ノ整理ヲ施行シタル場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ整理施行ニ關スル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ原本ヲ添付スルコトヲ要ス

附 則

本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

整理地登記取扱手續 (明治三十七年司法省令第十九號改正)

第一條 整理地登記規則ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 整理地ノ登記ニ付テハ別ニ整理地登記見出帳ヲ備フヘシ

第三條 整理地登記見出帳ハ別記雜形ニ依リ之ヲ調製スベシ

則ニ依ル登記ヲ爲ス毎ニ換地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部(十百千ノ數字冠スルモノハ一ノ部ニ記入スルノ類)ニ換地ノ番號從前ノ土地ノ番號登記用紙ヲ編綴セシ登記簿ノ冊數丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳又ハ土地分合登記見出帳ノ備考欄ニ從前ノ土地ニ對スル換地ノ番號ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ

第四條 整理確定圖及ヒ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ニハ申請書受附ノ年月日受附番號及ヒ登記番號ヲ記載スベシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ便宜之ヲ整理シ申請受附日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ

第五條 整理確定圖ノ番號ハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載シ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ノ番號ハ丙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第六條 整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡市區町村字土地ノ番號方位及ヒ地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別又ハ坪數並ニ其部分

附 錄

1101

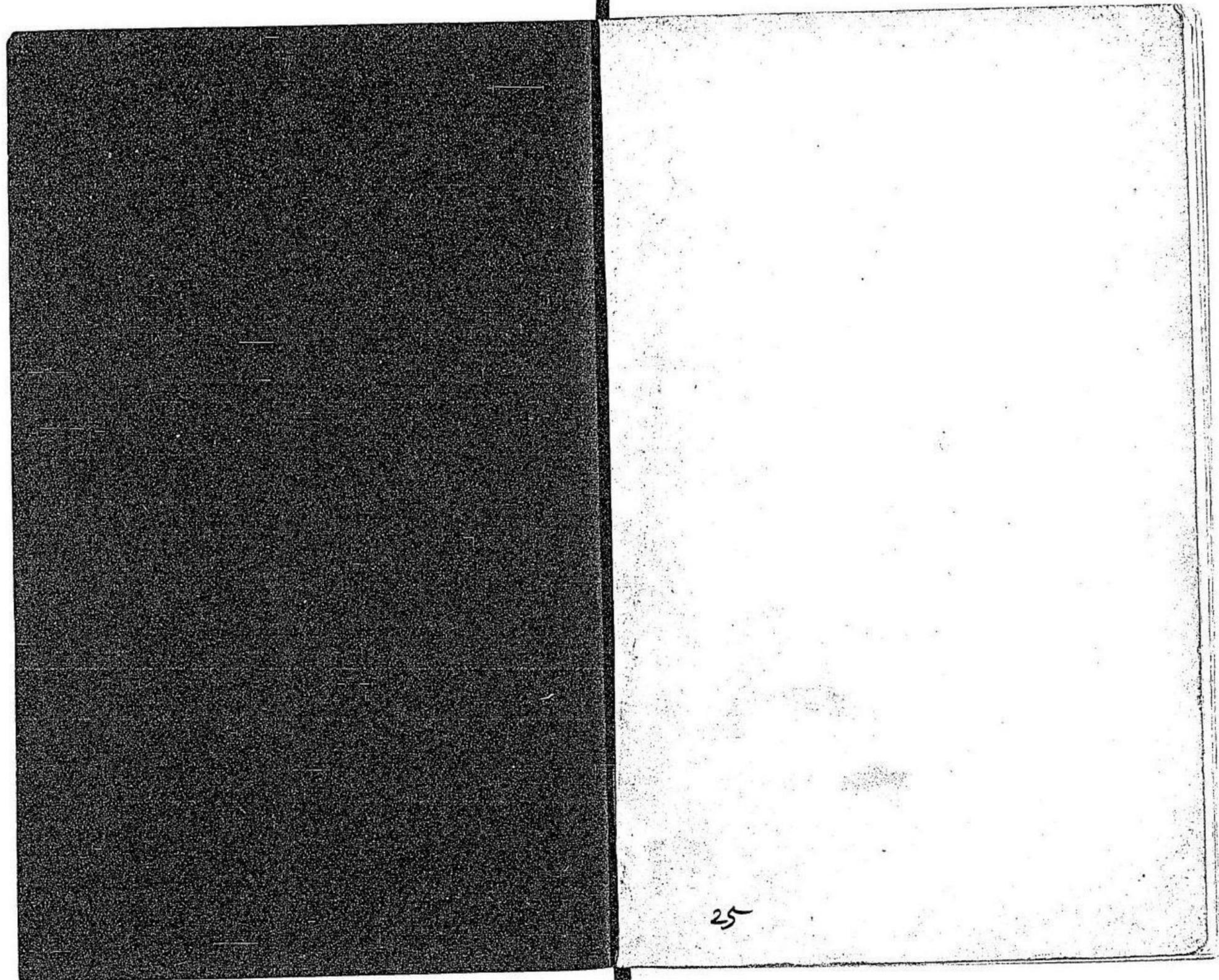
明治四十一年十一月九日印刷
明治四十一年十一月十日發行

愛知縣

愛知縣名古屋市中區榮町六丁目十一番地
印刷所 扶桑新聞社

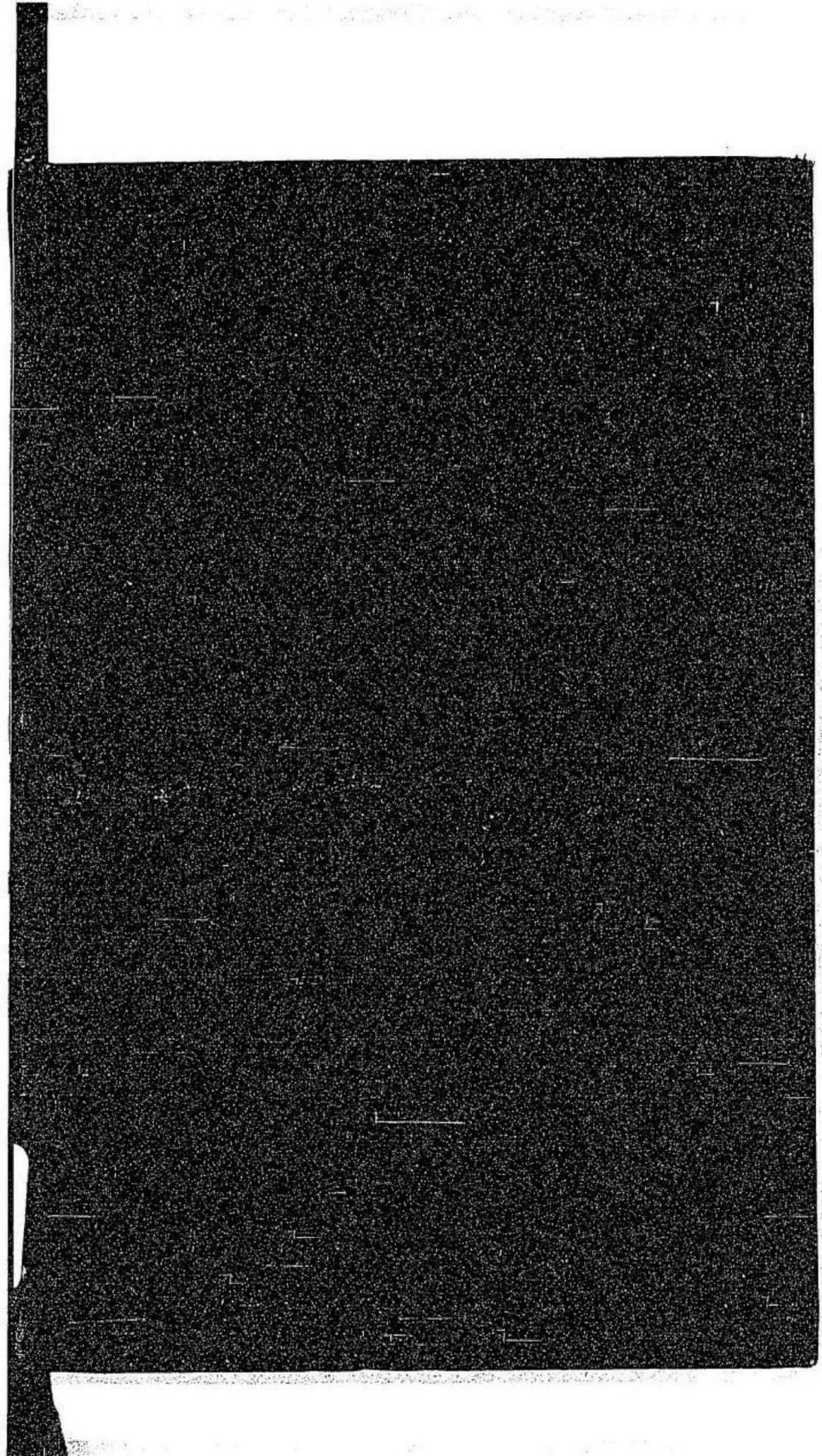
84
15

1884
1885
1886
1887
1888
1889
1890
1891
1892
1893
1894
1895
1896
1897
1898
1899
1900



25

54
2
15



64
15

061386-001-4

64-15

愛知県耕地整理事業
報告 第1, 2輯

愛知県

M41, 43

CCA-0007



